0007705000

法令

0007705-000

CZ－1351－57

岐阜県警察法規類聚

岐阜県警察部・編集

啓文社

第４～７編

1927. 6

ABH

ニシ3L37
(付録あり)

37

加除自在 岐阜縣警察法規類聚

岐阜縣警察部編纂

株式會社 啓文社發行

37

加除自在

岐阜縣警察法規類聚 別編一覽表

第一編 警務
第二編 會計
第三編 保安
第四編 高等
第五編 刑事
第六編 工場
第七編 衛生

(ニシ3L37)

CZ
1351
57

國立國會
55.1.17
圖書館藏書

80W01270

第四編

高等

目次

第四編　高等

第一章　出版

○出版法……明二六　法律　一五
○出版ニ關スル願届書式……明三二　内告　八〇　一五
○出版法違犯者告發ノ場合ニ於ケル報告方ノ件……明三一　内務大臣訓　三六二　八
○出版物差押ニ關スル件……明四三　内示甲　五　八
○再版以後ノ出版物取締ニ關スル件……明四三　内示乙收　三二六一　八
○出版物差押ニ關スル報告樣式……大三　内示甲發　一　九
○出版物差押執行ノ證交付方ノ件……大三　内訓甲　一　九
○處分出版物取締ニ關スル件……大五　内示甲　四　一〇
○圖書館備付ノ禁止出版物取締ノ件……大一〇　内示甲發　七　一〇
○出版物司法處分ニ關スル件……大一四　内示甲　九　一〇

○時事ニ關スル記載出版物取締ニ關スル件……大四　内示乙　二〇　一一
○創刊出版物取締ニ關スル件……大四　内示甲　一　一一
○出版物取締ニ關スル件……大一四　内示甲　一三　一二
○各種團體ノ印刷物取締ニ關スル件……大七　内示乙收　六一四五　一四
○無屆刊行物ニ關スル件……大九　内示甲　五　一四
○御寫眞ノ發賣頒布廣告取締ニ關スル件……大四　内示甲　九　一四
○宮城俯瞰圖ニ關スル件……大四　内示乙收　二二九〇　一五
○各宮殿下撮影ニ關スル件……大六　内示甲　一　一五
○鳥瞰撮影其他ノ件……大一〇　内示甲發　四　一五
○行幸啓ノ際停車場構内ニ於ケル御寫眞撮影ニ關スル件……大一三　内示甲　五　一八
○神社寺院ノ守札ニ關スル件……明一五　内達乙　五五　一八
○弘層者ノ外頒暦取扱ヲ禁ス……明三　太告　一八
○本暦略本暦頒布及一枚摺暦出版方……明一五　太布達　八　一八
○一枚摺略暦出版規定……明二三　文令　二　一九
○略本暦類似出版物取締方ノ件……大四　内示甲發　六　二〇
○暦類似出版物取締方ノ件……大七　内示甲　二　二〇
○裸體繪葉書類取締方ニ關スル件……大一〇　内示甲　九　二一
○豫約出版法……明四三　法律　五五　二二
○豫約出版物官報ニ掲載ノ件……明四三　内示乙收　二二一一　二四
○著作權法……明三二　法律　三九　二五
○新聞紙法……明四二　法律　四一　三一
○新聞紙法及豫約出版法ニ依リ納ムヘキ保證金ニ充ツルコトヲ得ル有價證券ノ種類……明四三　内令　一五　三八
○新聞雜誌發賣頒賣屆出方……明二二　縣令　六八　三八
○新聞紙其他出版物差押執行方ニ關スル件……大三　内示甲發　五　三八
○新聞紙差押執行ニ關スル件……大五　内示甲發　六　三九
○郵便官署ニ於ケル新聞紙ニ對スル差押處分執行方ノ件……大九　内示甲　六　四〇
○行政處分ニ付セラレタル新聞紙等ニシテ縱覽所貸本屋等ニ在ルモノノ處分方ノ件……明三一　内務大臣訓　五七四　四〇
○新聞雜誌ニ關シ風俗壞亂ト認メタルトキノ取締方……明三一　内訓　四二三　四〇
○新聞雜誌其他出版物卑猥記事取締方……明四一　内示乙　二七七　四一
○國民思想ニ惡影響ヲ及ホスヘキ言說取締ニ關スル件……大六　内示甲　三　四一
○新聞雜誌其ノ他出版物揭載廣告文取締ニ關スル件……大六　内示甲　四　四二
○新聞紙其他印刷物ノ頒布區域ニ關スル件……大一三　内示甲　四　四二

○模擬議會議員選擧ニ關スル件……大一五　內示甲發　一　四三
○新聞紙發行部數竝頒布區域調査ニ關スル件……大一五　內示甲六七一二　四四

第二章　集會、結社及選擧

○治安警察法……明三三　法律　三六　四五
○治安維持法……大一四　法律　四六　四九
○治安警察法取扱內規……明三三　內示甲　三　四九
○衆議院議員選擧法……大一四　法律　四七　五一
○同法施行令……大一五　勅令　三　七八
○同法施行規則……大一五　內令　四　一〇二
○同法令取扱心得……昭二　縣訓乙　一　一三五
○選擧運動ノ爲ニスル文書圖畫ニ關スル件……大一五　內令　五　一四七
○選擧無料郵便規則……大一五　閣令　四　一四七
○府縣制(抄錄)……明三二　法律　六四　一五〇
○市制(抄錄)……明四四　法律　六八　一六〇
○町村制(抄錄)……明四四　法律　六九　一七一
○衆議院議員選擧法罰則一覽表……大一五　內令　二一　一八一
○地方議會議員選擧運動ノ爲メニスル文書圖畫ニ關スル件……大一五　內令　二一　一八三

第三章　農村竝勞働

○小作問題報告方ノ件……大九　內示甲　二　一八五
○小作爭議報告表記入方ノ件……大一五　特內示乙七五八　一八九
○地主小作組合名簿ニ關スル件……大九　內示甲　七　一九二
○小作問題ニ關聯セル民刑事件報告方ノ件……大一〇　內示甲　五　一九五
○農業爭議ニ伴フ暴擧報告方ノ件……大一〇　警保發　一六九　一九六
○勞働爭議調停法……大一五　法律　五七　一九七
○勞働爭議調停法施行令……大一五　勅令　一九六　二〇〇
○勞働爭議調停法ニ依ル費用辨償ニ關スル件……昭二　縣令　一〇　二〇二
○勞働者異動ニ關スル報告方ノ件……大九　特內示　二　二〇三
○調査要領……大一三　特內示　四　二一一
○勞働問題ニ關スル件……大一一　特內示甲　二　二一二
○勞働團體及事業主團體名簿異動報告ニ關スル件……大一四　特內示甲　二　二七八

○勞働運動指導者名簿ニ關スル件……大一五　勞發　二九八
○勞働團體小作人團體ノ事業狀況報告ニ關スル件……大一五　特內示甲發　八　二八一
○勞働爭議調停ニ關スル報告方ノ件……昭二　特內示甲發　二　二八二

第四章　雜

○市長名簿報告ノ件……大一四　內示甲　二　二八五
○町村長助役收入役名簿作成方ノ件……大一四　內示甲發　五　二八六
○高等受刑簿記載方ニ關スル件……大五　內示甲　三　二八八
○在留外國人月報ニ關スル件……昭二　內示甲發　四　二八九

第四編　高等

第一章　出版

●出版法

（明治二十六年四月法律第十五號）

第一條　凡ソ機械舍密其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス文書圖畫ヲ印刷シテ之ヲ發賣シ又ハ頒布スルヲ出版ト云ヒ其ノ文書ヲ著述シ又ハ編纂シ若ハ圖畫ヲ作爲スル者ヲ著作者ト云ヒ發賣頒布ヲ擔當スル者ヲ發行者ト云ヒ印刷ヲ擔當スル者ヲ印刷者ト云フ

（實例）陛下殿下ノ御肖像又ハ之レニ類似ノモノヲ出版スルハ頗ル長レ多キコトナレトモ近來此ノ種ノモノノ出版ヲ默許ニ付セラレタルカ如シ就テハ之レカ取扱ハ十分愼重ナラサル可カラス若シ他ニ目的ヲ有スルモノニ記載シ又ハ他ノ出版物ト同一ノ取扱ヲ爲スニ於テハ不敬ニ渉ルノ嫌ヒアリト云ハサルヲ得ス故ニ之レ等ノ場合ニハ充分取締ヲ爲スハ尤モ肝要ナリ

第二條　新聞紙又ハ定期ニ發行スル雜誌ヲ除クノ外文書圖畫ノ出版ハ總テ此ノ法律ニ依ルヘシ但專ラ學術、技藝、統計、廣告ノ類ヲ記載スル雜誌ハ此ノ法律ニ依リ出版スルコトヲ得

第三條　文書圖畫ヲ出版スルトキハ發行ノ日ヨリ到達スヘキ日數ヲ除キ三日前ニ製本二部ヲ添ヘ內務省ヘ届出ヘシ

第四條　官廳ニ於テ文書圖畫ヲ出版スルトキハ其官廳ヨリ發行前ニ製本二部ヲ內務省ニ送附スヘシ

（實例）官廳ニ於テ法律命令等ヲ公布スル爲メ又ハ直接ニ其職務執行スル爲メノ印刷物ハ主權ノ發動ニ屬スルモノナルヲ以テ出版法第四條ノ範圍ニ包含スヘキモノニ非ス

第五條　出版届ハ著作者又ハ其ノ相續者及發行者連印ニテ之ヲ差出スヘシ但非賣品ハ著作者又ハ發行者ノミニテ届出ルコ

トヲ得

版權ノ保護ナキ文書圖畫ヲ出版スルトキ若ハ著作者又ハ其ノ相續者ヲ知ルヘカラサルトキハ其ノ由ヲ記シ發行者ヨリ差出スヘシ

學校、會社、協會等ニ於テ著作ノ名義ヲ以テ出版スル文書圖畫ハ其學校、會社、協會等ヲ代表スル者發行者ト連印シテ之ヲ届出ヘシ

（實例）學校會社協會等ニ於テ發行者ト爲ル場合ニ關シテハ何等ノ明文ナシト雖モ第六條及第十五條ノ精神ヲ斟ムトキハ代表者ナシテ發行者トナシ出版スルコトヲ得

第六條　文書圖畫ノ發行者ハ文書圖畫ノ販賣ヲ以テ營業トスル者ニ限ル但著作者又ハ其ノ相續者ハ發行者ヲ兼ヌルコトヲ得

第七條　文書圖畫ノ發行者ハ其ノ氏名、住所及發行ノ年月日ヲ其ノ文書圖畫ノ末尾ニ記載スヘシ

第八條　文書圖畫ノ印刷者ハ其ノ氏名、住所及印刷ノ年月日ヲ其ノ文書圖畫ノ末尾ニ記載シ住所ト印刷所ト同シカラサルトキハ印刷所ヲモ記載スヘシ

印刷所若數人ノ共有ニ係ルトキハ營業上其ノ印刷所ヲ代表スル者ヲ以テ印刷者トス

前二項ノ印刷所ニシテ若營業上慣行ノ名稱アルモノハ其ノ名稱ヲモ記載スヘシ

第九條　書簡、通信、報告、社則、塾則、引札、諸藝ノ番附諸種ノ用紙證書ノ類及寫眞ハ第三條第六條第七條第八條ニ據ルヲ要セス但第十六條第十七條第十八條第十九條第二十一條第二十六條第二十七條ニ觸ルル者ハ此ノ法律ニ依テ處分ス

第十條　文書圖畫ノ册號ヲ逐ヒ順次ニ出版スル者ハ其ノ都度第三條ノ手續ヲ爲スヘシ但雜誌類ニ在テハ內務大臣ノ許可ヲ經テ其ノ手續ヲ省略スルコトヲ得

此ノ法律ニ依リ出版スル雜誌ニシテ十二箇月間一回ヲモ發行セサルトキハ之ヲ廢刊シタルモノト看做スヘシ

第十一條　一タヒ出版届ヲ爲シタル文書圖畫ノ再版ハ出版届ヲ要セスト雖若改正增減シ又ハ註解、附錄、繪畫等ヲ加ヘタルトキハ之ヲ偽第三條ニ依ルヘシ

第十二條　演說若ハ講義ノ筆記ハ演說者若ハ講義者ヲ以テ著作者トス但筆記者ニ於テ演說者若ハ講義者ノ承諾ヲ得テ自ラ之ヲ出版スルトキハ筆記者ヲ著作者ト看做スヘシ此ノ場合ニ於テ記載ノ事項第十六條第十七條第十八條第十九條第二十一條第二十六條第二十七條ニ觸ルルトキハ演說者若ハ講義者筆記者ト同ク其ノ罪ヲ論ス

公開ノ席ニ於テ爲シタル演說ヲ新聞紙若ハ雜誌ノ通信者ニ於テ筆記シ其ノ新聞紙若ハ雜誌ニ記載シタルモノ及總テ演說者講義者ノ承諾ヲ經スシテ其ノ筆記ヲ出版シタル者ニ關シテハ演說者若ハ講義者ハ著作ノ責ニ任セス

公開ノ席ニ於テ爲シタル演說ノ外ハ講義者又ハ演說者ノ許諾ヲ經ルニ非サレハ他人ニ於テ其ノ筆記ヲ出版スルコトヲ得ス但本項ニ違フ者ハ版權法ニ據リ其ノ責ニ任セシム

第十三條　二種以上ノ著作若ハ演說講義ノ筆記ヲ編纂シテ一部ノ書ト爲ストキハ編纂者ヲ著作者ト看做スヘシ

前條第一項ノ末段及第二項第三項ハ本條ニ適用スヘシ

第十四條　翻譯ハ翻譯者ヲ以テ著作者ト看做スヘシ

第十五條　學校、會社、協會等ニ於テ著作ノ名義ヲ以テ出版スル文書圖畫ハ其ノ出版届ニ署名シタル代表者ヲ以テ著作者ト看做スヘシ

第十六條　罪犯ヲ曲庇シ又ハ刑事ニ關レタル者若ハ刑事裁判中ノ者ヲ救護シ若ハ贓物ヲ牙保スルノ文書ヲ出版スルコトヲ得ス

第十七條　重罪輕罪ノ豫審ニ關スル事項ハ公判ニ付セサル以前ニ於テ之ヲ出版スルコトヲ得ス

傍聽ヲ禁シタル訴訟ノ事項ハ之ヲ出版スルコトヲ得ス

第十八條　外交軍事其ノ他官廳ノ機密ニ關シ公ニセサル官ノ文書及官廳ノ議事ハ當該官廳ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ出版スルコトヲ得ス

法律ニ依リ傍聽ヲ禁シタル公會ノ議事ハ之ヲ出版スルコトヲ得ス

第十九條　安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムル文書圖畫ヲ出版シタルトキハ內務大臣ニ於テ其ノ發賣頒布

ヲ禁シ其ノ割版及印本ヲ差押フルコトヲ得

第二十條　外國ニ於テ印刷シタル文書圖畫ニシテ安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルトキハ內務大臣ハ其ノ文書圖畫ノ內國ニ於ケル發賣頒布ヲ禁シ其ノ印本ヲ差押フルコトヲ得

第二十一條　軍事ノ機密ニ關スル文書圖畫ハ當該官廳ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ出版スルコトヲ得ス

第二十二條　第三條ノ屆出ヲ爲サスシテ文書圖畫ヲ出版シタル者ハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條　第六條ヲ犯ス者ハ十一日以上三月以下ノ輕禁錮又ハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十四條　發行者自己ノ氏名、住所又ハ發行ノ年月日又ハ印刷者ノ氏名、住所又ハ印刷ノ年月日ヲ其ノ發行スル文書圖畫ニ記載セス其ノ之ヲ記載スルモ實ヲ以テセサル者ハ二圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十五條　印刷者自己ノ氏名、住所又ハ印刷ノ年月日ヲ其ノ印刷スル所ノ文書圖畫ニ記載セス若ハ之ヲ記載スルモ實ヲ以テセサル者ハ前條ニ同シ

住所ト印刷所ト同シカラサルトキ及印刷所ニシテ營業上慣行ノ名稱アルトキ印刷所及名稱ヲ記載セサルモノ亦前項ニ同シ

第二十六條　政體ヲ變壞シ國憲ヲ紊亂セムトスル文書圖畫ヲ出版シタルトキハ著作者、發行者ヲ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第二十七條　風俗ヲ壞亂スル文書圖畫ヲ出版シタルトキハ著作者、發行者ヲ十一日以上六月以下ノ輕禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條　第十六條第十七條第十八條第二十一條ニ觸ルル文書圖畫ヲ出版シタルトキハ著作者、發行者ヲ十一日以上一年以下ノ輕禁錮又ハ十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條第二十條ニ依リ發賣頒布ヲ禁セラレタル文書圖畫ヲ發賣頒布シタル者前項ニ同シ其ノ未タ發賣頒布セサル文書圖畫ハ之ヲ沒收ス

第二十九條　第二十六條第二十七條第二十八條ノ場合ニ於テ刻版及印本ハ檢事ニ於テ假ニ之ヲ差押フルコトヲ得

第三十條　前項ノ差押ヲ爲ストキハ製本ノ體裁ニヨリ其差押フヘキ部分ト他ノ部分トヲ分割シ得ルニ於テハ之ヲ分割スルコトアルヘシ

第三十一條　文書圖畫ヲ出版シ因テ誹毀ノ訴ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ私行ニ渉ルモノヲ除クノ外裁判所ニ於テ專ラ公益ノ爲ニスルモノト認ムルトキハ被告人ニ事實ノ證明ヲ許スコトヲ得若之ヲ證明シタルトキハ其ノ罪ヲ免ス損害賠償ノ訴ヲ受ケタルトキモ亦同シ

第三十二條　此ノ法律ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ自首減輕、再犯加重、數罪俱發ノ例ヲ用キス

第三十三條　此ノ法律ニ關スル公訴ノ時效ハ一年ヲ經過スルニ由テ成就ス

第三十四條　此ノ法律ニ依リ出版スル雜誌ニシテ其ノ記載ノ事項第二條ノ範圍外ニ渉ルトキハ內務大臣ハ此ノ法律ニ依リテ出版スルコトヲ差止ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ一箇年ヲ經ルニ非サレハ更ニ此ノ法律ニ依リ出版スルコトヲ得ス

第三十五條　文書圖畫ヲ印刷スルトキハ直ニ發賣頒布セスト雖其ノ目的發賣頒布ニ在ルモノハ總テ此法律ニ依ル

●出版ニ關スル願屆書式

出版ニ關スル願屆書式左ノ通之ヲ定ム

第一書式

出版屆

「著作者ノ氏名、稱號」著（編輯、演說、講義、翻譯）

一　文書圖畫ノ題號　　全何冊（枚）

右出版法ニ依リ年月日ヨリ發行候間製本二部相添へ此段御屆申上候

年　月　日

（明治三十二年七月十四日
內務省告示第八十號）

内務大臣宛

第二書式　再版届

「著作者ノ氏名、稱號」著（編輯、演說、講義、翻譯）

一　文書圖畫ノ題號　全何册（枚）

一　初版發行ノ年月日

右出版法ニ依リ年月日ヨリ發行候間製本二部相添此段御届申上候

年　月　日

原籍及住所
發行者　商號　氏　名印
年齡
厚籍及住所
著作者（相續者）　氏　名印

内務大臣宛

第三書式　學術（技藝、統計、廣告）雜誌出版届

一　雜誌ノ題號　第何號

右ハ專ラ學術（技藝、統計、廣告）ニ關スル事項ヲ記載シ出版法ニ依リ年月日發行候間製本二部相添此段御届申上候也

年　月　日

原籍及住所
編輯者　氏　名印
原籍及住所
發行者　商號　氏　名印
年齡

内務大臣宛

第四書式　學術（技藝、統計、廣告）雜誌出版手續省略願

一　雜誌ノ題號　第何號ヨリ

右ハ專ラ學術（技藝、統計、廣告）ニ關スル事項ヲ記載シ出版法ニ依リ出版候間出版ノ都度届出ノ手續ヲ省略シテ製本二部ノミ相納候樣致度此段相願候也

年　月　日

原籍及住所
編輯者　氏　名印
原籍及住所
發行者　商號　氏　名印

内務大臣宛

●出版法違犯者告發ノ場合ニ於ケル報告方ノ件

（明治三十一年四月二十日　内務大臣訓第三六二號）

出版法違犯ニシテ輕微ナルモノハ告發後書面ヲ以テ報告シ其ノ重要ニ渉ルモノ竝ニ未タ行政處分ニ付セラレサルモノニシテ安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ノ壞亂スルモノト認ムルモノハ告發前又ハ發見ノ際直ニ先ツ電報ノ上更ニ現本ヲ添ヘ書面ヲ以テ詳細報告セラルヘシ

●出版物差押ニ關スル件

（明治四十三年八月十六日　内示甲第五號）

從來出版法第十九條第二十條ニ依リ發賣頒布禁止刻版印本差押ノ處分ヲ爲シタルトキハ官報ニ告示セラレタルモノモ今囘右告示ヲ廢セラレタル趣ニ付爾今必要ニ應シ當部ヨリ凡テ内示可致候條右内示ニ接シタルトキハ直ニ之レカ執行ヲ爲シ其ノ都度速ニ差押部數及差押場所等詳細若シ差押部數ナキトキハ其旨報告セラル可シ

●再版以後ノ出版物取締ニ關スル件

（明治四十三年九月二十日　内示乙收第三二六一號通牒）

本月十三日乙收第三一八五號ヲ以テ出版物中再版以後ノ出版ニ際シ初版ト其ノ發行者ヲ異ニスルモノノ取扱ニ關シ内示致シ置キ候處差押處分ノ命令相成タル出版物ト其發行者ヲ異ニスルモ内容ノ全然同一ナルモノハ直ニ差押ノ執行ヲ爲シタル上速ニ現本ヲ添ヘ報告セラルヘシ

●出版物差押ニ關スル報告樣式

（大正三年三月六日　内示甲發第一號）

明治四十四年一月二十六日内示甲第一號出版物差押ニ關スル報告樣式左ノ通改正ス

左記

年　月　日

（何）警察署長

出版物差押ニ關スル報告

題號、號數及記號	（例）二六新報二九二〇號「夕刊」「夕刊ヲ除ク」「一版」「二版」
電（話）「報」内示月日	〃　三月六日午後九時三十分受
内示月日	〃　三月六日
内示番號	〃　四三七號
差押部數	〃　八部（ナシ）
差押場所	〃　某販賣店何部、某郵便局何部

●出版物差押執行ノ證交付方ノ件

（大正三年七月十六日　内訓甲第一號）

爾今出版物（新聞紙法ニ依リ發行スル雜誌類ヲモ含ム以下同シ）ニ對スル差押處分執行シタル場合其ノ所持者等ヨリ請求アリタルトキハ右差押ノ證トシテ執行警察官吏又ハ當該警察官署ニ於テ左記書式ノ證ヲ該所持者ニ交付セラルヘシ

追テ國有鐵道停車場、又ハ郵便局ニ現存スル出版物ニ對シテハ從前ノ通リ取扱フモノトス

記

一何々（題號、號數、及記號等ヲ記ス）　何部

右出版物ハ差押命令ヲ執行セシコトヲ證ス

年 月 日

何警察署長又ハ何派出所、駐在所

官 氏 名 印

●處分出版物取締ニ關スル件

（大正五年三月二十七日 内示甲第四號）

近時發賣頒布禁止差押處分ニ附セラルル出版物極メテ多シ之レカ差押執行ニ付テハ處分發令當時嚴重ニ爲スヘキハ勿論ノ儀ニ有之候然ルニ右出版物中雜誌類ニアツテハ處分後尚數ケ月間ハ書籍店、露店、古物商等ニ於テ販賣シツツアルモノ不尠サル實況ニ有之就テハ爾今雜誌類販賣店ニハ一ケ月二回以上必ス取締主任巡査及受持巡査ヲ臨檢セシメ以テ之レカ發見ニ努メ執行上毫モ遺漏ナキヲ期セラルヘシ

●圖書館備付ノ禁止出版物取締ノ件

（大正十年十一月二十五日 内示甲發第七號）

從來新聞紙法又ハ出版法ニ依リ發賣頒布禁止竝差押處分ニ付セラレタル出版物ニシテ往々各地圖書館ニ一般ノ閱覽用トシテ備付在ルモノ有之斯クテハ取締上甚タ遺憾ニ付將來出版物ノ行政處分アリタル場合ハ其ノ都度其ノ署部内各圖書館ニ通知シ取締上遺漏ナキヲ期セラルヘシ

●出版物司法處分ニ關スル件

（大正十四年六月 内示甲第九號）

大正七年十一月九日内示甲第四號ニ依リ報告セシ出版物ニシテ一面刑事々件トシテ裁判所ニ送致スル場合其ノ取扱方各地一定シ居ラサル憾アルヲ以テ今回左記ノ通リ司法省ト協定シタル趣内務省警保局長ヨリ通牒ノ次第モ有之候ニ付同旨ニ依リ取扱ヒ遺憾ナキヲ期スルト同時ニ現品ハ出來得ル限リ各種別毎ニ二部宛送附セラルヘシ

左記

一 差押出版物ニシテ同一ノモノ多數アルトキハ内務大臣ニ對シ各種一部宛添付報告シ又裁判所ニ對シテハ其ノ出版物ノ種目及數量ヲ記錄上ニ明記シ同時ニ證據物トシテ各種目毎ニ部數ノ存スル限リ原則トシテ三部宛送付スルコト

一 一種類一部ナルトキハ便宜上一應裁判所ニ送リ二部ナルトキハ内務大臣ニ一部裁判所ニ一部送付スルコト

●時事ニ關スル記載出版物取締ニ關スル件

（大正四年三月十五日 内示乙第二〇號）

出版法第二條ニ依リ發行セル雜誌類ハ同法第三條ニ依リ内務省ニ納本スル外當廳ヘハ納本ヲ爲ササルモノニ有之從テ其記載事項ニ對スル取締ハ所轄署長ニ於テ充分取締ヲ要スルモノニ有之候然ルニ往々時事ニ關スル記載ヲ爲シ當然新聞紙法第四條及第十二條ノ手續ヲ爲サシムルノ必要ヲ認ムルモノアルニモ不拘何等報告ニ接セス取締上遺憾ノ儀ニ付爾今其記事ノ内容ニ就キ取締ヲ爲スヘキハ勿論右出版物ハ一部ヲ其都度送付セラルヘシ

追テ出版物ノ代金ヲ請求スル向アラハ其額申出ラルヘシ

●創刊出版物取締ニ關スル件

（大正四年六月二日 内示甲第一號）

沿革 大正一四年一二月一二日内示甲第一四號樣式改正

爾今出版法ニ依リ發行スル出版物ハ創刊ノ際左記樣式ニ據リ報告シ其ノ報告事項ニ變更ヲ生シ又ハ廢刊シタルトキハ其ノ都度報告セラルヘシ

出版物取調報告

題號	
創刊月日	
發行期日	
發行所	
發行者住所氏名	
法第二條ニ依ルモノナルヤ否ヤ	
備考	

十二

警察署長

年月日報

●出版物取締ニ關スル件

（大正十四年十二月十二日）
內示甲第十三號

出版法第二條ニ依ル出版物ノ發行ニ關シテハ創刊ノ際大正四年六月二日附內示甲第一號ニ依リ報告シ一面內容ニ關シテハ同年三月十六日內示乙發第二〇號ニ依リ取締勵行セラレツツアルモ近時技術ノ進歩ニ遲レ同出版物ノ發刊激增シ從ツテ中ニハ記事時事ニ觸レ又ハ公安風俗上面白カラサルモノ亦其數多キ傾向アルニ付嚴重視察取締ヲ要スルハ勿論ナルモ此際別紙樣式ニ依ル臺帳ヲ作成シ不絕整理シ取締上遺憾ナキヲ期セラルヘシ

出版物臺帳樣式

題號		經歷
發行期時	創刊年月日	
發行所		
發行者住所氏名生年月日		
經歷		

十三

●各種團體ノ印刷物取締ニ關スル件

（大正七年十二月二十三日　内示乙收第六一四五號）

各種團體其ノ他ノ宣言書、報告書、意見書若ハ之ニ類似ノ出版物ニシテ出版法第九條ニ該當セサルニ拘ラス届出納本ヲ爲ササルモノ不尠殊ニ其ノ内容不穩當ノモノ有之趣ヲ以テ之等出版物ニ對シ取締方警保局長ヨリ通牒ノ次第モ有之候條周到ナル注意ヲ爲シ違反行爲無之樣嚴重取締ラルヘシ

●無屆刊行物ニ關スル件

（大正九年十一月六日　内示甲第五號）

刊行物取締ニ關シテハ大正四年三月内示甲第一號ヲ以テ内示ノ次第モ有之候處近時農會青年會等ニ於テ會報又ハ何々團體ノ機關紙ト種シ刊行頒布スル印刷物中單ニ特定ノ會員ノミニ頒布スルモノナレハ別ニ出版法新聞紙法ニ依ラサルモ差支ナシト誤解シ法定ノ手續ヲ履行セサルモノ漸ク多カラントスルノ聞有之右ハ刊行物ノ内容如何ニ依リ出版又ハ新聞法ニ牴觸スヘキニ付如上ノ事實アラハ相當手續ヲ履行セシメ一面之等刊行物取扱ニ付テハ前内示ノ趣旨ニ依ラルヘク取締上違算ナキヲ期セラルヘシ

●御宸筆ノ發賣頒布廣告取締ニ關スル件

（大正四年十一月四日　内示甲第九號）

新聞雜誌ニ　御宸筆ノ發賣頒布ヲ廣告スルニ際シ之ニ　御宸筆ヲ表出スルモノ往々有之候處右ハ穩ナラサル儀ト被存候旨ヲ以テ取締方内務省警保局長ヨリ依命通牒ノ次第モ有之候條此際部内ニ於ケル新聞雜誌類發行所竝ニ廣告取次人等ニ對シ此ノ如キ事無キ樣懇篤諭示シ尚將來右等ノ者ニシテ斯ル不穩ノ行爲ニ出ツルカ如キ事無之樣嚴重取締ラルヘシ

●宮城俯瞰圖ニ關スル件

（大正四年十一月四日　内示乙收第二二九〇號）

近來新聞紙出版物ニ於テ宮城俯瞰圖ヲ掲載スルモノ往々有之候處右ハ穩ナラサル儀ニ付相當取締ラルヘク尚其ノ署下發行新聞雜誌社其ノ他出版業者ニ對シ右樣ノ事無之樣嚴メ嚴重警告セラルヘク今回警保局長ヨリ特ニ通牒ノ次第モ有之候ニ付此旨及内示候

●各宮殿下撮影ニ關スル件

（大正六年五月三十日　内示甲第一號）

各宮殿下諸方ニ被爲成候場合ニ於ケル撮影取締方ニ關シ内務省警保局長ヨリ別紙ノ通依命通牒有之條候右通牒ノ趣旨ニ依リ撮影者ニ對シ充分注意シ取締上違算ナキヲ期セラルヘシ

別紙

大正六年五月二十八日
内務省秘第八七〇號

各宮殿下諸方ニ被爲成候場合新聞、通信者ノ寫眞班カ殿下御徒歩又ハ御停止中突然接近又ハ追隨シ來リテ撮影申上クルカ如キ不作法ナル擧動ヲ爲ス者往々有之甚遺憾ニ存居候旨宮内省ヨリ特ニ申越ノ次第有之就テハ將來左記ニ依リ御取締向御配慮相煩度候

記

一　如何ナル場合ニ於テモ活動寫眞ノ爲ニハ撮影申上ケサルコト

二　御成先ニ於テ普通寫眞ニ撮影申上ケムトスルトキハ不作法ナル擧動ヲ爲サシメサル樣警察官吏ニ於テ注意スルコト

（大正十年八月二十九日　内示甲發第四號）

●鹵簿撮影其他ノ件

行幸啓又ハ御成ノ節鹵簿撮影其他ノ件ニ關シ大正六年七月二十一日附内示甲發第五號ヲ以テ内示置候處今回警保局長ヨリ

別紙ノ通取締方通牒有之候條此段及内示候

大正十年八月二十七日
内務省秘第一五〇二號

行幸啓又ハ御成ノ節臨簿撮影其ノ他ノ件今後左記ニ據リ御處理相成樣致度右申進候也
追而本件ハ宮内省ト協議濟ニ有之候間此儀申添候

記

一　行幸啓ノ場合普通寫眞ニ付テハ其ノ方法不敬ニ渉ラス且取締上支障ナキ限リ御乘馬又ハ御徒歩ノ場合等ニ於テモ撮影差支ナキコト

二　同上活動寫眞ノ撮影ニ付テハ豫メ貴廳若ハ便宜當該警察官署ノ許可ヲ受ケシメ撮影場所其ノ他必要ト認ムル事項ヲ指示シ其ノ條件ヲ遵守セシムルニ於テハ差支ナキコト

三　天皇陛下ニ對シ奉リテハ

目下御靜養中ノコトニ付行幸ノ節前記ノ條件遵守ノ上臨簿ヲ撮影スルコトハ差支ナキモ臨簿以外ノ場合ニ於テハ仍從前ノ如ク普通寫眞活動寫眞トモ撮影ヲ許ササルコト

四　前各項ノ場合ニ於テ取締上必要アリト認メタルトキハ寫眞班ノ數ヲ制限シ又ハ撮影場所ヲ指定スル等適宜取締方法ヲ講セラレ度又特ニ指示スル場合ニハ撮影ヲ許サレサルコトニ致度コト

五　皇太子殿下始メ各皇族玉族御成ノ場合ニ於テハ特ニ指示スル場合ヲ除クノ外ハ普通寫眞、活動寫眞共不敬ニ渉ラス且取締上支障ナキ限リ差支ナキコト但シ御身邊ニ追隨若ハ接近スル等不謹愼ノ擧措ニ出ツルコトナキ樣注意セラレタキコト

六　二階其ノ他ノ高所ヨリ撮影申上クルモ差支ナシト雖モ此ノ場合ニ於テハ取締上充分ナル注意ヲ拂ヒ撮影者ニ於テ不敬ノ擧措ニ出ツルコトナカラシメ若シ必要アル場合ニハ撮影ヲ差止ムル等便宜適當ノ措置ニ出テラレタキコト

七　以上撮影申上ケタルモノヲ新聞紙其ノ他ノ出版物ニ掲載スルハ支障ナキコト

（大正十一年三月二十七日
内示甲第四號）

行幸啓又ハ御成ノ節臨簿撮影其ノ他ノ件ニ關シ大正十年八月二十九日内示甲第四號ヲ以テ内示置候處今後別紙取締標準ニ基キ當該警察官署ニ於テ許可シ取締上遣算ナキヲ期セラルヘシ

記

一　撮影申上ケムトスル者ニ對シテハ豫メ撮影ノ月日、場所、目的、寫眞機ノ種類、臺數及從事者ノ住所氏名生年月日ヲ記シ當該警察官署ニ届出許可ヲ受クシムルコト
但普通寫眞ニアリテハ前項ノ届出ヲ省略シ口頭ヲ以テ申立ツルモ妨ケナシ

二　撮影從事者ハ身元確實ト認ムルモノニアラサレハ許可セサルコト

三　撮影從事者ニハ一定ノ徽章ヲ帶ハシムルコト
（徽章ハ貸與品トシテ常部ニ於テ調製送付ス）

四　撮影從事者ノ服裝ハ不敬ニ渉ラサルモノヲ用モ撮影中ハ脫帽スルコト

五　二階其ノ他高所ヨリノ撮影ハ許ササルコト

六　撮影從事者ハ概ネ活動寫眞ニアリテハ一機ニ對シ技手一名助手一名トシ普通寫眞ハ一機ニ付一名ニ限ルコト

七　撮影從事者ハ警察官吏ノ指示ヲ受ケタル場所ニ御通過前三十分前ニ參集スルコト

八　指定セラレタル撮影場所以外ニ於テ撮影シ又ハ御通過間際ニ於テ指定セラレタル位置ヲ濫リニ移動セサルコト

九　撮影ニ關シテハ極メテ愼重ノ態度ヲ執リ決シテ不敬ノ行爲ニ渉ラサル樣注意スルハ勿論喧噪ニ渉リ又ハ混雜ヲ增スカ如キ行爲ヲナシ拜觀者ニ迷惑ヲ態ケサル樣留意スルコト

一〇　猥リニ御身邊又ハ御列ニ追隨若ハ接近スルカ如キコトナキ樣特ニ注意スルコト

一一　天皇陛下　ニ對シ奉リテハ鄭藩以外ノ場合ニ於テハ從前ノ通絕對ニ普通寫眞及活動寫眞共撮影ヲ許ササルコト

●行幸啓ノ際停車場構内ニ於ケル御寫眞撮影ニ關スル件

（大正十三年九月十八日　內示甲第五號）

行幸啓ノ際停車場構內（改札口以內）ニ於ケル御寫眞ノ撮影ニ關シテハ從來鐵道當局ニ於テ入場人員數竝撮影者ニ對スル許否ノ決定ヲ爲シ來候處今回臨時列車ニ依ル行幸啓ノ場合ニ限リ撮影場所及人員數ハ鐵道當局ト警察當局ト打合ノ上豫メ之ヲ定メ右人員內ニ於ケル撮影者ノ許否及取締ハ警察當局ニ於テ擔當スルコトニ相成候ニ付爾今右ニ依リ取締ヲ勵行セラルヘシ

●神社寺院ノ守札ニ關スル件

（明治十五年十月十八日　內務省達乙第五十五號）

神社寺院之守札ト可認モノ及神佛號ヲ記載セル畫像ハ其神社寺院ノ外出版不相成候儀ト可心得此旨相達候事

但從前屆濟ノ分ト雖モ本文ニ牴觸シ不都合ト認ムル場合ニ於テハ更ニ申出ツヘシ

●弘曆者ノ外頒曆取扱ヲ禁ス

（明治三年四月二十二日　太政官布告）

頒曆授時之儀ハ至重之典章ニ候處近來種々之類曆世上ニ流布候趣無謂事ニ候爾今弘曆之外取扱候儀一切嚴禁被成仰出候事

●本曆略本曆頒布及一枚摺略曆出版方

（明治十五年四月十六日　太政官布達第八號）

本曆竝略本曆ハ明治十六年曆ヨリ伊勢神宮ニ於テ頒布セシムヘシ

一枚摺略曆ハ明治十六年曆ヨリ何人ニ限ラス〔出版條例〕ニ準據シ出版スルコトヲ得

但明治九年十月內務省甲第三十九號布達ハ取消ス

右布達候事

●一枚摺略曆出版規定

（明治二十三年十月三十一日　文部省令第二號）

沿革　明治四一年九月文部省令第二九號改正

明治十五年四月太政官第八號布達第二項ニ依リ出版スル所ノ一枚摺略曆ハ爾今左ノ規定ニ依ルヘシ

一　一枚摺略曆ハ左ニ列記スル事項ニ限リ記載スルモノトス

一　年號及紀元ノ年數干支

一　每月ノ一日

一　日月食竝其時間

一　大祭祝日竝神社例祭大祓

一　日曜表甲子表庚申表己巳表

一　二十四節氣及雜節

一　新月滿月

一　第二號乃至第七號ニ相當スル陽曆日

以上ノ事項ハ東京帝國大學ニ於テ編纂スル所ノ曆ニ依ルヘシ但シ前各號規定ノ外本曆略本曆ニ揭載セサル事項ヲ記入スルハ此ノ限ニ在ラス

●略本暦類似出版物取締ノ件

（大正四年八月二十六日
内示甲發第六號）

略本暦類似出版物ノ發賣頒布禁止ハ内務省告示ヲ以テ官報ニ依リ發布セラルル常例ニシテ其ノ處分アリタルトキハ出版物處分見出簿ニ記入シ嚴重取締ヲ爲スハ勿論ノ儀ニ有之候處右出版物ノ刊行ハ逐年增加ノ傾向ヲ呈シ殊ニ其ノ發行者ハ發行期日以前ニ於テ密カニ販賣店又ハ行商者等ニ發送シ且概ネ虚僞ノ住所氏名ヲ記載シテ出版届ヲ爲スヲ常トスルヲ以テ出版物ニ記載セル發行所ニ於テ頒布ノ差止ハ殆ント不可能ニ屬シ隨テ之レカ民間ニ頒分セラルル部數極メテ多キカ如シ然ルニ本縣ニ於ケル從來ノ取締狀況ヲ視ルニ未タ不充分タルヲ免カレサルノミナラス全然取締ニ意ヲ致ササル向モ有之哉ニ被認甚タ遺憾ノ次第ニ有之候今ヤ大正五年暦類似出版物ニシテ發賣頒布禁止セラレタルモノモ有之候得ハ爾後ハ一層部下ヲ督勵シテ嚴重ナル取締ヲ爲シ禁止處分ノ實行ニ努メ尚部内ニ於テ發行人ニ關シ虚僞ノ住所氏名ヲ記載シ本件出版届ヲ爲ス者ナキヤ否ニ付念ラス注意シ取調上遺算ナキヲ期セラルヘシ

●暦類似出版物取締方ノ件

（大正七年七月十九日
内示甲第二號）

近年暦類似出版物ニシテ正規ノ納本届出ヲ怠リ秘密裡ニ發賣頒布スルモノ漸ク多ク嚴重取締ヲ要スル旨其ノ筋ヨリ通牒有之候右出版物ニ關シテハ大正四年八月二十六日内示甲發第六號ヲ以テ取締方内示致置候處爾今一層取締ヲ嚴密ニシ左記標準ニ抵觸スルモノヲ發見シタル場合ハ現品相添ヘ急速報告セラルヘシ

記

一　暦日次ニ陰暦若クハ月齢又ハ七曜ヲ併記シ逐日繼續的ニ陽日、月齢、七曜等ヲ對照シテ一定ノ日ヲ推性スルコトヲ主タル目的トスルモノニシテ其ノ他ノ記載事項竝形態モ本暦、略本暦ニ類似スルモノ

●裸體繪葉書類取締方ニ關スル件

（大正十年十二月二十六日
内示甲第九號）

裸體繪葉書類取締ニ關シテハ各畫及美術上相當ノ價値アリト認メラルルモノノ縮寫ニ對シテハ比較的寛大ニ又團體ノ寫眞ハ美術ト認メス比較的嚴重ニ取扱來リ候處最近ニ至リ曩ニ不問ニ附シタルモノト原畫ハ同一ナルモ其ノ印刷ヲ粗惡ニシ若ハ原畫ノ調子ヲ表現スル爲ト認メラレサル着色ヲナシ之ニ依テ反テ挑發的ノモノトナリ爲ニ禁止セラルルモノアルノ情況ニ有之右ハ畢竟發行當事者ニ於テ取締ノ方針ヲ諒解セサル結果ニ付爾今大體左記標準ニ該當ノモノハ禁止處分ニ附セラルヘキニ付當業者ニ諭示方警保局長ヨリ通牒有之候條其ノ署部内印刷業者、寫眞業者、繪葉書販賣店、及輸入繪葉書取扱店等ニ對シ懇篤諭示シ取締上遺憾ナキヲ期セラルヘシ

追テ左記五號該當寫眞ニシテ陰部ノ一部ニテモ寫シタルモノハ（兒童）ヲ除ク猥褻寫眞トシテ大正七年十一月七日附内務大臣訓第七一六號ニ依リ取締ラルヘシ

記

一　相當美術上ノ價値アリト認メラルル裸體ノ繪畫若ハ影塑像ノ縮寫ト雖其ノ態度又ハ周圍ニ配セル物體若ハ着色ノ爲メ挑發的ニ表現サレタルモノ

二　印刷粗惡不鮮明若ハ寫影小ニシテ美術上ノ價値ヲ認メラレサルモノ（例、一ノ繪葉書内ニ數個ノ繪畫ヲ排列スルカ如シ）

三　美術上ノ資料ニ供スル目的ニテ發行セルモノト認メラレサルモノ（例、兒童ノ玩具ニ供スル目的ニテ發行スルカ如シ）

四　原畫ニ基キ之ヲ修正シ若ハ加筆セルモノト認メラルルモノ（例、陰部ヲ特ニ黒クスルカ如シ）

五　態度及向ノ如何ヲ問ハス全裸體ノ肉體ヲ撮影シタルモノ

六　肉體ノ寫眞ニシテ半身若ハ布片ヲ纏ヘルモノト雖其ノ姿體表情ノ醜惡ナルモノ

七　男女抱擁、接吻（兒童ヲ除ク）ノ繪畫影塑像ノ縮寫及寫眞

備考　（大正十三年一月二十三日警保局警發乙第二四號說明）

右第五、六ハ直接肉體ヲ撮影シタルモノノ儀ニシテ繪畫影像等ヲ撮影シタルモノヲ指シタルニ無之

●豫約出版法

（明治四十三年四月十六日法律第五十五號）

第一條　代金ノ全部又ハ一部ヲ前收シ文書圖畫ノ頒布ヲ豫約スル出版ニ對シテハ出版法ニ依ルノ外尙本法ヲ適用ス

第二條　發行者ハ左ノ事項ヲ記載シ內務大臣ニ届出ツヘシ

一　題號

二　發行ノ年月日及順次發行ノ場合ハ其ノ豫定年月日

三　著作者ノ氏名

四　內容、製本及紙數ノ概要

五　豫約定價及代金前收ノ方法

六　發行所

七　發行者ノ氏名、生年月日、法人ナルトキハ其ノ名稱及代表者ノ氏名

前項ノ届出ハ書面ヲ以テシ發行者又ハ其ノ法定代理人ヨリ豫約手續ニ著手ノ日ヨリ十日以前ニ管轄地方官廳ニ之ヲ差出スヘシ

第三條　豫約出版物ニ付出版法ニ依リテ爲ス出版届書ニハ第二條ニ依リテ届出ヲ爲シタルコト及其ノ年月日ヲ記載スヘシ

第四條　發行者又ハ其ノ法定代理人ハ第二條ノ届出ト同時ニ保證金トシテ管轄地方官廳ニ左ノ金額ヲ納ムヘシ

一　豫約定價十圓未滿ハ金五百圓

二　豫約定價十圓以上ハ金千圓

保證金ハ命令ヲ以テ定ムル種類ノ有價證券ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第五條　發行所、發行者ノ法定代理人、發行者法人ナルトキハ其ノ名稱及代表者ニ變更アリ又ハ發行者能力ヲ失ヒ、死亡若ハ解散シ又ハ死亡若ハ解散ニ因リ法律上豫約出版ヲ廢絕スルノ已ムヲ得サルニ至リタルトキハ十日以內ニ內務大臣ニ届出ツヘシ

前項ノ届出ハ書面ヲ以テシ發行者又ハ其ノ法定代理人、其ノ死亡ニ係ルトキハ相續人、相續人定マラス又ハ相續人ナキトキハ戶主若ハ同居ノ親族、法人ノ合併ニ因ル解散ニ係ルトキハ其ノ法人ノ權利及義務ヲ承繼シタル法人、破產ニ因ル解散ニ係ルトキハ破產管財人ヨリ管轄地方官廳ニ之ヲ差出スヘシ

第六條　法律上已ムヲ得サルニ非サル豫約出版ノ廢絕又ハ第二條第一號乃至第五號ノ事項ノ變更及死亡若ハ解散ニ因ラサル發行者ノ變更ハ新舊發行者又ハ其ノ法定代理人ヨリ其ノ事由ヲ具シタル書面ヲ以テ豫メ管轄地方官廳ヲ經由シ內務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ許可ハ豫約當事者ノ解除權行使ヲ妨ケラルルコトナシ

第七條　相續人又ハ法人ノ合併ニ因リ其ノ權利義務ヲ承繼シタル法人ハ豫約出版ニ關スル權利及義務ヲ承繼ス

第八條　保證金ニ對スル權利及義務ハ發行者變更ノ場合ニ於テ承繼發行者之ヲ承繼ス

第九條　保證金ハ適法ニ豫約出版ヲ廢絕シ又ハ完全ニ豫約ヲ履行シタル後ニ非サレハ其ノ還付ヲ請求シ又ハ其ノ債權ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ國稅徵收法及之ヲ準用スル法令ヲ適用シ又ハ豫約解除若ハ豫約不履行ニ因リ代金返還若ハ損害賠償ヲ命スル判決ヲ執行スルハ此ノ限ニ在ラス

第十一條ノ罰金又ハ刑事訴訟費用ヲ完納セサルトキハ檢事ハ保證金ノ全部又ハ一部ヲ之ニ充ツルコトヲ得

第十條　發行者又ハ其ノ法定代理人ハ保證金ノ闕額ヲ生シタル場合ニ於テ之ヲ壞補スヘシ

第十一條　第二條、第四條ノ規定ニ依ラスシテ豫約手續ニ著手シ又ハ第六條若ハ第九條ニ違反シ又ハ管轄地方官廳ノ督促ヲ受ケタル後七日以內ニ保證金ヲ壞補セサル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

●略本暦類似出版物取締ノ件

（大正四年八月二十六日
内示甲發第六號）

略本暦類似出版物ノ發賣頒布禁止ハ内務省告示ヲ以テ官報ニ依リ發布セラルル常例ニシテ其ノ處分アリタルトキハ出版物處分見出簿ニ記入シ嚴重取締ヲ爲スハ勿論ノ儀ニ有之候處右出版物ノ刊行ハ逐年增加ノ傾向ヲ呈シ殊ニ其ノ發行者ハ發行期日以前ニ於テ密カニ販賣店又ハ行商者等ニ發送シ且概ネ虚僞ノ住所氏名ヲ記載シテ出版物ニ記載セル發行所ニ於テ頒布ノ差止ハ殆ント不可能ニ屬シ隨テ之レカ民間ニ頒分セラルル部數極メテ多キカ如シ然ルニ本縣ニ於ケル從來ノ取締狀況ヲ視ルニ未タ不充分タルヲ免カレサルノミナラス全然取締ニ意ヲ致ササル向モ有之哉ニ被認甚タ遺憾ノ次第ニ有之候今ヤ大正五年暦類似出版物ニシテ發賣頒布禁止セラレタルモノモ有之候得ハ爾後ハ一層部下ヲ督勵シテ嚴重ナル取締ヲ爲シ禁止處分ノ實行ニ努メ尚部内ニ於テ發行人ニ關シ虚僞ノ住所氏名ヲ記載シ本件出版届ヲ爲ス者ナキヤ否ニ付意ラス注意シ取調上遺算ナキヲ期セラルヘシ

●暦類似出版物取締方ノ件

（大正七年七月十九日
内示甲第二號）

近年暦類似出版物ニシテ正規ノ納本届出ヲ怠リ秘密裡ニ發賣頒布スルモノ漸ク多ク嚴重取締ヲ要スル旨其ノ筋ヨリ通牒有之候右出版物ニ關シテハ大正四年八月二十六日内示甲發第六號ヲ以テ取締方内示致置候處爾今一層取締ヲ嚴密ニシ左記標準ニ抵觸スルモノヲ發見シタル場合ハ現品相添ヘ急速報告セラルヘシ

記

一　暦日次ニ陰暦若クハ月齢又ハ七曜ヲ併記シ逐日繼續的ニ陽日、月齢、七曜等ヲ對照シテ一定ノ日ヲ推性スルコトヲ主タル目的トスルモノニシテ其ノ他ノ記載事項竝形態モ本暦、略本暦ニ類似スルモノ

●裸體繪葉書類取締方ニ關スル件

（大正十年十二月二十六日
内示甲第九號）

裸體繪葉書類取締ニ關シテハ各畫及美術上相當ノ價値アリト認メラルルモノノ縮寫ニ對シテハ比較的寛大ニ又裸體ノ寫眞ハ美術ト認メス比較的嚴重ニ取扱來リ候處最近ニ至リ益ニ不問ニ附シタルモノト原畫ハ同一ナルモ其ノ印刷ヲ粗惡ニシ若ハ原畫ノ調子ヲ表現スル爲ト認メラレサル着色ヲナシ之ニ依テ反テ挑發的ノモノトナリ爲ニ禁止セラルルモノアルノ情況ニ有之右ハ畢竟發行當事者ニ於テ取締ノ方針ヲ諒解セサル結果ニ付爾今大體左記標準ニ該當ノモノハ禁止處分ニ附セラルヘキニ付當業者ニ諭示方警保局長ヨリ通牒有之候條其ノ署部内印刷業者、寫眞業者、繪葉書販賣店、及輸入繪葉書取扱店等ニ對シ懇篤諭示シ取締上遺憾ナキヲ期セラルヘシ

追テ左記五號該當寫眞ニシテ陰部ノ一部ニテモ寫シタルモノハ（兒童）ヲ除ク猥褻寫眞トシテ大正七年十一月七日附内務大臣訓第七一六號ニ依リ取締ラルヘシ

記

一　相當美術上ノ價値アリト認メラルル裸體ノ繪畫若ハ彫塑像ノ縮寫ト雖其ノ態度又ハ周圍ニ配セル物體若ハ着色ノ爲メ挑發的ニ表現サレタルモノ

二　印刷粗悪不鮮明若ハ寫影小ニシテ美術上ノ價値ヲ認メラレサルモノ
（例、一ノ繪葉書内ニ數個ノ繪畫ヲ排列スルカ如シ）

三　美術上ノ資料ニ供スル目的ニテ發行セルモノト認メラレサルモノ
（例、兒童ノ玩具ニ供スル目的ニテ發行スルカ如シ）

四　原畫ニ基キ之ヲ修正シ若ハ加筆セルモノト認メラルルモノ
（例、陰部ヲ特ニ黒クスルカ如シ）

五　態度及向ノ如何ヲ問ハス全裸體ノ肉體ヲ撮影シタルモノ

六　肉體ノ寫眞ニシテ半身若ハ布片ヲ纏ヘルモノト雖其ノ姿體表情ノ醜惡ナルモノ
七　男女抱擁、接吻（兒童ヲ除ク）ノ繪畫影塑像ノ縮寫及寫眞
備考　（大正十三年一月二十三日警保局警發乙第二四號說明）
右第五、六ハ直接肉體ヲ撮影シタルモノノ儀ニシテ繪畫影像等ヲ撮影シタルモノヲ指シタルニ無之

●豫約出版法

（明治四十三年四月十六日）
（法律第五十五號）

第一條　代金ノ全部又ハ一部ヲ前收シ文書圖畫ノ頒布ヲ豫約スル出版ニ對シテハ出版法ニ依ルノ外尙本法ヲ適用ス
第二條　發行者ハ左ノ事項ヲ記載シ內務大臣ニ屆出ツヘシ
一　題號
二　發行ノ年月日及順次發行ノ場合ハ其ノ豫定年月日
三　著作者ノ氏名
四　內容、製本及紙數ノ概要
五　豫約定價及代金前收ノ方法
六　發行所
七　發行者ノ氏名、生年月日、法人ナルトキハ其ノ名稱及代表者ノ氏名
前項ノ屆出ハ書面ヲ以テシ發行者又ハ其ノ法定代理人ヨリ豫約手續ニ著手ノ日ヨリ十日以前ニ管轄地方官廳ニ之ヲ差出スヘシ
第三條　豫約出版物ニ付出版法ニ依リテ爲ス出版屆書ニハ第二條ニ依リテ屆出ヲ爲シタルコト及其ノ年月日ヲ記載スヘシ
第四條　發行者又ハ其ノ法定代理人ハ第二條ノ屆出ト同時ニ保證金トシテ管轄地方官廳ニ左ノ金額ヲ納ムヘシ
一　豫約定價十圓未滿ハ金五百圓

二　豫約定價十圓以上ハ金千圓
保證金ハ命令ヲ以テ定ムル種類ノ有價證券ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
第五條　發行所、發行者ノ法定代理人、發行者法人ナルトキハ其ノ名稱及代表者ニ變更アリ又ハ發行者能力ヲ失ヒ、死亡若ハ解散シ又ハ死亡若ハ解散ニ因リ法律上豫約出版ヲ廢絕スルノ已ムヲ得サルニ至リタルトキハ十日以內ニ內務大臣ニ屆出ツヘシ
前項ノ屆出ハ書面ヲ以テシ發行者又ハ其ノ法定代理人、其ノ死亡ニ係ルトキハ相續人、相續人定マラス又ハ相續人ナキトキハ戶主若ハ同居ノ親族、法人ノ合併ニ因ル解散ニ係ルトキハ其ノ法人ノ權利及義務ヲ承繼シタル法人、破產ニ因ル解散ニ係ルトキハ破產管財人ヨリ管轄地方官廳ニ之ヲ差出スヘシ
第六條　法律上已ムヲ得サルニ非サル豫約出版ノ廢絕又ハ第二條第一項第一號乃至第五號ノ事項ノ變更及死亡若ハ解散ニ因ラサル發行者ノ變更ハ新舊發行者又ハ其ノ法定代理人ヨリ其ノ事由ヲ具シタル書面ヲ以テ豫メ管轄地方官廳ヲ經由シ內務大臣ノ許可ヲ受クヘシ
前項ノ許可ハ豫約當事者ノ解除權行使ヲ妨ケラルルコトナシ
第七條　相續人又ハ法人ノ合併ニ因リ其ノ權利義務ヲ承繼シタル法人ハ豫約出版ニ關スル權利及義務ヲ承繼ス
第八條　保證金ニ對スル權利及義務ハ發行者變更ノ場合ニ於テ承繼發行者之ヲ承繼ス
第九條　保證金ハ適法ニ豫約出版ヲ廢絕シ又ハ完全ニ豫約ヲ履行シタル後ニ非サレハ其ノ還付ヲ請求シ又ハ其ノ債權ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ國稅徵收法及之ヲ準用スル法令ヲ適用シ又ハ豫約解除若ハ豫約不履行ニ因リ代金返還若ハ損害賠償ヲ命スル判決ヲ執行スルハ此ノ限ニ在ラス
第十一條　豫約者又ハ其ノ法定代理人ハ保證金ノ全部又ハ一部ヲ之ニ充ツルコトヲ得
第十條　發行者又ハ其ノ法定代理人ハ保證金ノ增額ヲ生シタル場合ニ於テ之ヲ增補スヘシ
第十一條　第二條、第四條ノ規定ニ依ラスシテ豫約手續ニ著手シ又ハ第六條若ハ第九條ニ違反シ又ハ管轄地方官廳ノ督促ヲ受ケタル後七日以內ニ保證金ヲ增補セサル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三條又ハ第五條ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス
第十二條　明治三十三年法律第五十二號ハ前條ノ犯罪ニ之ヲ準用ス
第十三條　本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖畫ニ之ヲ適用セス

●豫約出版物官報ニ掲載ノ件

（明治四十三年六月三十日）
（內示乙收第二二一一號通牒）

豫約出版法ニ依リ届出アリタルトキハ可成一般ニ公知ノ方法トシテ左記事項及其ノ變更、廢絶、履行ノ完了ニ付官報警察事項欄ニ掲載スルコトニ決定ノ旨通牒有之爲今右届出ノ場合ニ於テハ其都度掲載相成候條此旨心得ラルヘシ

記

一　題名
二　著作者
三　發行者
四　發行所
五　著手ノ日

以上

備考　願出ニ依リ許可ヲ與フルモノニ在リテハ許可アリタルトキニ於テ官報ヘ掲載スヘキモノトス

書式

（甲號）

題名　何々
著作者　何某
發行者　何某（法人又ハ其名稱代表者）
發行所及所在地　何所何々
着手年月日　何年何月　日

右何年何月何日豫約出版届出タリ

（乙號）

何年何月何日何某ヨリ届出タル何々豫約出版届出事項中何々ヲ何々ト變更シタリ

（丙號）

何年何月何日何某ヨリ届出タル何々豫約出版ハ其ノ履行ヲ了ヘタル旨申出タリ

（丁號）

何年何月何日何某ヨリ届出タル何々豫約出版ハ廢絶シタリ

●著作權法

沿革　明治四三年六月法律第六三號、大正九年八月第六〇號改正

第一章　著作者ノ權利

第一條　文書演述圖畫建築彫刻模型寫眞演奏歌唱其ノ他文藝學術若ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ノ著作者ハ其ノ著作物ヲ複製スルノ權利ヲ專有ス
文藝學術ノ著作物ノ著作權ハ翻譯權ヲ包含シ各種ノ脚本及樂譜ノ著作權ハ興行權ヲ包含ス

（明治三十二年三月四日法律第三十九號）

第二條　著作權ハ之ヲ讓渡スコトヲ得

第三條　發行又ハ興行シタル著作物ノ著作權ハ著作者ノ生存間及其ノ死後三十年間繼續ス

數人ノ合著作ニ係ル著作物ノ著作權ハ最終ニ死亡シタル者ノ死後三十年間繼續ス

第四條　著作者ノ死後發行又ハ興行シタル著作物ノ著作權ハ發行又ハ興行ノトキヨリ三十年間繼續ス

第五條　無名又ハ變名著作物ノ著作權ハ發行又ハ興行ノトキヨリ三十年間繼續ス但シ其期間內ニ著作者其ノ實名ノ登錄ヲ受ケタルトキハ第三條ノ規定ニ從フ

第六條　官公衙學校社寺協會會社其ノ他團體ニ於テ著作ノ名義ヲ以テ發行又ハ興行シタル著作物ノ著作權ハ發行又ハ興行ノトキヨリ三十年間繼續ス

第七條　著作權者原著作物發行ノトキヨリ十年內ニ其ノ翻譯物ヲ發行セサルトキハ其ノ翻譯權ハ消滅ス

前項ノ期間內ニ著作權者其ノ保護ヲ受ケントスル國語ノ翻譯物ヲ發行シタルトキハ其ノ國語ノ翻譯權ハ消滅セス

第八條　冊號ヲ追ヒ順次ニ發行スル著作物ニ關シテハ前四條ノ期間ハ每冊若ハ每號發行ノトキヨリ起算ス

一部分ツツヲ漸次ニ發行シ全部完成スル著作物ニ關シテハ前四條ノ期間ハ最終部分ノ發行ノトキヨリ起算ス但シ三年ヲ經過シ仍繼續ノ部分ヲ發行セサルトキハ既ニ發行シタル部分ヲ以テ最終ノモノト看做ス

第九條　前六條ノ場合ニ於テ著作權ノ期間ヲ計算スルニハ著作者死亡ノ年又ハ著作物ヲ發行又ハ興行シタル年ノ翌年ヨリ起算ス

第十條　相續人ナキ場合ニ於テ著作權ハ消滅ス

第十一條　左ニ記載シタルモノハ著作權ノ目的物ト爲ルコトヲ得ス

一　法律命令及官公文書

二　新聞紙ニ記載シタル雜報及時事ノ記事

三　公開セル裁判所、議會竝政談集會ニ於テ爲シタル演述

第十二條　無名又ハ變名著作物ノ發行者又ハ興行者ハ著作權者ニ屬スル權利ヲ保全スルコトヲ得但シ著作者其ノ實名ノ登錄ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　數人ノ合著作ニ係ル著作物ノ著作權ハ各著作者ノ共有ニ屬ス

各著作者ノ分擔シタル部分明瞭ナラサル場合ニ於テ著作者中ニ其ノ發行又ハ興行ヲ拒ムモノアルトキハ他ノ著作者ハ其ノ者ニ賠償シテ其ノ持分ヲ取得スルコトヲ得但シ反對ノ契約アルトキハ此ノ限ニ在ラス

各著作者ノ分擔シタル部分明瞭ナル場合ニ於テ著作者中ニ其ノ發行又ハ興行ヲ拒ム者アルトキハ他ノ著作者ハ自己ノ部分ヲ分離シ單獨ノ著作物トシテ發行又ハ興行スルコトヲ得但シ反對ノ契約アルトキハ此ノ限ニ在ラス

本條第二項ノ場合ニ於テハ發行又ハ興行ヲ拒ミタル尊作者ノ意ニ反シテ其ノ氏名ヲ其ノ著作物ニ揭クルコトヲ得ス

第十四條　數多ノ著作物ヲ適法ニ編輯シタル者ハ著作者ト看做シ其ノ編輯物全部ニ付テノミ著作權ヲ有ス但シ各部ノ著作權ハ其ノ著者ニ屬ス

第十五條　著作權ノ相續讓渡及實入ハ其ノ登錄ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

無名又ハ變名著作物ノ著作者ハ其ノ實名ノ登錄ヲ受クルコトヲ得

第十六條　登錄ハ行政廳之ヲ行フ

登錄ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條　未タ發行又ハ興行セサル著作物ノ原本及其ノ著作權ハ債權者ノ爲ニ差押ヲ受クルコトナシ但シ著作權者ニ於テ承諾ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

第十八條　著作權ヲ承繼シタル者ハ著作者ノ同意ナクシテ其ノ著作物ヲ改竄スルコトヲ得ス

第十九條　原著作物ニ訓點、傍訓、句讀、批評、註解、附錄、圖畫ヲ加ヘ又ハ其ノ他ノ修正增減ヲ爲シ若ハ翻案シタルカ爲新ニ著作權ヲ生スルコトナシ但シ新著作物ト看做サルヘキモノハ此限ニ在ラス

第二十條　新聞紙ニ掲載シタル記事ニ關シテハ小說及文藝學術若ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ヲ除ク外著作權者カ特ニ轉載ヲ禁スル旨ヲ明記セサルトキハ其ノ出所ヲ明示シテ轉載スルコトヲ得

第二十一條　飜譯者ハ著作者ト看做シ本法ノ保護ヲ享有ス但シ原著作者ノ權利ハ之カ爲ニ妨ケラルルコトナシ

第二十二條　原著作物ト異リタル技術ニ依リ適法ニ美術上ノ著作物ヲ寫製シタル者ハ著作者ト看做シ本法ノ保護ヲ享有ス

第二十三條　寫眞著作權ハ十年間繼續ス

前項ノ期間ハ其ノ著作物ヲ始メテ發行シタル年ノ翌年ヨリ起算ス若シ發行セサルトキハ種板ヲ製作シタル年ノ翌年ヨリ起算ス

寫眞術ニ依リ適法ニ美術上ノ著作物ヲ寫製シタル者ハ原著作物ノ著作權ト同一ノ期限ニ從フ

第二十四條　文藝學術ノ著作物中ニ挿入シタル寫眞ニシテ特ニ其ノ著作物ノ爲ニ著作シ又ハ著作セシメタルモノナルトキハ其ノ著作權ハ文藝學術ノ著作物ノ著作者ニ屬シ其ノ著作權ト同一ノ期限內繼續ス

第二十五條　他人ノ囑託ニ依リ著作シタル寫眞肖像ノ著作權ハ其ノ囑託者ニ屬ス

第二十六條　寫眞ニ關スル規定ハ寫眞術ト類似ノ方法ニ依リ製作シタル著作物ニ準用ス

第二十七條　著作權者ノ不明ナル著作物ニシテ未タ發行又ハ興行セサルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ發行又ハ興行スルコトヲ得

第二十八條　外國人ノ著作權ニ付テハ條約ニ別段ノ規定アルモノヲ除ク外本法ノ規定ヲ適用ス但シ著作權保護ニ關シ條約ニ規定ナキ場合ニハ帝國ニ於テ始メテ其ノ著作物ヲ發行シタル者ニ限リ本法ノ保護ヲ享有ス

第二章　僞作

第二十九條　著作權ヲ侵害シタル者ハ僞作者トシ本法ニ規定シタルモノノ外民法第三編第五章ノ規定ニ從ヒ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス

第三十條　既ニ發行シタル著作物ヲ左ノ方法ニ依リ寫製スルハ僞作ト看做サス

第一　發行スルノ意思ナク且器械的又ハ化學的方法ニ依ラスシテ寫製スルコト

第二　自己ノ著作物中ニ正當ノ範圍內ニ於テ節錄引用スルコト

第三　普通教育上ノ修身書及讀本ノ目的ニ供スル爲ニ正當ノ範圍內ニ於テ拔萃蒐輯スルコト

第四　文藝學術ノ著作物ノ文句ヲ自己ノ著作シタル脚本ニ挿入シ又ハ樂譜ニ充用スルコト

第五　文藝學術ノ著作物ヲ說明スルノ材料トシテ美術上ノ著作物ヲ挿入シ又ハ美術上ノ著作物ヲ說明スルノ材料トシテ文藝學術ノ著作物ヲ挿入スルコト

第六　圖畫ヲ彫刻物模型ニ作リ又ハ彫刻物模型ヲ圖畫ニ作ルコト

本條ノ場合ニ於テハ其ノ出所ヲ明示スルコトヲ要ス

第三十一條　帝國ニ於テ發賣頒布スルノ目的ヲ以テ僞作物ヲ輸入スル者ハ僞作者ト見做ス

第三十二條　練習用ノ爲ニ著作シタル問題ノ解答書ヲ發行スル者ハ僞作者ト看做ス

第三十二條ノ二　活動寫眞術ニ依リ他人ノ著作物ヲ寫調スル者ハ僞作者ト看做ス

第三十二條ノ三　音ヲ器械的ニ複製スルノ用ニ供スル機器ニ他人ノ著作物ヲ寫調スル者ハ僞作者ト看做ス

第三十三條　善意ニシテ且過失ナク僞作ヲ爲シテ利益ヲ受ケ之カ爲ニ他人ニ損失ヲ及ホシタル者ハ其ノ利益ノ存スル限度ニ於テ之ヲ返還スル義務ヲ負フ

第三十四條　數人ノ合著作ニ係ル著作物ノ著作權者ハ僞作ニ對シ他ノ著作權者ノ同意ナクシテ告訴ヲ爲シ及自己ノ持分ニ對スル損害ノ賠償ヲ請求シ又ハ自己ノ持分ニ應シテ前條ノ利益ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第三十五條　僞作ニ對シ民事ノ訴訟ヲ提起スル場合ニ於テハ既ニ發行シタル著作物ニ於テ其ノ著作者トシテ氏名ヲ揭ケタル者ヲ以テ其ノ著作者ト推定ス

無名又ハ變名著作物ニ於テハ其ノ著作物ニ發行者トシテ氏名ヲ揭ケタル者ヲ以テ其ノ發行者ト推定ス

未タ發行セサル脚本及樂譜ノ興行ニ關シテハ其ノ興行ニ著作者トシテ氏名ヲ顯ハシタル者ヲ以テ其ノ著作者ト推定ス

著作者ノ氏名ヲ顯ハササルトキハ其ノ興行者ヲ以テ其ノ著作者ト推定ス

第三十六條　僞作ニ關シ民事ノ出訴又ハ刑事ノ起訴アリタルトキハ裁判所ハ原告又ハ告訴人ノ申請ニ依リ保證ヲ立テシメ又ハ立テシメスシテ假ニ僞作ノ疑アル著作物ノ發賣頒布ヲ差止メ若ハ之ヲ差押ヘ又ハ其ノ興行ヲ差止ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ僞作ニ非サル旨ノ判決確定シタルトキハ申請者ハ差止又ハ差押ヨリ生シタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス

第三章　罰則

第三十七條　僞作ヲ爲シタル者及情ヲ知テ僞作物ヲ發賣シ又ハ頒布シタル者ハ五拾圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條　第十八條ノ規定ニ違反シタル者ハ參拾圓以上參百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條　第二十條及第三十條第二項ノ規定ニ違反シ出所ヲ明示セスシテ複製シタル者竝第十三條第四項ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十條　著作者ニ非サル者ノ氏名稱號ヲ附シテ著作物ヲ發行シタル者ハ參拾圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條　著作權ノ消滅シタル著作物ト雖之ヲ改竄シテ著作者ノ意ヲ害シ又ハ其ノ題號ヲ改メ若ハ著作者ノ氏名稱號ヲ隱匿シ又ハ他人ノ著作物ト詐稱シテ發行シタル者ハ貳百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十二條　虛僞ノ登錄ヲ受ケタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條　僞作物及專ラ僞作ノ用ニ供シタル器械器具ハ僞作者　印刷者、發賣者及頒布者ノ所有ニ在ル場合ニ限リ之ヲ沒收ス

第四十四條　本章ニ規定シタル罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ其ノ罪ヲ論ス但シ第三十八條ノ場合ニ於テ著作者ノ死亡シタルトキ竝第四十條乃至第四十二條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條　本章ノ罪ニ對スル公訴ノ時效ハ二年ヲ經過スルニ因リテ完成ス

第四章　附則

第四十六條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（明治三十二年六月勅令第三百十三號ヲ以テ同年七月十五日ヨリ施行）

明治二十六年法律第十六號版權法明治二十年勅令第七十八號脚本樂譜條例明治二十年勅令第七十九號寫眞版權條例ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

第四十七條　本法施行前ニ著作權ノ消滅セサル著作物ハ本法施行ノ日ヨリ本法ノ保護ヲ享有ス

第四十八條　本法施行前僞作ト認メラレサリシ複製物ニシテ既ニ複製ニ著手シタルモノ又ハ複製ニ著手シタルモノハ之ヲ完成シテ發賣頒布スルコトヲ得

前項ノ複製ノ用ニ供シタル器械器具ノ現存スルトキハ本法施行後五年間仍其ノ寡製ノ爲之ヲ使用スルコトヲ得

第四十九條　本法施行前翻譯シ又ハ翻譯ニ著手シ其ノ當時ニ於テ僞作ト認メラレサリシモノハ之ヲ完成シコトヲ得但シ其ノ翻譯物ハ本法施行後七年內ニ發行スルコトヲ要ス

前項ノ翻譯物ハ發行後五年間仍之ヲ寡製スルコトヲ得

第五十條　本法施行前既ニ興行シ若ハ興行ニ著手シ其ノ當時ニ於テ僞作ト認メラレサリシモノハ本法施行後五年間仍之ヲ興行スルコトヲ得

（明治四十二年五月五日法律第四十一號）

●新聞紙法

第一條　本法ニ於テ新聞紙ト稱スルハ一定ノ題號ヲ用ヰ時期ヲ定メ又ハ六箇月以內ノ期間ニ於テ時期ヲ定メスシテ發行スル著作物及定時期以外ニ本著作物トスル著作物ト同一題號ヲ用ヰテ臨時發行スル著作物ヲ謂フ

同一題號ノ新聞紙ヲ他ノ地方ニ於テ發行スルトキハ各別種ノ新聞紙ト看做ス

第二條　左ニ揭クル者ハ新聞紙ノ發行人又ハ編輯人タルコトヲ得ス

一　本法ヲ施行スル帝國領土內ニ居住セサル者

二　陸海軍軍人ニシテ現役若ハ召集中ノ者
三　未成年者、禁治産者及準禁治産者
四　懲役又ハ禁錮ノ刑ノ執行中又ハ執行猶豫中ノ者

第三條　印刷所ハ本法ヲ施行スル帝國領土外ニ之ヲ設クルコトヲ得

第四條　新聞紙ノ發行人ハ左ノ事項ヲ内務大臣ニ届出ツヘシ

一　題號
二　掲載事項ノ種類
三　時事ニ關スル事項ノ掲載ノ有無
四　發行ノ時期、若時期ヲ定メサルトキハ其ノ旨
五　第一回發行ノ年月日
六　發行所及印刷所
七　持主ノ氏名、若法人ナルトキハ其ノ名稱及代表者ノ氏名
八　發行人、編輯人印刷人ノ氏名年齢但シ編輯人二人以上アルトキハ其ノ主トシテ編輯事務ヲ擔當スル者ノ氏名年齢

前項ノ届出ハ持主又ハ其ノ法定代理人ノ連署シタル書面ヲ以テシ第一回發行ノ日ヨリ十日以前ニ管轄地方官廳ニ差出スヘシ

第五條　前條第一項第一號乃至第三號ノ事項ノ變更ハ變更ノ日ヨリ十日以前ニ第四號若ハ第六號ノ事項又ハ持主、編輯人、印刷人ノ變更ハ變更前又ハ變更後七日以内ニ前條ノ手續ニ依リ發行人ヨリ之ヲ内務大臣ニ届出ツヘシ但シ持主變更ノ届出ニハ死亡ニ因ル場合ノ外新舊持主又ハ其ノ法定代理人ノ連署ヲ要ス

第六條　死亡シ又ハ第二條ニ該當スルニ至リタル發行人ノ權利及義務ヲ承繼シタル發行人ハ其ノ發行人ト爲リタル日ヨリ七日以内ニ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ノ外發行人ノ變更ハ變更ノ日ヨリ十日以前ニ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條　新聞紙ハ届出ヲ爲シタル發行時期又ハ發行休止ノ日ヨリ起算シテ百日間、三回發行ノ期間ヲ通シテ百日ヲ超ユル新聞紙ニ在リテハ三回發行ノ期間之ヲ發行セサルトキハ其ノ發行ヲ廢止シタルモノト看做ス

第八條　發行人若ハ編輯人死亡シ又ハ第二條ニ該當スルニ至リ後任ノ發行人若ハ編輯人一箇月以上本法ヲ施行スル帝國領土外ニ旅行スル場合ニ於テハ假發行人若ハ假編輯人ヲ定メサル間又ハ發行人若ハ編輯人ニ之ヲ準用ス

發行人及編輯人ニ關スル本法ノ規定ハ假發行人及假編輯人ニ之ヲ準用ス

第九條　編輯人ノ責任ニ關スル本法ノ規定ハ左ニ揭クル者ニ之ヲ準用ス

一　編輯人以外ニ於テ實際編輯ヲ擔當シタル者
二　掲載ノ事項ニ署名シタル者
三　正誤書、辯駁書ノ事項ニ付テハ其ノ掲載ヲ請求シタル者

第十條　新聞紙ニハ發行人、編輯人、印刷人ノ氏名及發行所ヲ掲載スヘシ

第十一條　新聞紙ハ發行ト同時ニ内務省ニ二部、管轄地方官廳、地方裁判所檢事局及區裁判所檢事局ニ各一部ヲ納ムヘシ

第十二條　時事ニ關スル事項ヲ掲載スル新聞紙ハ管轄地方官廳ニ保證トシテ左ノ金額ヲ納ムルニ非サレハ之ヲ發行スルコトヲ得ス

一　東京市、大阪市及其ノ市外三里以内ノ地ニ於テハ二千圓
二　人口七萬以上ノ市又ハ區及其ノ市又ハ區外一里以内ノ地ニ於テハ千圓
三　其ノ他ノ地方ニ於テハ五百圓

前項ノ金額ハ一箇月三回以下發行スルモノニ在リテハ其ノ半額トス

保證金ハ命令ヲ以テ定ムル種類ノ有價證券ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第十三條　保證金ニ對スル權利及義務ハ發行人變更ノ場合ニ於テ後任發行人之ヲ承繼スルモノトス

第十四條　保證金ハ發行ヲ廢止シタルトキニ非サレハ其ノ還附ヲ請求シ又ハ其ノ債權ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ國稅徵收法及之ヲ準用スル法令ヲ適用シ又ハ名譽ニ對スル罪ニ因ル損害賠償ノ判決ヲ執行スルハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　保證金ヲ納ムル新聞紙ニ關シ發行人又ハ編輯人罰金又ハ刑事訴訟費用ノ言渡確定ノ日ヨリ十日以內ニ之ヲ完納セサルトキハ檢事ハ保證金ノ全部又ハ一部ヲ之ニ充ツルコトヲ得

第十六條　保證金ハ其ノ闕額ヲ生シタル場合ニ於テ之ヲ塡補スルニ非サレハ其ノ新聞紙ヲ發行スルコトヲ得ス但シ闕額ヲ生シタル日ヨリ七日以內ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　新聞紙ニ揭載シタル事項ノ錯誤ニ付其ノ事項ニ關スル本人又ハ直接關係者ヨリ正誤又ハ正誤書、辯駁書ノ揭載ヲ請求シタルトキハ其ノ請求ヲ受ケタル後次回又ハ第三回ノ發行ニ於テ正誤ヲ爲シ又ハ正誤書、辯駁書ノ全文ヲ揭載スヘシ

正誤、辯駁ハ原文ト同號ノ活字ヲ用ウヘシ

正誤書、辯駁書ノ趣旨法令ニ違反スルトキ又ハ請求者ノ氏名住所ヲ明記セサルトキハ其ノ超過ノ字數ニ付發行人ノ定メタル普通廣告料ト同一ノ料金ヲ要求スルコトヲ得

第十八條　官報又ハ他ノ新聞紙ヨリ抄錄セシ事項ニシテ官報又ハ新聞紙ニ於テ正誤シ又ハ正誤書、辯駁書ヲ揭載シタルトキハ本人又ハ直接關係者ノ請求ナシト雖其ノ官報又ハ新聞紙ヲ得タル後前條ノ例ニ依リ正誤シ又ハ正誤書、辯駁書ヲ揭載スヘシ但シ料金ヲ要求スルコトヲ得ス

第十九條　新聞紙ハ公判ニ付スル以前ニ於テ豫審ノ內容其ノ他檢事ノ差止メタル搜查又ハ豫審中ノ被告事件ニ關スル事項又ハ公開ヲ停メタル訴訟ノ辯論ヲ揭載スルコトヲ得ス

第二十條　新聞紙ハ官署、公署又ハ法令ヲ以テ組織シタル議會ニ於テ公ニセサル文書又ハ公開セサル會議ノ議事ヲ許可ヲ受ケスシテ揭載スルコトヲ得ス請願書又ハ訴願書ニシテ公ニセラレサルモノ亦同シ

第二十一條　新聞紙ハ犯罪ヲ煽動若ハ曲庇シ又ハ犯罪人若ハ刑事被告人ヲ賞恤若ハ救護シ又ハ刑事被告人ヲ陷害スルノ事項ヲ揭載スルコトヲ得ス

第二十二條　第四條乃至第六條ノ屆出ヲ爲サス若ハ屆出ヲ爲スモ實ヲ以テセス又ハ保證金ヲ納メ若ハ之ヲ塡補スヘキ場合ニ於テ之ヲ納メ若ハ之ヲ塡補セスシテ發行シタルトキハ正當ノ屆出ヲ爲シ又ハ保證金ヲ納メ若ハ之ヲ塡補スル迄管轄地方官廳ニ於テ新聞紙ノ發行ヲ差止ムヘシ

第二十三條　內務大臣ハ新聞紙揭載ノ事項ニシテ安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルトキハ其ノ發賣及頒布ヲ禁止シ必要ノ場合ニ於テハ之ヲ差押フルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ內務大臣ハ同一主旨ノ事項ノ揭載ヲ差止ムルコトヲ得

第二十四條　內務大臣ハ外國若ハ本法ヲ施行セサル帝國領土ニ於テ發行シタル新聞紙揭載ノ事項ニシテ安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルトキハ其ノ本法施行ノ地域內ニ於ケル發賣及頒布ヲ禁止シ必要ナル場合ニ於テハ之ヲ差押フルコトヲ得

新聞紙ニ對シ一年以內ニ二回以上前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ內務大臣ハ其ノ新聞紙ヲ本法施行ノ地域內ニ輸入又ハ移入スルヲ禁止スルコトヲ得

第二十五條　前條第二項ニ依ル禁止ノ命令ニ違反シテ輸入又ハ移入シタル新聞紙及第四十三條ニ依ル禁止ノ裁判ニ違反シテ發賣又ハ頒布スルノ目的ヲ以テ印刷シタル新聞紙ハ管轄地方官廳ニ於テ之ヲ差押フルコトヲ得

第二十六條　本法ニ依リ差押ヘタル新聞紙ニシテ二年以上其ノ差押ヲ解除セラレサルトキハ差押ヲ執行シタル行政官廳ニ於テ之ヲ處分スルコトヲ得

第二十七條　陸軍大臣、海軍大臣及外務大臣ハ新聞紙ニ對シ命令ヲ以テ軍事若ハ外交ニ關スル事項ノ揭載ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得

第二十八條　第二條ニ該當スル者ニシテ事實ヲ詐リ發行人又ハ編輯人ト爲リタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條　第三條ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條　第四條乃至第六條ノ届出ヲ爲サス若ハ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセス又ハ第四條第一項第一號、第四號乃至第六號ニ關シ届出ノ事項ニ違反シタルトキハ發行人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十一條　第四條第一項第二號又ハ第三號ニ關シ届出ノ事項ニ違反シタル行爲ヲ爲シ又ハ第十一條以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十二條　第八條第一項ニ違反シタルトキハ發行人死亡シ又ハ第二條ニ該當スルニ至リタル場合ニ於テハ實際發行ヲ爲シタル者、其ノ他ノ場合ニ於テハ發行人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十三條　第十條ニ違反シ又ハ揭載ニ實ヲ以テセサルトキハ發行人及編輯人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十四條　第十二條第一項、第二項、第十六條ニ違反シ又ハ第二十二條ニ依ル差止ノ命令ニ違反シタルトキハ發行人ヲ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十五條　第十七條第一項、第二項又ハ第十八條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

前項ノ罪ハ私事ニ係ル場合ニ於テ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第三十六條　第十九條、第二十條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ三月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條　第二十一條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條　第二十三條ニ依ル禁止若ハ差止ノ命令、第二十四條ニ依ル禁止ノ命令、第四十三條ニ依ル禁止ノ裁判ニ違反シタルトキハ發行人、編輯人ヲ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス情ヲ知リテ其ノ新聞紙ヲ發賣又ハ頒布シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條　第二十三條第一項、第二十四條第一項、第二十五條ニ依ル差押處分ノ執行ヲ妨害シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十條　第二十七條ニ依ル禁止又ハ制限ノ命令ニ違反シタルトキハ發行人、編輯人ヲ二年以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條　安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スル事項ヲ新聞紙ニ揭載シタルトキハ發行人、編輯人ヲ六月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十二條　皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ政體ヲ變改シ又ハ朝憲ヲ紊亂セムトスルノ事項ヲ新聞紙ニ揭載シタルトキハ發行人、編輯人、印刷人ヲ二年以下ノ禁錮及三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條　第四十二條ニ依リ處罰スル場合ニ於テ裁判所ハ其ノ新聞紙ノ發行ヲ禁止スルコトヲ得

第四十四條　本法ニ定メタル犯罪ニハ刑法併合罪ノ規定ヲ適用セス

第四十五條　新聞紙ニ揭載シタル事項ニ付名譽ヲ毀損スル罪ノ公訴ヲ提起シタル場合ニ於テ其ノ私行ニ渉ルモノヲ除クノ外裁判所ニ於テ惡意ニ出テス專ラ公益ノ爲ニスルモノト認ムルトキハ被告人ニ事實ヲ證明スルコトヲ許スコトヲ得若其ノ證明ノ確立ヲ得タルトキハ其ノ行爲ハ之ヲ罰セス公訴ニ關聯スル損害賠償ノ訴ニ對シテハ其ノ義務ヲ免ル

附　則

新聞紙條例ハ之ヲ廢止ス

本法施行前ヨリ發行スル新聞紙ニシテ本法ノ規定ニ依リ保證金ニ關額ヲ生スルニ至リタルトキハ本法施行ノ日ヨリ三箇月其ノ壞補ヲ猶豫ス

第二十六條ノ規定ハ本法施行前ノ差押ニ係ル新聞紙ニ之ヲ準用ス

●新聞紙法及豫約出版法ニ依リ納ムヘキ保證金ニ充ツルコトヲ得ル有價證券ノ種類

（明治四十三年四月十六日内務省令第十五號）

（沿革）大正一〇年二月内務省令第五號改正

新聞紙法第十二條第三項及豫約出版法第四條第二項ニ依リ管轄地方官廳ニ納ムヘキ保證金ニ充ツルコトヲ得ル有價證券ノ種類左ノ如シ

一　國債證券

附　則

明治四十二年五月内務省令第十五號ハ之ヲ廢止ス

●新聞紙雜誌發賣轉賣屆出方

（明治二十二年十月三十日岐阜縣令第六十八號）

一　新聞紙雜誌雜報ノ發賣轉賣又ハ縱覽所營業ヲ爲サントスル者ハ族籍住所氏名及其ノ新聞紙ノ種類ヲ記シ開業三日以前ニ所轄警察署又ハ〔分署〕ニ屆出ヘシ但見料ヲ要セサル縱覽所ヲ開設セントスルモノ亦同シ

一　族籍住所氏名ヲ轉換シ又ハ新聞紙ノ種類ヲ增減シ若クハ廢業シタルトキハ更ニ屆出ヘシ

一　前二項ニ違背シタル者ハ貳拾錢以上壹圓貳拾五錢以下ノ科料ニ處ス

●新聞紙其ノ他出版物差押執行方ニ關スル件

（大正三年十二月二十四日内示甲發第五號）

新聞紙其ノ他出版物ノ差押執行方ニ關シテハ内務省警保局ト遞信省通信局ト協議ノ上左ノ通便宜ノ取扱方ヲ定メタル旨内務省警保局長ヨリ通牒有之候條留意シ差押執行ノ命達ヲ受ケタル場合ハ此ノ方針ニテ取扱フヘシ

記

一　警察官署ニ於テハ郵便官署ヨリ差押郵便物ノ受領方要求アリタル場合ハ未タ差押ノ命令ニ接セサルトキト雖假ニ之ヲ受領シ置キ命令ノ到達ヲ待テ正規ノ手續ヲ爲スコト

一　郵便官署ニ於テハ警察官署ヨリ差押執行命令書ヲ提示シ差押郵便物ノ引渡方要求アリタル場合ハ未タ差押ノ通報ニ接セサルトキト雖當該郵便物ハ其ノ通報ニ接スル迄自局ニ留置キ遞信公報告知其ノ他ノ通報ヲ待テ正規ノ手續ヲ爲スコト

●新聞紙差押執行ニ關スル件

（大正五年六月二十七日内示甲發第六號）

新聞紙差押命令ノ執行ヲ敏速ニシ且過誤ナカラム事ニ注意スヘキ件ニ付テハ大正三年八月二十一日附内示甲第四號ノ次第モ有之爾來其ノ趣旨ヲ體認シ注意セラレツツアルヲ以テ今日迄幸ニ大過ナカリシハ寔ニ喜フ處ナリ新聞紙ノ差押命令ハ多クハ夜間若ハ退廳時刻後ナレハ從來當番巡査部長以下ニ於テ取扱ハレ隨テ愼重ヲ缺クノ嫌ナシトセス近ク某縣某署ニ於テ國民新聞ヲ差押フルニ當リ其ノ版數ヲ誤リ差押ヲ執行セル爲物議ヲ惹起セルノ事例モ有之候條今後ハ右執行ノ命ニ接シタル時ハ署長自ラ之カ執行ノ指揮監督ニ任シ日附、號數、版別、符號等ニ深ク留意シ敏速且愼重事ニ當リ取扱上萬遺算ナキヲ期セラルヘシ

（大正七年八月一日内示乙發第二四號）

新聞紙差押執行ハ署長自ラ之カ指揮監督ニ任シ日附、號數、版別、符號等ニ深ク留意シ敏速且愼重事ニ當リ取扱上萬遺算ナキヲ期スヘキ件ニ關シテハ大正五年六月二十七日内示甲發第六號依命内示ノ次第モ有之爾來此ノ趣旨ニ據リ取扱ハルヘシト雖客月三十日縣下ニ於テ差押執行命令ナキ新聞紙ヲ誤テ差押タル爲物議ヲ生シタル事實有之甚タ遺憾ニ不堪候如此ハ單ニ取扱者ノ責任ノミニ止マラス其ノ及ス處重大ナルニ鑑ミ爾今一層右内示ヲ恪守シ毫モ失態ナキヲ期セラルヘシ

●新聞紙ニ對スル差押處分執行方ノ件

（大正九年十一月十六日）
（内示甲第六號）

郵便官署ニ於ケル新聞紙ニ對スル差押處分執行方ニ關シテハ差押該當記事アルモノハ從前ノ通リ全部差押ノ上警察官署ニ引渡ヲ爲シ郵便官署ハ還付ヲ受ケサル樣致度旨遞信省通信局長ヨリ申越ノ次第モ有之候趣ヲ以テ爾後郵便官署ヨリ差押新聞紙引渡ヲ受ケタル場合ハ從前通全紙差押ノ上該當記事ナキ部分ハ還付方請求アリ且ツ處理上支障ナキ場合ニ限リ適宜還付スル樣其筋ヨリ通牒ノ次第モ有之候條右趣旨ニ依リ取扱ハルヘク此旨及內示候

●行政處分ニ付セラレタル新聞紙等ニシテ縱覽所貸本屋等ニ在ルモノ處分方ノ件

（明治三十一年六月二十六日）
（內務大臣訓第五七四號）

〔新聞紙條例第二十一條第二十三條〕及出版法第十九條第二十條ニ於ケル行政處分ニ付セラレタルモノノ新聞紙雜誌縱覽所又ハ貸本屋等ニ在ルモノハ〔新聞紙條例第二十一條第二十三條〕ニ依リテ處分スル儀ト心得ヘシ
但鐵道構內又ハ汽車汽船乘客待合所等ニ在リテハ公衆ノ觀覽ヲ目的トシタル場合ハ事務員又ハ家主等其旨ヲ諭シテ取除カシムヘシ

●新聞雜誌ニ關シ風俗壞亂ト認メタルトキノ取締方

（明治三十一年五月七日）
（內務省訓第四二三號）

〔新聞紙條例〕ニ依リ發行スル新聞紙雜誌ニ揭ケタル稧體畫ニシテ左ノ各項ニ該當シ風俗ヲ壞亂スルモノト認メタルトキハ直ニ告發シ稧體ニ於ケル繪畫影刻模型等ノ觀物場興行場若クハ博覽會共進會展覽會及ヒ品評會場等ニ關シテ左ノ各項ニ觸ルルモノアルトキハ說諭ノ上取除カシムヘシ

第一項　正面橫面其他如何ナル形體ニ拘ハラス稧體ニシテ陰部ヲ描出スルモノ
第二項　假令陰部ヲ描出セサレトモ背面又ハ橫臥若クハ其ノ他如何ナル形體ニ拘ハラス陰部ノ位置ヲ直接ニ推定シ得ラレテ其ノ淫猥ニ渉ルモノ
第三項　高尙純潔ナル目的ヲ以テ古代ノ神仙等若クハ淫猥ナラスシテ他ノ目的ヲ以テ描出シタルモノハ前項ノ限リニ在ラス

●新聞、雜誌其他出版物卑猥記事取締方

（明治四十一年十月二十八日）
（內示乙第二七七號）

近來新聞雜誌其他ノ出版物ニシテ名ヲ文藝ニ藉リ極メテ卑猥ナル記事ヲ揭載スルモノ少ナカラス其ノ青年子女ニ惡感化ヲ與ヘ方途ヲ愆ラシムル等風俗上竝ニ敎育上ニ及ホスノ影響少ナカラス甚タ憂慮ニ堪ヘサルモノアリ今俄カニ急劇ナル取締ヲ爲シ措置深劑ニ失スルハ或ハ穩當ヲ欠クノ恐レ可有之深ク注意ヲ要スヘキモ若シ放漫ニ流ルルニ於テハ其ノ害毒ノ及フ處測リ知ルヘカラス右ニ對シ司法省ニ於テモ今般別紙寫ノ通リ檢事ヘ通牒相成候間此際新聞雜誌其ノ他ノ記事ニシテ世ノ風敎ヲ蠹毒スルモノト認ムルモノニ對シテハ一層取締ヲ嚴ニシ尙ホ寄席劇場等ノ演藝ニ關シテモ同樣ノ趣旨ニ依リ充分取締ヲ爲ス可シ

●國民思想ニ惡影響ヲ及ホスヘキ言說取締ニ關スル件

（大正六年六月十五日）
（內示甲第三號）

近時新聞雜誌等ニ於テ往々偏私奇矯ノ說ヲ爲シ或ハ輕佻浮薄ノ言ヲ弄シ甚タシキニ至リテハ國體ノ本義ト相容レサルノ論

議ヲ試ミル者アリ斯ノ如キハ國家ノ安寧秩序ヲ害シ眞風美俗ヲ壞ルモノニシテ寔ニ深憂ニ堪ヘサル所ナリ言論ノ自由ハ固ヨリ尊重セサルヘカラサル所ナリト雖モ矯激無責任ニシテ社會人心ヲ誘ラムトスルモノニ對シテハ嚴ニ之ヲ防遏セサルヘカラス故ニ此際新聞雜誌社、通信員、著作者、出版業者等ニ對シ右ノ如キ國民思想ニ惡影響ヲ及ホスヘキ言說ヲ掲載刊行セサル樣愼諭シ又各種ノ集會、演說會等ニ於テモ其ノ講談論議ニシテ上記ノ言辭ヲ弄スル者ナキ樣豫メ主催者ニ注意ヲ加フル等機宜ノ處置ヲ執リ常ニ言論ノ趨勢ニ留意シ苟モ人心ノ歸嚮ヲ惑ラシムルカ如キ言動ニ出ツルモノナキ樣嚴重取締ヲ爲シ之カ防遏ニ付專心努力セラル可シ

追テ部内刊行ニ係ル新聞紙、雜誌其ノ他ノ刊行物ハ常ニ精讀シ本件取締ノ資ニ供セラルヘク特ニ申添候

●新聞雜誌其ノ他出版物掲載廣告文取締ニ關スル件

（大正六年七月二日）
（内示甲第四號）

新聞紙雜誌其ノ他出版物掲載廣告文ニシテ風俗ヲ害スルノ嫌アルモノ取締方ニ付テハ大正二年九月二十五日内示乙收第一四六五號竝客年一月二十八日附内示甲第一號ニ基キ嚴重取締相成居候儀ニ有之候處之レカ取締ニ關シ今回司法省法務局長ノ照會ニ對シ内務省警保局長ヨリ別紙ノ通回答セラレ又司法省法務局ニ於テハ風俗ヲ害スル嫌アル廣告文ヲ掲載シタルモノニ對シテハ司法處分ニ付スヘキ意向ノ趣ニ有之候ニ付此際新聞雜誌其ノ他出版物發行者ニ對シ右ノ趣旨ヲ諭示シ今後一層嚴重ナル取締ヲ爲シ該廣告ニ付關係者ニ戒飾スル際ハ若シ之ニ應セサルトキハ告發ノ手續ニ及フヘキ旨ヲモ戒告シ置キ違反者アル場合ニ於テハ檢事ト協議ノ上相當措置シ其旨報告セラルヘシ

●新聞紙其ノ他印刷物ノ頒布區域ニ關スル件

（大正十三年九月四日）
（内示甲第四號）

新聞紙其他ノ印刷物ニシテ爾今差押處分ニ附セラルヘキモノト認メ報告セラルル場合ハ該新聞紙印刷物ヲ頒布シタル區域（未發行ニシテ全部差押ノ見込アラハ其ノ旨）併セテ報告セラルヘシ

●模擬議會議員選擧ニ關スル件

（大正十五年三月二十日）
（内示甲發第一號）

近時新聞社等ニ於テ公民教育又ハ普選實施上ノ訓練等ト稱シ其ノ發行スル新聞紙ニ投票用紙ヲ刷込ミ之ヲ以テ議員ヲ選擧シ模擬議會ヲ開催スルモノ往々アリ斯ノ種ノ催シハ別ニ排斥スヘキモノニアラサルモ其ノ選擧及運動方法ニ別段ノ制限規程ヲ設ケサル爲メ投票用紙ノ買收其ノ他種々ノ運動行ハレ其ノ結果一般法令ニ依ル選擧ヲモ腐敗セシメ反ツテ神聖ナル選擧精神ヲ破壞スルニ至ル虞アルヲ以テ爾今斯種ノ企劃アル場合ニ其ノ選擧規程ニ左ノ條項ヲ設定遵守セシムヘシ

記

一　投票日ヲ一定スルコト
（適當ノ運動期間又ハ候補者選定ノ期間ヲ存ス）
二　投票用紙ノ刷込ミタル新聞紙ノ發行ヲ一回限リトシ其ノ數ヲ限定豫メ發表スルコト
三　候補者タルト又運動者タルヲ問ハス投票ヲ得ル爲メ財產上ノ利益ヲ供與シタル事實アルトキハ總テ其ノ當選ヲ無效トスルコト
四　各候補者ハ前項無效ノ申立ヲ爲シ得ルコトトシ議會ニ於テ裁決スルコト追テ主催者ニシテ右制限ニ遵ハサルトキハ明治四十二年内務省令第二十號ニ依リ措置スルノ必要アルヲ以テ其狀況報告セラルヘシ

●新聞紙發行部數竝頒布區域ニ關スル件

（大正十五年七月二十七日 內示甲第六七一二號）

新聞紙差押手配上其他必要アル趣ヲ以テ其筋ヨリ通牒ノ次第モ有之候條其署部內ニ於ケル各社ニ付其發行部數竝頒布區域等別紙樣式ニ依リ調査ノ上八月十日迄ニ報告セラルヘシ

尙本件ニ關シテハ今後異動ノ都度報告セラルヘシ

別表

新聞紙發行部數竝頒布區域調（年 月末日現在）

新聞紙題號	何々新聞								何署
頒布區域及頒布部數									
本縣內									
何（府）縣									

備考 頒布區域中朝鮮、臺灣、關東廳ニ至ルモノモ記入スルコト

第二章 集會、結社及選擧

●治安警察法

（明治三十三年三月十日 法律第三十六條）

沿革 大正一一年四月法第五九號、一五年四月第五八號改正

第一條 政事ニ關スル結社ノ主幹者（支社ニ在リテハ支社ノ主幹者）ハ結社組織ノ日ヨリ三日以內ニ社名、社則、事務所及其ノ主幹者ノ氏名ヲ其ノ事務所所在地ノ管轄警察官署ニ屆出ツヘシ其ノ屆出ノ事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

第二條 政事ニ關シ公衆ヲ會同スル集會ヲ開カムトスル者ハ發起人ヲ定ムヘシ

發起人ハ到達スヘキ時間ヲ除キ開會三時間以前ニ集會ノ場所、年月日時ヲ會場所在地ノ管轄警察官署ニ屆出ツヘシ

屆出ノ時刻ヨリ三時間ヲ過キテ開會セス若ハ三時間以上中斷スルトキハ屆出ハ其ノ效ヲ失フ

法令ヲ以テ組織シタル議會ノ議員選擧準備ノ爲ニ選擧權ヲ行フヘキ者及被選擧權ヲ有スル者ニ限リ會同スル所ノ集會ハ投票ノ日ヨリ前五十日間ハ本條第二項ノ屆出ヲ要セス

第三條 公事ニ關スル結社又ハ集會ニシテ政事ニ關セサルモノト雖安寧秩序ヲ保持スル爲屆出ヲ必要トスルモノアルトキハ命令ヲ以テ第一條又ハ第二條ノ規定ニ依ラシムルコトヲ得

第四條 屋外ニ於テ公衆ヲ會同シ若ハ多衆運動セムトスルトキハ發起人ヨリ十二時間以前ニ會同スヘキ場所、年月日時及其通過スヘキ路線ヲ管轄警察官署ニ屆出ツヘシ但シ祭葬、講社、學生、生徒ノ體育運動其ノ他慣例ノ許ス所ニ係ルモノハ此限ニ在ラス

第五條 左ニ揭クル者ハ政事上ノ結社ニ加入スルコトヲ得ス

一 現役及召集中ノ豫備後備ノ陸海軍軍人

二 警察官

三　神官神職僧侶其ノ他諸宗教師
四　官立公立私立學校ノ教員學生生徒
五　女子
六　未成年者
七　公權剝奪及停止中ノ者

未成年者ハ公衆ヲ會同スル政談集會ニ會同シ若ハ其ノ發起人タルコトヲ得ス

公權剝奪及停止中ノ者ハ公衆ヲ會同スル政談集會ノ發起人タルコトヲ得ス

第六條　日本臣民ニ非サル者ハ政事上ノ結社ニ加入シ又ハ公衆ヲ會同スル政談集會ノ發起人タルコトヲ得ス

第七條　結社ハ法令ヲ以テ組織シタル議會ノ議員ニ對シテ其ノ發言表決ニ付議會外ニ於テ責任ヲ負ハシムルノ規定ヲ設クルコトヲ得ス

第八條　安寧秩序ヲ保持スル爲必要ナル場合ニ於テハ警察官ハ屋外ノ集會又ハ多衆ノ運動者ハ群集ヲ制限、禁止若ハ解散シ又ハ屋內ノ集會ヲ解散スルコトヲ得

結社ニシテ前項ニ該當スルトキハ內務大臣ハ之ヲ禁止スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ違法處分ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九條　集會ニ於テハ軍罪輕罪ノ豫審ニ關スル事項ヲ公判ニ付セラル以前ニ講談論議シ又ハ傍聽ヲ禁シタル訴訟ニ關スル事項ヲ講談論議スルコトヲ得ス

集會ニ於テハ犯罪ヲ煽動若ハ曲庇シ又ハ犯罪人若ハ刑事被告人ヲ賞恤若ハ救護シ又ハ刑事被告人ヲ陷害スルノ講談論議ヲ爲スコトヲ得ス

第十條　集會ニ於ケル講談論議ニシテ前條ノ規定ニ違背シ其ノ他安寧秩序ヲ紊シ若ハ風俗ヲ害スル虞アリト認ムル場合ニ於テハ警察官ハ其ノ人ノ講談論議ヲ中止スルコトヲ得

第十一條　結社、集會又ハ多衆運動ニ關シ警察官ノ尋問アリタルトキハ主幹者、會長、發起人ニ於テ又ハ警察官ノ主タル社員若ハ主タル會同者ト認ムル者ニ於テ之ヲ答フヘシ

警察官署ハ制服ヲ着シタル警察官ヲ派遣シ政事ニ關シ公衆ヲ會同スル集會ニ臨監セシムルコトヲ得其ノ集會ニ關セサルモノト雖安寧秩序ヲ妨害スルノ虞アリト認ムルトキ亦同シ此ノ場合ニハ發起人ニ於テ又ハ警察官ノ主タル會同者ト認ムル者ニ於テ警察官ノ求ムル席ヲ供スヘシ

第十二條　集會又ハ多衆運動ノ場合ニ於テ故ラニ喧擾シ又ハ狂暴ニ渉ル者アルトキハ警察官ハ之ヲ制止シ其ノ命ニ從ハサルトキハ現場ヨリ退去セシムルコトヲ得

第十三條　集會及多衆ノ運動ニ於テハ戎器又ハ兇器ヲ携帶スルコトヲ得ス但シ制規ニ依リ戎器ヲ携帶スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　祕密ノ結社ハ之ヲ禁ス

第十五條　法令ヲ以テ組織シタル議會ノ議員議事準備ノ爲ニ相團結スルモノニ對シテハ第一條及第五條ヲ適用セス

第十六條　街頭其ノ他公衆ノ自由ニ交通スルコトヲ得ル場所ニ於テ文書、圖畫、詩歌ノ掲示、頒布、朗讀若ハ放吟又ハ言語形容其ノ他ノ作爲ヲ爲シ其ノ狀況安寧秩序ヲ紊シ若ハ風俗ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ警察官ニ於テ禁止ヲ命スルコトヲ得

第十七條　（削除）

第十八條　行政官廳ハ安寧秩序ヲ保持スル爲必要ト認ムルトキハ戎器、爆發物又ハ戎器ヲ仕込ミタル物件ノ携帶ヲ禁スルコトヲ得

第十九條　第一條ニ違背シタル者ハ金參拾圓以下ノ罰金ニ處シ第一條ノ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセサル者ハ五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條　第二條第一項又ハ第二項ニ違背シタル者ハ貳拾圓以下ノ罰金ニ處シ第二項ノ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセサル者ハ

參拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條　第四條ニ違背シタル者ハ貳拾圓以下ノ罰金ニ處シ第四條ノ屆出ヲ爲スモ實ヲ以テセサル者ハ參拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十二條　第五條又ハ第六條ニ違背シタル者ハ貳拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第五條又ハ第六條ニ違背シ入社セシメタル者亦同シ

第二十三條　第八條第一項ノ制限若ハ禁止ノ命ニ違背シ又ハ解散ヲ命セラレタル後尙退散セサル者ハ二月以下ノ輕禁錮又ハ參拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條第二項ノ禁止ノ命ニ違背シタルモノハ六月以下ノ輕禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十四條　第九條ニ違背シ又ハ第十條ノ中止ノ命ニ違背シタル者ハ三月以下ノ輕禁錮又ハ拾圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十五條　第十一條第一項ノ尋問ニ答ヘス若ハ答フルモ實ヲ以テセス又ハ第二項ノ場合ニ於テ警察官ノ臨監ヲ拒ミ若ハ其ノ求ムル席ヲ供セサル者ハ五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條　第十二條ニ依リ退去ヲ命セラレタル後仍退去セサルモノハ一月以下ノ輕禁錮又ハ貳拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條　第十三條ニ違背シタル者ハ三月以下ノ輕禁錮又ハ五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條　秘密ノ結社ヲ組織シ又ハ秘密ノ結社ニ加入シタル者ハ六月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處ス

第二十九條　第十六條ノ禁止ノ命ニ違背シタル者ハ一月以下ノ輕禁錮又ハ參拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條　（削除）

第三十一條　第十八條ノ禁ヲ犯シタル者ハ六月以下ノ重禁錮ニ處ス

第三十二條　本法ニ關スル公訴ノ時效ハ六箇月トス

第三十三條　集會及政社法ハ之ヲ廢止ス

●治安維持法

（大正十四年四月二十二日）
（法律第四十六號）

第一條　國體ヲ變革シ又ハ私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的トシテ結社ヲ組織シ又ハ情ヲ知リテ之ニ加入シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二條　前條第一項ノ目的ヲ以テ其ノ目的タル事項ノ實行ニ關シ協議ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第三條　第一條第一項ノ目的ヲ以テ其ノ目的タル事項ノ實行ヲ煽動シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第四條　第一條第一項ノ目的ヲ以テ騷擾、暴行其ノ他生命、身體又ハ財産ニ害ヲ加フヘキ犯罪ヲ煽動シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第五條　第一條第一項及前三條ノ罪ヲ犯サシムルコトヲ目的トシテ金品其ノ他ノ財産上ノ利益ヲ供與シ又ハ其ノ申込若ハ約束ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス情ヲ知リテ供與ヲ受ケ又ハ其ノ要求若ハ約束ヲ爲シタル者亦同シ

第六條　前五條ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除ス

第七條　本法ハ何人ヲ問ハス本法施行區域外ニ於テ罪ヲ犯シタル者ニ亦之ヲ適用ス

附　則

大正十二年勅令第四百三號ハ之ヲ廢止ス

●治安警察法取扱内規

（明治三十三年六月二十三日）
（内示甲第三號）

沿革　明治四二年一〇月内示甲第六號、大正元年一一月同第一號、大正二年三月同甲發第一號改正

第一條　法第一條ニ依リ政社ノ屆出ヲ受理シタルトキハ屆書ノ寫チソヘ報告スヘシ但役員社員ノ住所氏名職業等モ追報スヘシ其變更アリタルトキ亦同シ

該社員ニシテ他ノ所轄警察署長ニ通報スヘシ

社員ノ集會內議等ハ常ニ偵察シテ隨時報告スヘシ

第二條 法第二條ニ依リ政事ニ關スル集會ノ屆出ヲ受理シタルトキハ開會ノ日時場所目的及講談論議者ノ氏名ヲ報告スヘシ

同條末項ノ場合ニ於ケル集會ニ付テハ豫テ周密ナル視察ヲナシ置キ認知シタルトキ前項ノ手續ヲナスヘシ

非政談集會ノ後同一ノ場所ニ於テ政談集會ヲ開カントスルトキハ一日退出セシメタル後ニ於テ開カシムヘシ但法第五條規定ノ女子未成年者等會同シ居ラサルコト明白ニシテ尙取締上支障ナシト認ムル場合ハ此限ニアラス

政談集會ノ後ニ非政談集會ヲ開カントスルトキハ前ニ集會ノ解散ヲ命シタルトキカ又ハ情況穩カナラサル場合ノ外開會セシムルモ妨ナシ

第三條 法第三條ニ依リ屆出ヲ要セシムヘシト認ムルモノアルトキハ事實ヲ具シ稟議スヘシ

集會ニシテ稟議ノ猶豫ナキ場合ニハ其手續ヲ了シタル後其顚末ヲ報告スヘシ

第四條 法第四條ニ依リ屋外ノ集會運動等ノ屆出ヲ受理シタルトキハ會同ノ場所月日時及路線其目的等ヲ報告スヘシ

屋外多衆ノ運動ニシテ其區域本縣內ニ限レル場合ニ於テハ單ニ集合地ヲ管轄スル警察官署ニ屆出シメ同署ヨリ路線管轄警察官署ニ即報シ其ノ關係警察官署長ハ豫メ協議ヲ遂ケ取締上遺策ナキ樣注意スヘシ

第五條 集會ニハ署長臨監スヘシ若シ署長ニ於テ支障アル場合ニハ警部ニ於テ之レヲ爲スヘシ

遠隔ノ地ニシテ臨監スルコト能ハサル場合又ハ其目的、性質ニ依リ臨監ヲ要セサル場合ハ單ニ取締巡査ヲ派遣シ適宜ノ方法ニ依リ其所說ノ要領及狀況ヲ筆記セシムヘシ

第六條 法第十八條ノ適用ニ關シ地域又ハ身分職業等ヲ限リ一般ニ戎器爆發物又ハ戎器ヲ仕込ミタル物件ノ攜帶ヲ禁スルノ必要アルトキハ其事由ヲ報告スヘシ特定人ニ對シテハ便宜適法ノ處分ヲナシ後其詳細ヲ報告スルコトヲ得

第七條 政社政談屋外ノ各集會竝ニ多衆運動等ノ終リタルトキハ開閉ノ時刻臨監者(臨監セサルトキハ其ノ理由取締巡査ノ數、會場ノ狀況、會同者ノ概數、其ノ種類、感動ノ模樣、講談論議者ノ氏名及其要旨竝ニ注意ヲ與ヘ若クハ制止、中止又ハ解散、制限、退去等ヲ命セシ事項ヲ報告シ其ノ中止、解散ヲ命シタルトキハ筆記書(要所)ヲ添付スヘシ)

第八條 政社ノ目的、運動、安寧、秩序ニ妨害アリト認メ禁止ノ必要アリタルトキハ其狀況ニ意見ヲ附シ報告スヘシ

第九條 秘密ノ結社ヲ偵知セン時及政社員法律ニ違犯シ司法處分ニ附セントスルトキハ豫メ事實ヲ具シ稟議スヘシ

手ヲ要スル場合ハ手續ヲ終リタル後報告スヘシ

第十條 左ノ場合ニ於テハ其狀況事實顚末ヲ報告スヘシ

一 非政治集會ニ臨監シタル時

二 政治、非政治、會同ニ繼續シタル懇親會協議會等アリタルトキ

三 司法處分ニ附シタルトキ及其結果(裁判言渡書ヲ添付スヘシ)

四 法第十五條ノ團結ノ計畫アリタルトキ、法第十六條ノ禁止ヲ命シタルトキ及法第十七條ノ事件起リタルトキ

第十一條 此ノ內規ニ關スル通報手續ハ大正二年二月八日內訓甲第二號警察機密通報內訓第四條以下ヲ準用セラルヘシ

●衆議院議員選擧法

沿革 大正一五年六月法律第八二號改正

第一章 選擧ニ關スル區域

第一條 衆議院議員ハ各選擧區ニ於テ之ヲ選擧ス

選擧區及各選擧區ニ於テ選擧スヘキ議員數ハ別表ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 投票區ハ市町村ノ區域ニ依ル

地方長官特別ノ事情アリト認ムルトキハ市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケ又ハ數町村ノ區域ヲ合セテ一投票區ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ投票區ヲ設クルトキハ地方長官ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

（大正十四年五月五日法律第四十七號）

第二項ノ規定ニ依リ設クル投票區ノ投票ニ關シ本法ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第三條 開票區ハ郡市ノ區域ニ依ル

地方長官特別ノ事情アリト認ムルトキハ郡市ノ區域ヲ分チテ數開票區ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ開票區ヲ設ケタルトキハ地方長官ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

第二項ノ規定ニ依リ設クル開票區ノ開票ニ關シ本法ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第四條 行政區畫ノ變更ニ因リ選擧區ニ異動ヲ生スルモ現任議員ハ其ノ職ヲ失フコトナシ

第二章 選擧權及被選擧權

第五條 帝國臣民タル男子ニシテ年齡二十五年以上ノ者ハ選擧權ヲ有ス

帝國臣民タル男子ニシテ年齡三十年以上ノ者ハ被選擧權ヲ有ス

第六條 左ニ揭クル者ハ選擧權及被選擧權ヲ有セス

一 禁治產者及準禁治產者

二 破產者ニシテ復權ヲ得サル者

三 貧困ニ因リ生活ノ爲公私ノ救助ヲ受ケ又ハ扶助ヲ受クル者

四 一定ノ住居ヲ有セサル者

五 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

六 刑法第二編第一章、第三章、第九章、第十六章乃至第二十一章、第二十五章又ハ第三十六章乃至第三十九章ニ揭クル罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後其ノ刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其ノ期間五年ヨリ短キトキハ五年トス

七 六年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ前號ニ揭クル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第七條 華族ノ戶主ハ選擧權及被選擧權ヲ有セス

陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者（未タ入營セサル者及歸休下士官兵ヲ除ク）及戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノ者ハ選擧權及被選擧權ヲ有セス兵籍ニ編入セラレタル學生生徒（勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク）及志願ニ依リ國民軍ニ編入セラレタル者亦同シ

第八條 選擧事務ニ關係アル官吏及吏員ハ其ノ關係區域內ニ於テ被選擧權ヲ有セス

第九條 在職ノ宮內官、判事、朝鮮總督府判事、臺灣總督府法院別官、關東廳法院判官、南洋廳判事、檢事、朝鮮總督府檢事、臺灣總督府法院檢察官、關東廳法院檢察官、南洋廳檢事、陸軍法務官、海軍法務官、行政裁判所長官、行政裁判所評定官、會計檢查官、收稅官吏及警察官吏又ハ被選擧權ヲ有セス

第十條 官吏及待遇官吏ハ左ニ揭クル者ヲ除クノ外在職中議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

一 國務大臣
二 內閣書記官長
三 法制局長官
四 各省政務次官
五 各省參與官
六 內閣總理大臣秘書官
七 各省秘書官

第十一條 北海道會議員及府縣會議員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三章 選擧人名簿

第十二條　市町村長ハ毎年九月十五日ノ現在ニ依リ其ノ日迄引續キ一年以上其ノ市町村内ニ住居ヲ有スル者ノ選擧資格ヲ調査シ十月三十一日迄ニ選擧人名簿ヲ調製スヘシ

前項ノ住居ニ關スル要件ヲ具備セサル選擧人ハ選擧人名簿ニ登錄セラルルコトヲ得ス

選擧人名簿ニハ選擧人ノ氏名、住居及生年月日等ヲ記載スヘシ

第十三條　第一項ノ住居ニ關スル期間ハ行政區畫變更ノ爲中斷セラルルコトナシ

市町村長ハ十一月五日ヨリ十五日間市役所、町村役場又ハ指定シタル場所ニ於テ選擧人名簿ヲ縱覽ニ供スヘシ

第十四條　縱覽期間ハ行政區畫變更ノ爲中斷セラルルコトナシ

選擧人名簿ニ脫漏又ハ誤載アリト認ムルトキハ選擧人ハ理由書及證憑ヲ具ヘ其ノ修正ヲ市町村長ニ申立ツルコトヲ得

縱覽期限ヲ經過シタルトキハ前項ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第十五條　市町村長ニ於テ前條ノ申立ヲ受ケタルトキハ其ノ理由及證憑ヲ審査シ申立ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ決定スヘシ其ノ申立ヲ正當ナリト決定シタルトキハ直ニ選擧人名簿ヲ修正シ其ノ旨ヲ申立人及關係人ニ通知シ併セテ之ヲ告示スヘシ其ノ申立ヲ正當ナラスト決定シタルトキハ其ノ旨ヲ申立人ニ通知スヘシ

第十六條　前條市町村長ノ決定ニ不服アル申立人又ハ關係人ハ市町村長ヲ被告トシ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ地方裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項裁判所ノ判決ニ對シテハ控訴スルコトヲ得ス但シ大審院ニ上告スルコトヲ得

第十七條　選擧人名簿ハ十二月二十日ヲ以テ確定ス

選擧人名簿ハ次年ノ十二月十九日迄之ヲ据置クヘシ但シ確定判決ニ依リ修正スヘキモノハ市町村長ニ於テ直ニ之ヲ修正シ其ノ旨ヲ告示スヘシ

天災事變其ノ他ノ事故ニ因リ必要アルトキハ更ニ選擧人名簿ヲ調製スヘシ

前項選擧人名簿ノ調製及其ノ期日、縱覽確定ニ關スル期日、期間等ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第四章　選擧、投票及投票所

第十八條　總選擧ハ議員ノ任期終リタル日ノ翌日之ヲ行フヲ例トス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ議員ノ任期終リタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ行フコトヲ妨ケス

議會閉會中又ハ議會閉會ノ日ヨリ二十五日以内ニ議員ノ任期終ル場合ニ於テハ總選擧ハ議會閉會ノ日ヨリ二十六日以後三十日以内ニ之ヲ行フ

衆議院解散ヲ命セラレタル場合ニ於テハ總選擧ハ解散ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ行フ

總選擧ノ期日ハ勅命ヲ以テ之ヲ定メ少クトモ二十五日前ニ之ヲ公布ス

第十九條　選擧ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

第二十條　市町村長ハ投票管理者ト爲リ投票ニ關スル事務ヲ擔任ス

第二十一條　投票所ハ市役所、町村役場又ハ投票管理者ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ク

第二十二條　投票管理者ハ選擧ノ期日ヨリ少クトモ五日前ニ投票所ヲ告示スヘシ

第二十三條　投票所ハ午前七時ニ開キ午後六時ニ閉ツ

第二十四條　議員候補者ハ各投票區ニ於ケル選擧人名簿ニ記載セラレタル者ノ中ヨリ本人ノ承諾ヲ得テ投票立會人一人ヲ定メ選擧ノ期日ノ前日迄ニ投票管理者ニ屆出ツルコトヲ得但シ議員候補者死亡シ又ハ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ其ノ屆出テタル投票立會人ハ其ノ職ヲ失フ

前項ノ規定ニ依ル投票立會人三人ニ達セサルニ至リタルトキ又ハ投票立會人ニシテ參會スル者若ハ三人ニ達セサルニ至リタルトキハ投票管理者ハ其ノ投票區ノ投票所ヲ開クヘキ時刻ニ至リ三人ニ達セサルトキ若ハ其ノ後三人ニ達セサルニ至リタルトキハ投票管理者ハ其ノ投票區ニ於ケル選擧人名簿ニ記載セラレタル者ノ中ヨリ三人ニ達スル迄ノ投票立會人ヲ選任シ直ニ之ヲ本人ニ通知シ投票ニ立

會ハシムヘシ

投票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第二十五條　選擧人ハ選擧ノ當日自ラ投票所ニ到リ選擧人名簿ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スヘシ

投票管理者ハ投票ヲ爲サムトスル選擧人ノ本人ナリヤ否ヤヲ確認スルコト能ハサルトキハ其ノ本人ナル旨ヲ宣言セシムヘシ其ノ宣言ヲ爲ササル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

第二十六條　投票用紙ハ選擧ノ當日投票所ニ於テ之ヲ選擧人ニ交付スヘシ

第二十七條　選擧人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ議員候補者一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ

投票用紙ニハ選擧人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

第二十八條　投票ニ關スル記載ニ付テハ勅令ヲ以テ定ムル點字ハ之ヲ文字ト看做ス

第二十九條　選擧人名簿ニ登錄セラレサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス但シ選擧人名簿ニ登錄セラルヘキ確定判決書ヲ所持シ選擧ノ當日投票所ニ到ル者アルトキハ投票管理者ハ之ヲシテ投票ヲ爲サシムヘシ

第三十條　選擧人名簿ニ登錄セラレタル者選擧人名簿ニ登錄セラルルコトヲ得サル者ナルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ス選擧ノ當日選擧權ヲ有セサル者ナルトキ亦同シ

自ラ議員候補者ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

第三十一條　投票ノ拒否ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票管理者之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ヲ受ケタル選擧人不服アルトキハ投票管理者ハ假ニ投票ヲ爲サシムヘシ

前項ノ投票ハ選擧人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ラ其ノ氏名ヲ記載シ投函セシムヘシ

投票立會人ニ於テ異議アル選擧人ニ對シテモ亦前二項ニ同シ

第三十二條　投票所ヲ閉ツヘキ時刻ニ至リタルトキハ投票管理者ハ其ノ旨ヲ告ケテ投票所ノ入口ヲ鎖シ投票所ニ在ル選擧人ノ投票結了スルヲ待チテ投票函ヲ閉鎖スヘシ

投票函閉鎖後ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

第三十三條　選擧人ニシテ勅令ノ定ムル事由ニ因リ選擧ノ當日自ラ投票所ニ到リ投票ヲ爲シ能ハサルヘキコトヲ證スル者ノ投票ニ關シテハ第二十五條、第二十六條、第二十七條第一項、第二十九條但書及第三十一條ノ規定ニ拘ラス勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第三十四條　投票管理者ハ投票錄ヲ作リ投票ニ關スル顚末ヲ記載シ投票立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

第三十五條　投票管理者ハ一人又ハ數人ノ投票立會人ト共ニ町村ノ投票區ニ於テハ投票ノ翌日迄ニ、市ノ投票區ニ於テハ投票ノ當日投票函、投票錄及選擧人名簿ヲ開票管理者ニ送致スヘシ

第三十六條　島嶼其ノ他交通不便ノ地ニシテ前條ノ期日ニ投票函ヲ送致スルコト能ハサル情況アリト認ムルトキハ地方長官ハ適宜ニ其ノ投票ノ期日ヲ定メ開票ノ期日迄ニ其ノ投票函、投票錄及選擧人名簿ヲ送致セシムルコトヲ得

第三十七條　天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ投票管理者ハ選擧長ヲ經テ地方長官ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ此ノ場合ニ於テハ地方長官ハ更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムヘシ但シ其ノ期日ハ少クトモ五日前ニ之ヲ告示セシムヘシ

第三十八條　第七十五條又ハ第七十九條ノ選擧ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選擧ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第三十九條　何人ト雖選擧人ノ投票シタル被選擧人ノ氏名ヲ陳述スルノ義務ナシ

第四十條　投票管理者ハ投票所ノ秩序ヲ保持シ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ請求スルコトヲ得

第四十一條　選擧人、投票所ノ事務ニ從事スル者、投票所ヲ監視スル職權ヲ有スル者及警察官吏ニ非サレハ投票所ニ入ルコトヲ得ス

第四十二條　投票所ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧騷ニ渉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他投票所ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ投票管理者ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ投票所外ニ退出セシムヘシ

第四十三條　前條ノ規定ニ依リ投票所外ニ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ投票管理者ハ投票

所ノ秩序ヲ紊ルノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルコトヲ妨ケス

第五章 開票及開票所

第四十四條 支廳長、市長又ハ地方長官ノ指定シタル官吏ハ開票管理者ト爲リ開票ニ關スル事務ヲ擔任ス

第四十五條 開票所ハ支廳、市役所又ハ開票管理者ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ク

第四十六條 開票管理者ハ豫メ開票ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第四十七條 第二十四條ノ規定ハ開票立會人ニ之ヲ準用ス

第四十八條 開票管理者ハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日ノ翌日開票所ニ於テ開票立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ

第四十九條 前條ノ計算終リタルトキハ開票管理者ハ先ツ第三十一條第二項及第四項ノ投票ヲ調査シ開票立會人ノ意見ヲ聽キ其ノ受理如何ヲ決定スヘシ

開票管理者ハ開票立會人ト共ニ投票區毎ニ投票ヲ點檢スヘシ

投票ノ點檢終リタルトキハ開票管理者ハ直ニ其ノ結果ヲ選擧長ニ報告スヘシ

第五十條 選擧人ハ其ノ開票所ニ就キ開票ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第五十一條 投票ノ效力ハ開票立會人ノ意見ヲ聽キ開票管理者之ヲ決定スヘシ

第五十二條 左ノ投票ハ之ヲ無效トス

一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ

二 議員候補者ニ非サル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三 一投票中二人以上ノ議員候補者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

四 被選擧權ナキ議員候補者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五 議員候補者ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ官位職業、身分、住居又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 議員候補者ノ氏名ヲ自書セサルモノ

七 議員候補者ノ何人ヲ記載シタルカヲ確認シ難キモノ

八 衆議院議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

前項第八號ノ規定ハ第七十五條又ハ第七十九條ノ規定ニ依ル選擧ノ場合ニ限リ之ヲ適用ス

第五十三條 投票ハ有效無效ヲ區別シ議員ノ任期間開票管理者ニ於テ之ヲ保存スヘシ但シ第四十四條ノ規定ニ依リ地方長官ノ指定シタル官吏開票管理者タル場合ニ於テハ地方長官ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第五十四條 開票管理者ハ開票錄ヲ作リ開票ニ關スル顚末ヲ記載シ開票立會人ト共ニ署名シ投票錄ト併セテ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ但シ前條但書ノ規定ハ開票錄及投票錄ノ保存ニ之ヲ準用ス

第五十五條 選擧ノ一部無效ト爲リ更ニ選擧ヲ行ヒタル場合ノ開票ニ於テハ其ノ投票ノ效力ヲ決定スヘシ

第五十六條 第三十七條ノ規定ハ但書ヲ除キ開票ニ之ヲ準ス

第五十七條 開票所ノ取締ニ付テハ第四十條乃至第四十二條ノ規定ヲ準用ス

第六章 選擧會

第五十八條 左ニ掲クル者ヲ以テ選擧長トス

一 一縣又ハ一市一選擧區タル場合ニ於テハ其ノ地方長官又ハ市長

二 一選擧區數市又ハ支廳管內及市ニ涉ル場合ニ於テハ關係支廳長又ハ市長ノ中ニ就キ地方長官ノ指定スル者

三 其ノ他ノ選擧區ニ於テハ官吏又ハ關係市長ノ中ニ就キ地方長官ノ指定スル者

選擧長ハ選擧會ニ關スル事務ヲ擔任ス

第五十九條 選擧會ハ選擧長ノ屬スル縣廳、支廳若ハ市役所又ハ選擧長ノ指定シタル場所ニ之ヲ開ク

第六十條 選擧長ハ豫メ選擧會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第六十一條　第二十四條ノ規定ハ選擧立會人ニ之ヲ準用ス

第六十二條　選擧長ハ總テノ開票管理者ヨリ第四十九條第三項ノ報告ヲ受ケタル日又ハ其ノ翌日選擧會ヲ開キ選擧立會人立會ノ上其ノ報告ヲ調査スヘシ

選擧ノ一部無效ト爲リ更ニ選擧ヲ行ヒタル場合ニ於テ第四十九條第三項ノ報告ヲ受ケタルトキハ選擧長ハ前項ノ例ニ依リ選擧會ヲ開キ他ノ部分ノ報告ト共ニ更ニ之ヲ調査スヘシ

第六十三條　選擧人ハ其ノ選擧會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第六十四條　選擧長ハ選擧錄ヲ作リ選擧會ニ關スル顚末ヲ記載シ選擧立會人ト共ニ署名シ第四十九條第三項ノ報告ニ關スル書類ト併セテ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ但シ第五十八條第一項第三號ノ規定ニ依リ地方長官ノ指定シタル官吏（支廳長ヲ除ク）選擧長タル場合ニ於テハ地方長官ニ於テ選擧錄及第四十九條第三項ノ報告ニ關スル書類ヲ保存スヘシ

第六十五條　第三十七條ノ規定ハ但書ヲ除キ選擧會ニ之ヲ準用ス

第六十六條　選擧會場ノ取締ニ付テハ第四十條乃至第四十二條ノ規定ヲ準用ス

第七章　議員候補者及當選人

第六十七條　議員候補者タラムトスル者ハ選擧ノ期日ノ公布又ハ告示アリタル日ヨリ選擧ノ期日前七日迄ニ其ノ旨ヲ選擧長ニ屆出ツヘシ

選擧人名簿ニ記載セラレタル者他人ヲ議員候補者ト爲サムトスルトキハ前項ノ期間內ニ屆出アリタル議員候補者其ノ選擧ニ於ケル議員ノ數定ヲ超ユル場合ニ於テ其ノ期間ヲ經過シタル後議員候補者死亡シ又ハ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ前二項ノ例ニ依リ選擧ノ期日ノ前日迄議員候補者ノ屆出又ハ推薦屆出ヲ爲スコトヲ得

議員候補者ハ選擧長ニ屆出ヲ爲スニ非サレハ議員候補者タルコトヲ得ス

前四項ノ屆出アリタルトキ又ハ議員候補者ノ死亡シタルコトヲ知リタルトキハ選擧長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第六十八條　議員候補者ノ屆出又ハ推薦屆出ヲ爲サムトスル者ハ議員候補者一人ニ付二千圓又ハ之ニ相當スル額面ノ國債證書ヲ供託スルコトヲ要ス

議員候補者ノ得票數其ノ選擧區內ノ議員ノ定數ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ十分ノ一ニ達セサルトキハ前項ノ供託物ハ政府ニ歸屬ス

議員候補者選擧ノ期日前十日以內ニ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス但シ被選擧權ヲ有セサルニ至リタル爲議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十九條　有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス但シ其ノ選擧區內ノ議員ノ定數ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ四分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

當選人ヲ定ムルニ當リ得票數同シキトキハ年齡多キ者ヲ取リ年齡モ亦同シキトキハ選擧會ニ於テ選擧長抽籤シテ之ヲ定ム

第七十條　當選人當選ヲ辭シタルトキ、死亡者ナルトキ又ハ第七十條ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキハ直ニ選擧會ヲ開キ第一項但書ノ得票者ニシテ當選人ヲ爲ラサリシ者ノ中ニ就キ當選人ヲ定ムヘシ

當選人第八十四條ノ規定ニ依ル訴訟ノ結果又ハ第百三十六條ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキハ直ニ選擧會ヲ開キ第一項第七十四條ノ規定ニ依ル當選承諾屆出期限前ナル場合ニ於テハ前項ノ例ニ依リ其ノ屆出期限經過後ナル場合ニ於テハ第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者ノ中ニ就キ當選人ヲ定ムヘシ

前三項ノ場合ニ於テ第一項但書ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者選擧ノ期日後ニ於テ被選擧權ヲ有セサルニ至リタルトキハ之ヲ當選人ト定ムルコトヲ得ス

第七十一條　當選人選擧ノ期日後ニ於テ被選擧權ヲ有セサルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ

第廿一條　第六十七條第一項乃至第三項ノ規定ニ依ル届出アリタル議員候補者其ノ選擧ニ於ケル議員ノ定數ヲ超エサルトキハ其ノ選擧區ニ於テハ投票ヲ行ハス

前項ノ規定ニ依リ投票ヲ行フコトヲ要セサルトキハ選擧長ハ直ニ其ノ旨ヲ投票管理者ニ通知シ併セテ之ヲ告示シ且地方長官ニ報告スヘシ

投票管理者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第一項ノ場合ニ於テハ選擧長ハ選擧ノ期日ヨリ五月以内ニ選擧會ヲ開キ議員候補者ヲ以テ當選人ト定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ議員候補者ノ被選擧權ノ有無ハ選擧立會人ノ意見ヲ聽キ選擧長之ヲ決定スヘシ

第七十二條　當選人定リタルトキハ選擧長ハ直ニ當選人ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選人ノ氏名ヲ告示シ且當選人ノ氏名、得票數及其ノ選擧ニ於ケル有效投票ノ總數其ノ他選擧ノ顚末ヲ地方長官ニ報告スヘシ

當選人ナキトキ又ハ當選人其ノ選擧ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルトキハ選擧長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且之ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第七十三條　當選人當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヤヲ選擧長ニ届出ツヘシ

一人ニシテ數選擧區ノ當選ヲ承諾スルコトヲ得ス

選擧長第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第七十四條　當選人當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ當選承諾ノ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第七十五條　左ニ掲クル事由ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ更ニ選擧ヲ行フコトナクシテ當選人ヲ定メ得ルトキヲ除クノ外地方長官ハ選擧ノ期日ヲ定メ少クトモ十四日前ニ之ヲ告示シ更ニ選擧ヲ行ハシムヘシ但シ同一人ニ關シ左ニ掲クル其ノ他ノ事由ニ依リ又ハ第七十九條第六項ノ規定ニ依リ選擧ノ期日ヲ告示シタルトキハ此限ニ在ラス

一　當選人ナキトキ又ハ當選人其ノ選擧ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルトキ

二　當選人當選ヲ辭シタルトキ又ハ死亡者ナルトキ

三　當選人第七十條ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキ

四　第八十一條又ハ第八十三條ノ規定ニ依ル訴訟ノ結果當選無效ト爲リタルトキニ至リタルトキ

五　當選人第八十四條ノ規定ニ依ル訴訟ノ結果當選無效ト爲リタルトキ

六　當選人第百三十六條ノ規定ニ依リ當選無效ト爲リタルトキ

第九章ノ規定ニ依ル選擧ヲ行フコトヲ得ス其ノ出訴アリタル場合ニ於テ訴訟繫屬中亦同シ

第一項ノ選擧ノ期日ハ第九章ノ規定ニ依ル訴訟ノ出訴期間滿了ノ日、其ノ出訴アリタル場合ニ於テハ地方長官第八十六條第一項ノ規定ニ依リ訴訟繫屬セサルニ至リタル旨ノ大審院長ノ通知ヲ受ケタル日又ハ第百四十三條ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日ヲ超ユルコトヲ得ス

第一項各號ノ一ニ該當スル事由議員ノ任期ノ終ル前六月以内ニ生シタルトキハ第一項ノ選擧ハ之ヲ行ハス

第七十六條　當選人當選ヲ承諾シタルトキハ地方長官ハ直ニ當選證書ヲ付與シ其ノ氏名ヲ告示シ且之ヲ內務大臣ニ報告スヘシ

第七十七條　第九章ノ規定ニ依ル訴訟ノ結果選擧若ハ當選無效ト爲リタルトキ又ハ當選人第百三十六條ノ規定ニ依リ當選無效ト爲リタルトキハ地方長官ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第八章　議員ノ任期及補闕

第七十八條　議員ノ任期ハ四年トシ總選擧ノ期日ヨリ之ヲ起算ス但シ議會閉會中ニ任期終ルモ閉會ニ至ル迄在任ス

第七十九條　議員ニ闕員ヲ生スルモ其ノ闕員ノ數同一選擧區ニ於テ二人ニ達スル迄ハ補闕選擧ハ之ヲ行ハス

議員ニ闕員ヲ生シタルトキハ內務大臣ハ議院法第八十四條ノ規定ニ依ル衆議院議長ノ通牒ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ

地方長官ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

地方長官ハ前項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ其ノ關員ト爲リタル議員カ第七十四條ノ規定ニ依ル當選承諾屆出ノ期限前ニ於テ關員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第六十九條第一項但書ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者アルトキ又ハ其ノ期限經過後ニ於テ關員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第六十九條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者アルトキハ直ニ議員關員ト爲リタル旨ヲ選擧長ニ通知スヘシ

選擧長ハ前項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ第六十九條第四項乃至第六項ノ規定ヲ準用シ當選人ヲ定ムヘシ

地方長官ハ第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル場合ニ於テ第三項ノ規定ノ適用アルトキ及同一人ニ關シ第七十五條ノ規定ニ依リ選擧ノ期日ヲ告示シタルトキヲ除クノ外其ノ關員ノ數同一選擧區ニ於テ二人ニ達スルヲ待チ最後ニ第二項ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ補闕選擧ヲ行ハシムヘシ

第七十五條第二項乃至第四項ノ規定ハ補闕選擧ニ之ヲ告示スヘシ

第八十條　補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第九章　訴訟

第八十一條　選擧ノ效力ニ關シ異議アル選擧人又ハ議員候補者ハ選擧長ヲ被告トシ選擧ノ日ヨリ三十日以内ニ大審院ニ出訴スルコトヲ得

第八十二條　選擧ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選擧ノ結果ニ異動ヲ及ホスノ虞アル場合ニ限リ裁判所ハ其ノ選擧ノ全部又ハ一部ノ無效ヲ判決スヘシ

第八十三條ノ規定ニ依ル訴訟ニ於テモ其ノ選擧前項ノ場合ニ該當スルトキハ裁判所ハ其ノ全郡又ハ一部ノ無效ヲ判決スヘシ

第八十三條　當選ヲ失ヒタル者當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ當選人ヲ被告トシ第七十二條第一項及第二項ノ告示ノ日ヨリ三十日以内ニ大審院ニ出訴スルコトヲ得但シ第六十九條第六項若ハ第七十條ノ規定ニ該當セストノ理由又ハ第七十一條第五項ノ決定違法ナリトノ理由ニ因リ出訴スル場合ニ於テハ選擧長ヲ被告トスヘシ

前項ノ規定ニ依ル訴訟ノ裁判確定前當選人死亡シタルトキハ檢事ヲ被告トス

第八十四條　第百十條ノ規定ニ依リ當選ヲ無效ナリト認ムル選擧人又ハ議員候補者ハ當選人ヲ被告トシ第七十二條第一項ノ告示ノ日ヨリ三十日以内ニ大審院ニ出訴スルコトヲ得第百三十六條ノ規定ニ依リ選擧事務長カ第百十二條又ハ第百十三條ノ罰ヲ犯シ刑ニ處セラレタルニ因リ當選ヲ無效ナリト認ムル選擧人又ハ議員候補者ハ當選人ヲ被告トシ其ノ裁判確定ノ日ヨリ三十日以内ニ大審院ニ出訴スルコトヲ得

第八十五條　裁判所ハ本章ノ規定ニ依ル訴訟ヲ裁判スルニ當リ檢事ヲシテ口頭辯論ニ立會ハシムヘシ

第八十六條　本章ノ規定ニ依ル訴訟ノ提起アリタルトキハ大審院長ハ其ノ旨ヲ內務大臣及關係地方長官ニ通知スヘシ訴訟ノ繫屬セサルニ至リタルトキ亦同シ

本章ノ規定ニ依ル訴訟ニ付判決アリタルトキハ大審院長ハ其ノ判決書ノ謄本ヲ內務大臣ニ送付スヘシ帝國議會開會中ナルトキハ併セテ之ヲ衆議院議長ニ送付スヘシ

第八十七條　本章ノ規定ニ依ル訴訟ヲ提起セムトスル者ハ保證金トシテ三百圓又ハ之ニ相當スル額面ノ國債證書ヲ供託スルコトヲ要ス

原告敗訴ノ場合ニ於テ裁判確定ノ日ヨリ七日以内ニ裁判費用ヲ完納セサルトキハ保證金ヲ以テ之ニ充當シ仍足ラサルトキハ之ヲ追徵ス

第十章　選擧運動

第八十八條　議員候補者ハ選擧事務長一人ヲ選任スヘシ但シ議員候補者自ラ選擧事務長ト爲リ又ハ推薦屆出者（推薦屆出

者數人アルトキハ其ノ代表者）議員候補者ノ承諾ヲ得テ選擧事務長ヲ選任シ若ハ自ラ選擧事務長ト爲ルコトヲ妨ケス

議員候補者ノ承諾ヲ得スシテ其ノ推薦ノ届出ヲ爲シタル者ハ前項但書ノ承諾ヲ得ルコトヲ要セス

議員候補者ハ文書ヲ以テ通知スルコトニ依リ選擧事務長ヲ解任スルコトヲ得選擧事務長ヲ選任シタル推薦届出者ニ於テ

議員候補者ノ承諾ヲ得タルトキ亦同シ

選擧事務長ハ文書ヲ以テ議員候補者及選任者ニ通知スルコトニ依リ辭任スルコトヲ得

選擧事務長ノ選任者（自ラ選擧事務長ト爲リタル者ヲ含ム以下之ニ同シ）ハ直ニ其ノ旨ヲ選擧區内警察官署ノ一ニ届出ツヘシ

選擧事務長ニ異動アリタルトキハ前項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル警察官署ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第九十五條ノ規定ニ依リ選擧事務長ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ハ前項ノ例ニ依リ届出ツヘシ其ノ之ヲ罷メタルトキ亦同シ

第八十九條　選擧事務長ニ非サレハ選擧事務所ヲ設置シ又ハ選擧委員若ハ選擧事務長ヲ選任スルコトヲ得ス

選擧事務長ハ文書ヲ以テ通知スルコトニ依リ選擧委員又ハ選擧事務員ヲ解任スルコトヲ得

選擧委員又ハ選擧事務員ハ文書ヲ以テ選擧事務長ニ通知スルコトニ依リ辭任スルコトヲ得

選擧事務長選擧事務所ヲ設置シ又ハ選擧委員若ハ選擧事務員ヲ選任シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ前條第五項ノ届出アリタル警察官署ニ届出ツヘシ選擧事務所又ハ選擧委員若ハ選擧事務員ニ異動アリタルトキ亦同シ

第九十條　選擧事務所ハ議員候補者一人ニ付七箇所ヲ超ユルコトヲ得ス

選擧ノ一部無效ト爲リ更ニ選擧ヲ行フ場合又ハ第三十七條ノ規定ニ依リ選擧ヲ行フ場合ニ於テハ選擧事務所ハ前項ニ掲クル數ヲ超エサル範圍内ニ於テ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ノ定メタル數ヲ超ユルコトヲ得ス

地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）前項ノ規定ニ依リ選擧事務所ノ數ヲ定メタル場合ニ於テハ選擧ノ期日ノ告示アリタル後直ニ之ヲ告示スヘシ

第九十一條　選擧事務所ハ選擧ノ當日ニ限リ投票所ヲ設ケタル場所ノ入口ヨリ三町以内ノ區域ニ之ヲ置クコトヲ得ス

第九十二條　休憩所其ノ他之ニ類似スル設備ハ選擧運動ノ爲之ヲ設クルコトヲ得ス

第九十三條　選擧委員及選擧事務員ハ議員候補者一人ニ付通シテ五十人ヲ超ユルコトヲ得ス

第九十條第二項及第三項ノ規定ハ選擧委員及選擧事務員ニ關シ之ヲ準用ス

第九十四條　選擧事務長選擧權ヲ有セサル者ナルトキ又ハ第九十九條第二項ノ規定ニ依リ選擧運動ヲ爲スコトヲ得サル者ナルトキハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ハ直ニ其ノ解任又ハ退任ヲ命スヘシ

第八十九條第一項ノ規定ニ違反シテ選擧事務所ノ設置アリト認ムルトキハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ハ直ニ其ノ選擧事務所ノ閉鎖ヲ命スヘシ第九十條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル定數ヲ超エテ選擧事務所ノ設置アリト認ムルトキハ其ノ超過シタル數ノ選擧事務所ニ付亦同シ

前條ノ規定ニ依ル定數ヲ超エテ選擧委員又ハ選擧事務員ノ選任アリト認ムルトキハ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ハ直ニ其ノ超過シタル數ノ選擧委員又ハ選擧事務員ノ解任ヲ命スヘシ選擧委員又ハ選擧事務員選擧權ヲ有セサル者ナルトキ又ハ第九十九條第二項ノ規定ニ依リ選擧運動ヲ爲スコトヲ得サル者ナルトキ其ノ選擧委員又ハ選擧事務員ニ付亦同シ

第九十五條　選擧事務長故障アルトキハ選任者代リテ其ノ職務ヲ行フ

推薦届出者タル選任者モ亦故障アルトキハ議員候補者ノ承諾ヲ得スシテ其ノ推薦ノ届出ヲ爲シタル場合ヲ除クノ外議員候補者代リテ其ノ職務ヲ行フ

第九十六條　議員候補者、選擧事務長、選擧委員又ハ選擧事務員ニ非サレハ選擧運動ヲ爲スコトヲ得ス但シ演說又ハ推薦狀ニ依ル選擧運動ハ此ノ限ニアラス

第九十七條　選擧事務長、選擧委員又ハ選擧事務員ハ選擧運動ノ爲ニ要スル飲食物、船車馬等ノ供給又ハ旅費、休泊料其ノ他ノ實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得演說又ハ推薦狀ニ依リ選擧運動ヲ爲スニ付亦同シ

選擧事務員ハ選擧運動ヲ爲スニ付報酬ヲ受クルコトヲ得

第九十八條　何人ト雖投票ヲ得若ハ得シメ又ハ得シメサルノ目的ヲ以テ戸別訪問ヲ爲スコトヲ得

何人ト雖前項ノ目的ヲ以テ連續シテ個個ノ選擧人ニ對シ面接シ又ハ電話ニ依リ選擧運動ヲ爲スコトヲ得ス

第九十九條　選擧權ヲ有セサル者ハ選擧事務長、選擧委員又ハ選擧事務員ト爲ルコトヲ得ス

選擧事務ニ關係アル官吏及吏員ハ其ノ關係區域内ニ於ケル選擧運動ヲ爲スコトヲ得ス

第百條　内務大臣ハ選擧運動ノ爲頒布シ又ハ掲示スル文書圖畫ニ關シ命令ヲ以テ制限ヲ設クルコトヲ得

第十一章　選擧運動ノ費用

第百一條　立候補準備ノ爲ニ要スル費用ヲ除クノ外選擧運動ノ費用ハ選擧事務長ニ非サレハ之ヲ支出スルコトヲ得ス但シ議員候補者、選擧委員又ハ選擧事務員ハ選擧事務長ノ文書ニ依ル承諾ヲ得テ之ヲ支出スルコトヲ妨ケス

議員候補者、選擧事務長、選擧委員又ハ選擧事務員ニ非サル者ハ選擧運動ノ費用ヲ支出スルコトヲ得ス但シ演說又ハ推薦狀ニ依ル選擧運動ノ費用ハ此ノ限ニ在ラス

第百二條　選擧運動ノ費用ハ議員候補者一人ニ付左ノ各號ノ額ヲ超ユルコトヲ得ス

一　選擧區内ノ議員ノ定數ヲ以テ選擧人名簿確定ノ日ニ於テ之ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ヲ四十錢ニ乘シテ得タル額

二　選擧ノ一部無效ト爲リ更ニ選擧ヲ行フ場合ニ於テハ選擧區内ノ議員ノ定數ヲ以テ選擧人名簿確定ノ日ニ於テ關係區域ノ選擧人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ヲ四十錢ニ乘シテ得タル額

三　第三十七條ノ規定ニ依リ投票ヲ行フ場合ニ於テハ前號ノ規定ニ準シテ算出シタル額但シ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）必要アリト認ムルトキハ之ヲ減額スルコトヲ得

地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ハ選擧ノ期日ノ公布又ハ告示アリタル後直ニ前項ノ規定ニ依ル額ヲ告示スヘシ

第百三條　選擧運動ノ爲財産上ノ義務ヲ負擔シ又ハ建物、船車馬、印刷物、飲食物其ノ他ノ金錢以外ノ財産上ノ利益ヲ使用シ若ハ費消シタル場合ニ於テハ其ノ義務又ハ利益ヲ時價ニ見積リタル金額ヲ以テ選擧運動ノ費用ニ非サルモノト看做ス

第百四條　左ノ各號ニ掲クル費用ハ之ヲ選擧運動ノ費用ニ非サルモノト看做ス

一　議員候補者カ乘用スル船車馬等ノ爲ニ要シタル費用

二　選擧ノ期日後ニ於テ選擧運動ノ殘務整理ノ爲ニ要シタル費用

三　選擧委員又ハ選擧事務員ノ支出シタル費用ニシテ議員候補者又ハ選擧事務長ト意思ヲ通シテ支出シタル費用以外ノモノ但シ第百一條第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

四　第六十七條第一項乃至第三項ノ届出アリタル後議員候補者又ハ選擧事務長ト意思ヲ通シテ支出シタル費用以外ノ費用ニシテ議員候補者、選擧事務長、選擧委員又ハ選擧事務員ニ非サル者ノ支出シタル費用ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

五　立候補準備ノ爲ニ要シタル費用ニシテ議員候補者若ハ選擧事務長ト爲リタル者ノ支出シタル費用又ハ其ノ者ト意思ヲ通シテ支出シタル費用以外ノモノ

第百五條　選擧事務長ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帳簿ヲ備ヘ之ニ選擧運動ノ費用ヲ記載スヘシ

第百六條　選擧事務長ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ選擧運動ノ費用ヲ精算シ選擧ノ期日ヨリ十四日以内ニ第八十八條第五項ノ届出アリタル警察官署ヲ經テ之ヲ地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ニ届出ツヘシ

地方長官（東京府ニ在リテハ警視總監）ハ前項ノ規定ニ依リ届出アリタル選擧運動ノ費用ヲ告示スヘシ

第百七條　選擧事務長ハ前條第一項ノ届出ヲ爲シタル日ヨリ一年間選擧運動ノ費用ニ關スル帳簿及書類ヲ保存スヘシ

前項ノ帳簿及書類ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第百八條　警察官吏ハ選擧ノ期日後何日ニテモ選擧事務長ニ對シ選擧運動ノ費用ニ關スル帳簿又ハ書類ノ提出ヲ命シ、之ヲ檢査シ又ハ之ニ關スル說明ヲ求ムルコトヲ得

第百九條　選擧事務長辭任シ又ハ解任セラレタル場合ニ於テハ遲滯ナク選擧運動ノ費用ノ計算ヲ爲シ新ニ選擧事務長ノ職務ヲ行フ者ニ對シ選擧事務所、選擧委員、選擧事務員其ノ他ニ關スル事務ト共ニ其ノ引繼ヲ爲スヘシ第九十五條ノ規定ニ依リ選擧事務長ノ職務ヲ行フ者ニ對シ選擧事務長ノ職務ヲ行フ者事務ノ引繼ヲ受ケタル後新ニ選擧事務長定リタルトキ亦同シ

第百十條　議員候補者ノ爲支出セラレタル選擧運動ノ費用カ第百二條第二項ノ規定ニ依リ告示セラレタル額ヲ超エタルトキハ其ノ議員候補者ノ當選ヲ無效トス但シ議員候補者及推薦屆出者カ選擧事務長又ハ之ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ノ選任及監督ニ付相當ノ注意ヲ爲シ且選擧事務長又ハ之ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ニ於テ虛僞ノ宣言ヲ爲シタルカリシトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二章　罰則

第百十一條　詐僞ノ方法ヲ以テ選擧人名簿ニ登錄セラレタル者又ハ第二十五條第二項ノ場合ニ於テ虛僞ノ宣言ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十二條　左ノ各號ニ揭クル行爲ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　當選ヲ得若ハ得シメ又ハ得シメサル目的ヲ以テ選擧人又ハ選擧運動者ニ對シ金錢、物品其ノ他ノ財產上ノ利益若ハ公私ノ職務ノ供與、其ノ供與ノ申込若ハ約束ヲ爲シ又ハ饗應接待、其ノ申込若ハ約束ヲ爲シタルトキ

二　當選ヲ得若ハ得シメ又ハ得シメサル目的ヲ以テ選擧人又ハ選擧運動者ニ對シ其ノ者又ハ其ノ者ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附其ノ他特殊ノ直接利害關係ヲ利用シテ誘導ヲ爲シタルトキ

三　投票ヲ爲シ若ハ爲ササルコト、選擧運動ヲ爲シ若ハ止メタルコト又ハ其ノ周旋勸誘ヲ爲シタルコトノ報酬ト爲ス目的ヲ以テ選擧人又ハ選擧運動者ニ對シ第一號ニ揭クル行爲ヲ爲シタルトキ

四　第一號若ハ前號ノ供與、饗應接待ヲ受ケ若ハ要求シ、第一號若ハ前號ノ申込ヲ承諾シ又ハ第二號ノ誘導ニ應シ若ハ之ヲ促シタルトキ

五　前各號ニ揭クル行爲ニ關シ周旋又ハ勸誘ヲ爲シタルトキ

第百十三條　左ノ各號ニ揭クル行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　議員候補者タルコト若ハ議員候補者タラムトスルコトヲ止メシムル目的ヲ以テ議員候補者若ハ議員候補者タラムトスル者ニ對シ又ハ當選ヲ辭セシムル目的ヲ以テ當選人ニ對シ前條第一號又ハ第二號ニ揭クル行爲ヲ爲シタルトキ

二　議員候補者タルコト若ハ議員候補者タラムトスルコトヲ止メタルコト、當選ヲ辭シタルコト又ハ其ノ周旋勸誘ヲ爲シタルコトノ報酬ト爲ス目的ヲ以テ議員候補者タリシ者、議員候補者タラムトシタル者又ハ當選人タリシ者ニ對シ前條第一號ニ揭クル行爲ヲ爲シタルトキ

三　前二號ノ供與、饗應接待ヲ受ケ若ハ要求シ、前二號ノ申込ヲ承諾シ又ハ第一號ノ誘導ニ應シ若ハ之ヲ促シタルトキ

四　前各號ニ揭クル行爲ニ關シ周旋又ハ勸誘ヲ爲シタルトキ

第百十四條　前二條ノ場合ニ於テ收受シタル利益ハ之ヲ沒收ス其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第百十五條　選擧ニ關シ左ノ各號ニ揭クル行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　選擧人、議員候補者、議員候補者タラムトスル者、選擧運動者又ハ當選人ニ對シ暴行若ハ威力ヲ加ヘ又ハ之ヲ拐引シタルトキ

二　交通若ハ集會ノ便ヲ妨ケ又ハ演說ヲ妨害シ其ノ他僞計詐術等不正ノ方法ヲ以テ選擧ノ自由ヲ妨害シタルトキ

三　選擧人、議員候補者、議員候補者タラムトスル者、選擧運動者若ハ當選人又ハ其ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附其ノ他特殊ノ利害關係ヲ利用シテ選擧人、議員候補者議員候補者タラムトスル者、選擧運動者又ハ當選人ヲ威逼シタルトキ

第百十六條　選擧ニ關シ官吏又ハ吏員故意ニ其ノ職務ノ執行ヲ怠リ又ハ職權ヲ濫用シテ選擧ノ自由ヲ妨害シタルトキハ三

年以下ノ禁錮ニ處ス

官吏又ハ吏員選擧人ニ對シ其ノ投票セムトシ又ハ投票シタル被選擧人ノ氏名ノ表示チ求メタルトキハ三月以下ノ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十七條　選擧事務ニ關係アル官吏、吏員、立會人又ハ監視者選擧人ノ投票シタル被選擧人ノ氏名チ表示シタルトキハ二年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ表示シタル事實虛僞ナルトキ亦同シ

第百十八條　投票所又ハ開票所ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選擧人ノ投票ニ關渉シ又ハ被選擧人ノ氏名チ認知スルノ方法チ行ヒタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

法令ノ規定ニ依ラスシテ投票函チ開キ又ハ投票函中ノ投票チ取出シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十九條　投票管理者、開票管理者、選擧長、立會人若ハ選擧監視者ニ暴行者ハ脅迫チ加ヘ、選擧會場、開票所若ハ投票所チ騷擾シ又ハ投票、投票函其ノ他關係書類チ抑留、毀壞若ハ奪取シタル者ハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第百二十條　多衆聚合シテ第百十五條第一號又ハ前條ノ罪チ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　首魁ハ一年以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　他人チ指揮シ又ハ他人ニ率先シテ勢チ助ケタル者ハ六月以上五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三　附和隨行シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第百十五條第一號又ハ前條ノ罪チ犯ス爲多衆聚合シ當該公務員ヨリ解散ノ命チ受クルコト三回以上ニ及フモ仍解散セサルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第百二十一條　選擧ニ關シ銃砲、刀劍、棍棒其ノ他人チ殺傷スルニ足ルヘキ物件チ携帶シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

警察官吏又ハ憲兵ハ必要ト認ムル場合ニ於テ前項ノ物件チ領置スルコトチ得

第百二十二條　前條ノ物件チ携帶シテ選擧會場、開票所又ハ投票所ニ入リタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十三條　前二條ノ罪チ犯シタル場合ニ於テハ其ノ携帶シタル物件チ沒收ス

第百二十四條　選擧ニ關シ多衆集合シ若ハ隊伍チ組ミテ往來シ又ハ煙火、松明ノ類チ用ヒ若ハ鐘鼓、喇叭ノ類チ鳴ラシ旗幟其ノ他ノ標章チ用フル等氣勢チ張ルノ行爲チ爲シ警察官吏ノ制止チ受クルモ仍其ノ命ニ從ハサル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十五條　演說又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札其ノ他何等ノ方法チ以テスルニ拘ラス第百十二條、第百十三條、第百十五條、第百十八條乃至第百二十二條及前條ノ罪チ犯サシムル目的チ以テ人チ煽動シタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ新聞紙及雜誌ニ在リテハ仍其ノ編輯人及實際編輯チ擔當シタル者チ罰ス

第百二十六條　演說又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札其ノ他何等ノ方法チ以テスルニ拘ラス左ノ各號ニ揭クル行爲チ爲シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス新聞紙及雜誌ニ在リテハ前條但書ノ例ニ依ル

一　當選チ得又ハ得シムル目的チ以テ議員候補者ノ身分、職業又ハ經歷ニ關シ虛僞ノ事項チ公ニシタルトキ

二　當選チ得シメサル目的チ以テ議員候補者ニ關シ虛僞ノ事項チ公ニシタルトキ

第百二十七條　選擧人ニ非サル者投票チ爲シタルトキハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

氏名チ詐稱シ其ノ他詐僞ノ方法チ以テ投票チ爲シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

投票チ僞造シ又ハ其ノ數チ增減シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

選擧事務ニ關係アル官吏、吏員、立會人又ハ監視者前項ノ罪チ犯シタルトキハ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十八條　立會人正當ノ事故ナクシテ本法ニ定メタル義務チ缺クトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十九條　第九十六條若ハ第九十八條ノ規程ニ違反シタル者又ハ第九十四條ノ規定ニ依ル命令ニ從ハサル者ハ一年以

下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十條　第九十條第一項第二項ノ規定ニ依ル定數ヲ超エ若ハ第九十一條ノ規定ニ違反シテ選擧事務所ヲ設置シタル者又ハ第九十二條ノ規定ニ違反シテ休憩所其ノ他之ニ類似スル設備ヲ設ケタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十三條ノ規定ニ依ル定數ヲ超エテ選擧委員又ハ選擧事務員ノ選任ヲ爲シタル者亦前項ニ同シ

第百三十一條　第八十九條第一項、第九十九條又ハ第百九條ノ規定ニ違反シテ選擧運動ノ費用ヲ支出シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十二條　第八十八條第五項乃至第七項又ハ第八十九條第四項ノ届出ヲ怠リタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者亦前項ニ同シ

第百三十三條　選擧事務長又ハ選擧事務長ニ代リ其ノ職務ヲ行フ者第百二條第二項ノ規定ニ依リ告示セラレタル額ヲ超エ選擧運動ノ費用ヲ支出シ又ハ第百一條第一項但書ノ規定ニ依ル承諾ヲ與ヘテ支出セシメタルトキハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十四條　第百一條ノ規定ニ違反シテ選擧運動ノ費用ヲ支出シタル者ハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第百三十五條　左ノ各號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第百五條ノ規定ニ違反シテ帳簿ヲ備ヘス又ハ帳簿ニ記載ヲ爲サス若ハ之ニ虚僞ノ記入ヲ爲シタルトキ

二　第百六條第一項ノ届出ヲ怠リ又ハ虚僞ノ届出ヲ爲シタルトキ

三　第百七條第一項ノ規定ニ違反シテ帳簿又ハ書類ヲ保存セサルトキ

四　第百七條第一項ノ規定ニ依リ保存スヘキ帳簿又ハ書類ニ虚僞ノ記入ヲ爲シタルトキ

五　第百八條ノ規定ニ依ル帳簿若ハ書類ノ提出若ハ檢査ヲ拒ミ若ハ之ヲ妨ケ又ハ說明ノ求ニ應セサルトキ

第百三十六條　當選人其ノ選擧ニ關シ本章ニ掲クル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ當選ヲ無效トス選擧事務長第百十二條又ハ第百十三條ノ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキ亦同シ但シ選擧事務長ノ選任及監督ニ付相當ノ注意ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百三十七條　本章ニ掲クル罪ヲ犯シタル者ニシテ罰金ノ刑ニ處セラレタル者ニ在リテハ其ノ裁判確定ノ後五年間、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在リテハ其ノ裁判確定ノ後刑ノ執行ヲ終ル迄又ハ刑ノ時效ニ因ル場合ヲ除クノ外刑ノ執行ノ免除ヲ受クル迄ノ間及其ノ後五年間衆議院議員及選擧ニ付本章ノ規定ヲ準用スル議會ノ議員ノ選擧權及被選擧權ヲ有セス禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ付其ノ裁判確定ノ後刑ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ間亦同シ

前項ニ規定スル者ト雖情狀ニ因リ裁判所ハ刑ノ言渡ト同時ニ前項ノ規定ヲ適用セス又ハ其ノ期間ヲ短縮スル旨ノ宣告ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ規定ハ第六條第五號ノ規定ニ該當スル者ニハ之ヲ適用セス

第百三十八條　第百二十七條第三項及第四項ノ罪ノ時效ハ一年ヲ經過スルニ因リテ完成ス

前項ニ掲クル罪以外ノ本章ノ罪ノ時效ハ六月ヲ經過スルニ因リテ完成ス但シ犯人逃亡シタルトキハ其ノ期間ハ一年トス

第十三章　補則

第百三十九條　選擧ニ關スル費用ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第百四十條　議員候補者又ハ推薦届出者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ選擧區内ニ在ル選擧人ニ對シ選擧運動ノ爲ニスル通常郵便物ヲ選擧人一人ニ付一通ヲ限リ無料ヲ以テ差出スコトヲ得

公立學校其ノ他勅令ヲ以テ定ムル營造物ノ設備ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ演說ニ依ル選擧運動ノ爲其ノ使用ヲ許可スヘシ

第百四十一條　選擧ニ關スル訴訟ニ付テハ本法ニ規定シタルモノヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル選擧ニ關スル訴訟ニ付テハ裁判所ハ他ノ訴訟ノ順序ニ拘ラス速ニ其ノ裁判ヲ爲スヘシ

第百四十二條　第十二章ニ掲クル罪ニ關スル刑事訴訟ニ付テハ上告裁判所ハ刑事訴訟法第四百二十二條第一項ノ期間ニ依ラサルコトヲ得

第百四十三條　當選人其ノ選擧ニ關シ第十二章ニ掲クル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキ又ハ選擧事務長第百十二條若ハ第

百十三條ノ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキハ裁判所ノ長ハ其ノ旨ヲ內務大臣及關係地方長官ニ通知スヘシ

第百四十四條　町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長、其ノ組合役場ハ之ヲ町村役場ト看做ス

第百四十四條ノ二　本法中郡又ハ島廳管內トアルハ從前郡長又ハ島司ノ管轄シタル區域ヲ謂フ

從前郡長又ハ島司ノ管轄シタル區域內ニ於テ市ノ設置アリタルトキ又ハ其ノ區域ノ境界ニ涉リテ市町村ノ境界ノ變更アリタルトキハ其ノ區域モ亦自ラ變更シタルモノト看做ス

從前郡長又ハ島司ノ管轄シタル區域ノ境界ニ涉リテ町村ノ設置アリタル場合ニ於テハ本法ノ適用ニ付其ノ町村ノ屬スヘキ區域ハ內務大臣之ヲ定ム

第百四十四條ノ三　北海道廳支廳長ノ管轄區域ニ變更アルモ選擧區ニ關シテハ仍從前ノ管轄區域ニ依ル但シ市町村ノ境界ノ變更アリタル爲北海道廳支廳長ノ管轄區域ニ變更アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依ル選擧ニ關シ本法ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第百四十五條　第百四十四條ノ二ノ規定ヲ除クノ外本法中郡ニ關スル規定ハ支廳長ノ管轄區域ニ之ヲ適用ス

市制第六條ノ市ニ於テハ本法中市ニ關スル規定ハ區ニ、市長ニ關スル規定ハ區長ニ、市役所ニ關スル規定ハ區役所ニ之ヲ適用ス

町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準スヘキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準スヘキ者ニ、町村役場ニ關スル規定ハ町村役場ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス

第百四十六條　交通至難ノ島嶼其ノ他ノ地ニ於テ本法ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第百四十七條　第三十三條ノ規定ニ依ル投票ニ付テハ其ノ投票ヲ管理スヘキ者ハ之ヲ投票管理者、其ノ投票ヲ記載スヘキ場所ハ之ヲ投票所、其ノ投票ニ立會フヘキ者ハ之ヲ投票立會人ト看做シ第十二章ノ規定ヲ適用ス

第百四十八條　本法ノ適用ニ付テハ明治十三年第三十六號布告刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタルトキハ之ヲ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者、同法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ之ヲ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

第百四十九條　明治十三年第三十六號布告刑法第二編第四章第九節ノ規定ハ衆議院議員ノ選擧ニ關シテハ之ヲ適用セス

第百五十條　本法ハ東京府小笠原島竝北海道廳根室支廳管內占守郡、新知郡、得撫郡及色丹郡ニハ當分ノ內之ヲ施行セス

附則

本法ハ次ノ總選擧ヨリ之ヲ施行ス

本法ニ依リ初テ議員ヲ選擧スル場合ニ於テ第十八條ノ規定ニ依リ難キトキハ勅令ヲ以テ別ニ總選擧ノ期日ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル總選擧ニ必要ナル選擧人名簿ニ關シ第十二條、第十三條、第十五條又ハ第十七條ニ規定スル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ勅令ヲ以テ別ニ其ノ期日又ハ期間ヲ定ム但シ其ノ選擧人名簿ハ次ノ選擧人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス

（別表）（抄錄）

選擧區	議員數
岐阜縣	
第一區（岐阜市、稻葉郡、山縣郡、武儀郡、上郡）	三人

第二區
（大垣市　羽島郡　海津郡　養老郡　不破郡　安八郡　揖斐郡　本巢郡）　三人

第三區
（加茂郡　可兒郡　土岐郡　惠那郡　益田郡　大野郡　吉城郡）　三人

●衆議院議員選擧法施行令

（大正十五年一月三十日勅令第三號）

沿革　大正一五年六月勅令第二三八號改正

第一章　選擧區、選擧權及被選擧權

第一條　衆議院議員選擧法ノ別表ニ揭ケル以外ノ市ハ其ノ設置前屬シタル郡市ノ屬スル選擧區ニ包含スルモノトス

第二條　選擧人ノ年齡ハ選擧ノ期日ニ依リ、被選擧人ノ年齡ハ選擧ノ期日ニ依リ之ヲ算定ス

第三條　衆議院議員選擧法第七條第二項ノ規定ニ依リ除外スヘキ學生生徒左ノ如シ

一　陸軍各部依託學生生徒

二　海軍軍醫學生業劑學生主計學生造船學生造機學生造兵學生並海軍豫備生徒及海軍豫備練習生

第二章　選擧人名簿

第四條　市町村ノ境界變更アリタル爲選擧人名簿ニ異動ヲ生シタルトキハ市町村長ハ其ノ管理ニ屬スル選擧人名簿中異動ニ係ル部分ヲ新ニ屬シタル市町村ノ市町村長ニ送付スヘシ

市町村ノ廢置分合アリタル爲選擧人名簿ノ引繼ヲ要スルトキハ前項ノ例ニ依ル

第五條　（削除）

第六條　選擧人名簿ハ市町村長ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第三章　投票

第七條　市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ左ノ規定ニ依ル

一　選擧人名簿ハ投票區毎ニ之ヲ調製スヘシ

二　各投票區ニ於ケル投票管理者ハ地方長官ニ於テ官吏又ハ吏員ノ中ニ就キ之ヲ定ム此ノ場合ニ於テハ投票管理者ノ內一人ハ市町村長ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ要ス

三　市町村長ハ選擧ノ期日ノ公布又ハ告示アリタルトキハ直ニ選擧人名簿ヲ各投票管理者ニ送付スヘシ

第八條　數町村ノ區域ヲ合セテ一投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ左ノ規定ニ依ル

一　投票管理者ハ地方長官ニ於テ關係町村長ノ中ニ就キ之ヲ定ム

二　町村長ハ選擧ノ期日ノ公布又ハ告示アリタルトキハ直ニ選擧人名簿ヲ投票管理者ニ送付スヘシ

第九條　投票管理者及其ノ代理者故障アルトキハ監督官廳ハ臨時ニ官吏又ハ吏員ヲシテ其ノ事務ヲ管掌セシムルコトヲ得

第十條　投票立會人ノ屆出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ投票立會人ノ氏名、住居及生年月日ヲ記載シ且本人ノ承諾書ヲ添附スヘシ

第十一條　選擧人選擧人名簿調製期日後其ノ投票區域外ニ住居ヲ移シタル場合ニ於テハ名簿調製期日ニ於テ住居ヲ有シタル地ノ投票區ノ投票所ニ到リ投票ヲ爲スヘシ

第十二條　投票管理者必要アリト認ムルトキハ投票所入場券及刻著番號札ヲ選擧人ニ交付スルコトヲ得

第十三條　投票記載ノ場所ハ選擧人ノ投票ヲ覗ヒ又ハ投票ノ交換其ノ他不正ノ手段ヲ用フルコト能ハサラシムル爲相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第十四條　投票函ハ二重ノ蓋ヲ造リ各別ニ鎖鑰ヲ設クヘシ

第十五條　投票管理者ハ投票ヲ爲サシムルニ先チ投票所ニ參會シタル選擧人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後內蓋ヲ鎖スヘシ

第十六條　投票管理者ハ投票立會人ノ面前ニ於テ選擧人名簿ニ對照シタル後投票用紙ヲ交付スヘシ

第十七條　選擧人誤リテ投票ノ用紙又ハ封筒ヲ汚損シタルトキハ其ノ引換ヲ請求スルコトヲ得

第十八條　投票ハ投票管理者及投票立會人ノ面前ニ於テ選擧人自ラ之ヲ投函スヘシ

第十九條　投票ヲ爲サムトスル選擧人ヲシテ本人ナル旨ノ宣言ヲ爲サシムル必要アルトキハ投票管理者ハ投票立會人ノ面前ニ於テ之ヲシテ宣言セシメ投票所ノ事務ニ從事スル者ヲシテ之ヲシテ筆記セシメ選擧人ニ讀聞カセ選擧人ヲシテ之ニ署名セシムヘシ

前項ノ規定ニ依ル宣言書ハ之ヲ投票錄ニ添附スヘシ

第二十條　選擧人投票前投票所外ニ退出シ又ハ退出ヲ命セラレタルトキハ投票管理者ハ投票用紙ヲ返付セシムヘシ

第二十一條　衆議院議員選擧法第二十八條ノ規定ニ依リ盲人カ投票ニ關スル記載ニ使用スルコトヲ得ル點字ハ別表ヲ以テ之ヲ定ム

點字ニ依リ投票ヲ爲サムトスル選擧人ハ投票管理者ニ對シ其ノ旨ヲ申立ツヘシ此ノ場合ニ於テハ投票管理者ハ投票用紙ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シテ交付スヘシ

點字ニ依ル投票ノ拒否ニ付テハ衆議院議員選擧法第三十一條ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於テハ封筒ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シテ交付スヘシ

前項ノ規定ニ依リ假ニ爲サシメタル投票ハ衆議院議員選擧法第四十九條ノ規定ノ適用ニ付テハ同法第三十一條第二項及第四項ノ投票ト看做ス

第二十二條　投票ヲ終リタルトキハ投票管理者ハ投票函ノ內蓋ノ投票口及外蓋ヲ鎖シ其ノ內蓋ノ鑰ハ投票函ヲ送致スヘキ投票立會人之ヲ保管シ外蓋ノ鑰ハ投票管理者之ヲ保管スヘシ

第二十三條　投票ニ關スル書類ハ投票管理者ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ但シ市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ市町村長タル投票管理者ハ其ノ他ノ投票管理者ノ保存スヘキ書類ヲ併セテ保存スヘシ

第二十四條　地方長官衆議院議員選擧法第三十六條ノ規定ニ依リ投票ノ期日ヲ定メタルトキハ直ニ之ヲ告示シ併セテ投票管理者及開票管理者ニ通知スヘシ

第二十五條　地方長官衆議院議員選擧法第三十七條ノ規定ニ依リ投票ノ期日ヲ定メタルトキハ直ニ之ヲ投票管理者開票管理者及選擧長ニ通知スヘシ

第四章　衆議院議員選擧法第三十三條ノ投票

第二十六條　衆議院議員選擧法第三十三條ノ事由ヲ定ムルコト左ノ如シ

一　湖川、港灣ノミヲ航行スル船舶、總噸數二十噸未滿又ハ主トシテ櫓櫂ヲ以テ運轉スル舟ヲ除クノ外日本船舶（內地以外ニ船籍港ヲ定ムルモノヲ含ム以下之ニ同シ）ノ船員又ハ其ノ船舶ニ乘務スルノ常況ニ在ル者船內從業中ナルヘキコト

二　前號ノ船舶ヲ除クノ外日本船舶ニシテ總噸數五噸以上又ハ積石數五十石以上ノモノノ船員又ハ其ノ船舶ニ乘務スルノ常況ニ在ル者船內從業中ナルヘキコト

三　鐵道列車ニ乘務スルノ常況ニ在ル鐵道係員、郵便取扱員其ノ他ノ者鐵道列車ニ乘務中ナルヘキコト

四　陸海軍軍人演習召集中又ハ教育召集中ナルヘキコト

五　艦船乘員タル軍屬海上勤務中ナルヘキコト

第二十七條　選擧人前條第一號、第四號又ハ第五號ニ揭クル事由ニ因リ選擧ノ當日自ラ投票所ニ到リ投票ヲ爲シ能ハサルヘキトキハ選擧ノ期日ノ公布又ハ告示アリタル日ヨリ選擧ノ期日ノ前日迄ニ自ラ其ノ屬スル投票區ノ投票管理者ニ就キ又ハ之ニ對シ郵便ヲ以テ其ノ旨ヲ證シテ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

選擧人前條第二號又ハ第三號ニ掲クル事由ニ因リ選擧ノ當日自ラ投票所ニ到リ投票ヲ爲シ能ハサルヘキトキハ選擧ノ期日前十日ヨリ選擧ノ期日ノ前日迄ニ自ラ其ノ屬スル投票區ノ投票管理者ニ就キ其ノ旨ヲ證シテ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

點字ニ依リ投票ヲ爲サムトスル選擧人ハ前二項ノ請求ヲ爲スト同時ニ投票管理者ニ對シ其ノ旨ヲ申立ツヘシ

第二十八條 選擧人前條ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ併セテ其ノ證スル事項ニ付各左ニ掲クル者ノ證明書ヲ提出スヘシ但シ第二十六條第四號ニ掲クル事由ニ基ク事項ニ付テハ選擧ノ期日カ召集期間中ナル場合ニ於テ選擧人自ラ其ノ屬スル投票區ノ投票管理者ニ就キ請求ヲ爲ストキニ限リ召集令狀ノ提示ヲ以テ證明書ノ提出ニ代フルコトヲ得

一 第二十六條第一號ニ掲クル事由ニ關シテハ船員ニ在リテハ管海官廳(管海官廳ニ準スヘキモノヲ含ム)、領事官又ハ船長(船長ノ職務ヲ行フ者ヲ含ム以下之ニ同シ)、其ノ他ノ者ニ在リテハ各所屬ノ官署ノ長又ハ其ノ者ノ業務主

二 第二十六條第二號ニ掲クル事由ニ關シテハ各所屬ノ官署ノ長又ハ其ノ者ノ業務主

三 第二十六條第三號ニ掲クル事由ニ關シテハ鐵道係員ニ在リテハ各所屬ノ重掌監督機關庫主任電車庫主任(地方鐵道ニ在リテハ各之ニ該當スル者)、郵便取扱員ニ在リテハ各所屬ノ郵便局長、其ノ他ノ者ニ在リテハ各所屬ノ官署ノ長又ハ其ノ業務主

四 第二十六條第四號ニ掲クル事由ニ關シテハ其ノ者ノ所屬ノ部隊若ハ陸上海軍各部(陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依ル以下之ニ同シ)ノ長又ハ所屬ノ艦船ノ長

五 第二十六條第五號ニ掲クル事由ニ關シテハ其ノ者ノ所屬ノ艦船ノ長

前項ノ規定ニ依ル證明者前項ノ證明者ノ交附ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テ該當事項アリト認ムルトキハ直ニ證明書ヲ交付スヘシ

選擧人正當ノ事由ニ因リ第一項ノ證明書ヲ提出スルコト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ投票管理者ニ疏明スヘシ

第二十九條 投票管理者第二十七條及前條第一項又ハ第三項ノ規定ニ依リ投票用紙及投票用封筒ノ交付ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テハ當該選擧人カ第二十六條ニ掲クル事由ノ一ニ因リ選擧ノ當日自ラ投票所ニ到リ投票ヲ爲シ能ハスト認ムルトキハ投票用紙及投票用封筒ヲ直ニ選擧人ニ直接ニ交付シ又ハ郵便ヲ以テ發送スヘシ

前項ノ場合ニ於テ第二十七條第三項ノ申立ヲ爲シタル選擧人ニ交付シ又ハ發送スル投票用紙ニハ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺スヘシ

第三十條 衆議院議員選擧法第三十三條ノ規定ニ依ル投票ニ付テハ當該選擧人カ第二十六條ニ掲クル事由ノ何レニ關シ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ受ケタルカニ依リ各左ニ掲クル者之ヲ管理ス(之ヲ特別投票管理者ト稱ス)

一 第二十六條第一號ニ掲クル事由ニ關スルトキハ選擧人ノ屬スル投票區ノ投票管理者又ハ其ノ乘務スル船舶ノ船長

二 第二十六條第二號又ハ第三號ニ掲クル事由ニ關スルトキハ選擧人ノ屬スル投票區ノ投票管理者

三 第二十六條第四號ニ掲クル事由ニ關スルトキハ選擧人ノ屬スル投票區ノ投票管理者、其ノ所屬ノ部隊若ハ陸上海軍各部ノ所在地ノ投票管理者(當該所在地ニ以上ノ投票區ニ渉ルトキハ關係投票管理者ノ中ニ就キ地方長官ノ指定スル者)又ハ所屬ノ艦船ノ長

四 第二十六條第五號ニ掲クル事由ニ關スルトキハ選擧人ノ屬スル投票區ノ投票管理者又ハ其ノ所屬ノ艦船ノ長

第三十一條 第二十六條第一號、第四號又ハ第五號ニ掲クル事由ニ關シ投票用紙及投票用封筒ヲ特別投票管理者ニ提示シ點檢ヲ受ケ當該管理者ノ管理スル投票記載ノ場所ニ於テ自ラ投票用紙ニ被選擧人一人ノ氏名ヲ記載シ之ヲ投票用封筒ニ入レ封緘シ投票用封筒ノ表面ニ其ノ氏名ヲ記載シ直ニ之ヲ當該管理者ニ提出スヘシ

第二十六條第二號又ハ第三號ニ掲クル事由ニ關シ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ受ケタル選擧人ハ其ノ交付ヲ受ケタル後直ニ特別投票管理者ノ管理スル投票記載ノ場所ニ於テ自ラ投票用紙ニ被選擧人一人ノ氏名ヲ記載シ之ヲ投票用封筒ニ入レ封緘シ投票用封筒ノ表面ニ其ノ氏名ヲ記載シ直ニ之ヲ當該管理者ニ提出スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ特別投票管理者ハ各關係市町村吏員、船員若ハ海軍軍人又ハ之ニ準スヘキ者ヲシテ之ニ立會ハシムヘシ

第三十二條ノ規定ハ第一項及第二項ノ投票記載ノ場所ニ之ヲ準用ス

第三十二條　特別投票管理者前條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル投票ヲ受領シタルトキハ投票用封筒ノ裏面ニ投票ノ年月日及場所ヲ記載シ前條第三項ノ規定ニ依ル立會人ト共ニ之ヲ署名スヘシ

前項ノ特別投票管理者選擧人ノ屬スル投票區ノ投票管理者ナルトキハ其ノ投票ヲ他ノ封筒ニ入レ封緘シ第一項ノ特別投票管理者選擧人ノ屬スル投票區ノ投票管理者以外ノ者ナルトキハ更ニ其ノ投票ヲ他ノ封筒ニ入レ封緘シ其ノ表面ニ投票在中ノ旨ヲ明記シ其ノ裏面ニ署名捺印シ之ヲ選擧人ノ屬スル投票區ノ投票管理者ニ送致スヘシ

投票用紙及投票用封筒ヲ交付シタル後投票區ニ異動アリタルニ因リ投票管理者ノ管理ニ係ル投票區ニ屬スルコトナキニ至リタル選擧人ノ投票ハ投票管理者ニ於テ直ニ之ヲ新ニ選擧人ノ屬スル投票區ノ投票管理者ニ送致スヘシ

投票管理者投票所ヲ閉ツヘキ時刻迄ニ前二項ノ規定ニ依ル投票ノ送致ヲ受ケタルトキハ送致ニ用ヒラレタル封筒ヲ開被シ投票ハ其ノ儘之ヲ保管スヘシ

第三十三條　投票管理者ハ第二十七條乃至第二十九條及前二條ノ規定ニ依ル手續ニ關スル顚末書ヲ作成シ之ニ署名シ投票錄ニ添附スヘシ

第三十四條　投票管理者ハ投票函閉鎖前投票立會人ノ意見ヲ聽キ第三十二條第二項又ハ第五項ノ規定ニ依リ保管スル投票ノ受理如何ヲ決定スヘシ

前項ノ決定アリタルトキハ投票管理者ハ直ニ投票用封筒ヲ開披シ其ノ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シタル投票用紙ヲ用ヒタル投票ニ付衆議院議員選擧法第三十一條ノ例ニ依リ其ノ拒否ヲ決定スヘシ

第一項ノ規定ニ依リ受理スヘシト決定セラレ且前項ノ規定ニ依ル拒否ノ決定ヲ受ケサル投票ハ投票管理者ニ於テ直ニ之ヲ投函シ第一項ノ特別投票管理者ニ送致スヘシ

前項ノ規定ニ依リ受理スヘカラスト決定セラレタル投票又ハ前項ノ規定ニ依ル拒否ノ決定ヲ受ケタル投票ハ投票管理者ニ於テ之ヲ封緘シ其ノ表面ニ第一項ノ規定ニ依ル不受理ノ決定又ハ前項ノ規定ニ依ル拒否ノ決定アリタル旨ヲ記載シテ之ヲ投函スヘシ

第一項ノ規定ニ依ル不受理ノ決定又ハ第二項ノ規定ニ依ル拒否ノ決定ノ適用ニ付テハ同法第三十一條第二項及第四項ノ投票ト看做ス

第三十五條　第二十九條ノ規定ニ依リ交付ヲ受ケタル投票用紙及投票用封筒ハ選擧ノ當日投票所ニ於テ之ヲ使用スルコトヲ得ス

選擧人第二十九條ノ規定ニ依リ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ受ケタルトキハ之ヲ投票管理者ニ返還スルニ非サレハ衆議院議員選擧法第二十五條第一項ノ規定ニ依ル投票ヲ爲スコトヲ得ス

第三十六條　投票管理者投票所ヲ閉ツヘキ時刻後第三十二條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依ル投票ノ送致ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク開披シ投票用封筒ノ裏面ニ受領ノ年月日時ヲ記載シ之ヲ開票管理者ニ送致スヘシ

第五章　開票

第三十七條　郡市ノ區域ヲ分チテ數開票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ各開票區ニ於テ各開票管理者ハ地方長官ニ於テ官吏又ハ吏員ノ中ニ就キ之ヲ定ム但シ支廳長ノ管轄區域又ハ市ノ區域ヲ分チテ數開票區ヲ設ケタル場合ニ於テハ開票管理者ノ內一人ハ支廳長又ハ市長ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ要ス

第三十八條　第九條ノ規定ハ開票管理者及其ノ代理者ニ、第十條ノ規定ハ開票事務ニ從事スル者ニ之ヲ準用ス

第三十九條　投票ヲ點檢スルトキハ開票管理者ハ開票事務ニ從事スル者二人ヲシテ各別ニ同一議員候補者ノ得票數ヲ計算セシムヘシ

第四十條　前條ノ計算終リタルトキハ開票管理者ハ投票區毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀スヘシ

第四十一條　開票管理者ハ衆議院議員選擧法第四十九條第三項ノ報告ヲ爲ストキハ同時ニ開票錄ノ謄本ヲ送付スヘシ

開票管理者ハ前項ノ報告ヲ爲シタル後直ニ投票管理者ヨリ送付シタル選擧人名簿ヲ關係市町村長ニ返付スヘシ

第四十二條　開票管理者ハ投票區毎ニ點檢濟ニ係ル投票ノ有效無效ヲ區別シ各之ヲ封筒ニ入ル開票立會人ト共ニ封印ヲ施シ之ヲ保存スヘシ

受理スヘカラスト決定シタル投票ハ其ノ封筒ヲ開披セス前項ノ例ニ依リ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第三十六條ノ規定ニ依リ送致ヲ受ケタル投票ハ開票管理者ニ於テ其ノ封筒ヲ開披セス議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

地方長官ノ指定シタル官吏（市長ヲ除ク）又ハ吏員（市長ヲ除ク）開票管理者タル場合ニ於テハ開票管理者ノ保存スヘキ投票ハ地方長官若ハ支廳長又ハ市長ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第四十三條　開票ニ關スル書類ハ開票管理者ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ此ノ場合ニ於テハ前條第四項ノ規定ヲ準用ス

第四十四條　地方長官衆議院議員選擧法第五十六條ノ規定ニ依リ開票ノ期日ヲ定メタルトキハ直ニ之ヲ開票管理者及選擧長ニ通知スヘシ

第六章　選擧會

第四十五條　第九條ノ規定ハ選擧長及其ノ代理者ニ、第十條ノ規定ハ選擧立會人ニ之ヲ準用ス

第四十六條　開票管理者ノ報告ヲ調査スルトキハ選擧長ハ開票區毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀スヘシ

第四十七條　選擧會ニ關スル書類ハ選擧長ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ但シ地方長官ノ指定シタル官吏（支廳長ヲ除ク）選擧長タル場合ニ於テハ地方長官ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第四十八條　地方長官衆議院議員選擧法第六十五條ノ規定ニ依リ選擧會ノ期日ヲ定メタルトキハ直ニ之ヲ選擧長ニ通知スヘシ

第七章　議員候補者及當選人

第四十九條　議員候補者ノ屆出又ハ推薦屆出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ議員候補者タルヘキ者ノ氏名、職業、住居及生年月日（推薦屆出ノ場合ニ於テハ併セテ推薦屆出者ノ氏名、住居及生年月日）ヲ記載シ且衆議院議員選擧法第六十八條第一項ノ供託ヲ爲シタルコトヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

議員候補者タルコトヲ辭スルコトノ屆出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ被選擧權ヲ有セサルニ至リタル爲選擧ノ期日前十日以内ニ議員候補者タルコトヲ辭スル場合ニ於テハ其ノ事由ヲ記載スヘシ

第五十條　議員候補者ノ屆出又ハ推薦屆出アリタルトキハ選擧長ハ直ニ其ノ旨ヲ議員候補者ノ住居ヲ有スル地ノ市町村長ニ通知シ同時ニ議員候補者ノ氏名、職業、住居、生年月日其ノ他必要ナル事項ヲ開票管理者ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル市町村長ハ當該議員候補者死亡シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ選擧長ニ通知スヘシ

議員候補者ノ屆出又ハ推薦屆出アリタルトキハ選擧長ハ直ニ其ノ旨ヲ議員候補者ノ住居ヲ有スル地ノ市町村長ニ通知シ同時ニ議員候補者ノ氏名、職業、住居、生年月日其ノ他必要ナル事項ヲ開票管理者ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル市町村長ハ當該議員候補者死亡シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ選擧長ニ通知スヘシ

議員候補者ノ屆出又ハ推薦屆出アリタルトキハ選擧長ハ直ニ其ノ旨ヲ議員候補者ノ住居ヲ有スル地ノ市町村長ニ通知シ同時ニ議員候補者ノ氏名、職業、住居、生年月日其ノ他必要ナル事項ヲ開票管理者ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル市町村長ハ當該議員候補者死亡シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ選擧長ニ通知スヘシ

第五十一條　議員候補者選擧ノ期日前十一日迄ニ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキ、選擧ノ期日ニ於ケル投票所ヲ開クヘキ時刻迄ニ死亡シタルトキ若ハ被選擧權ヲ有セサルニ至リタル爲議員候補者タルコトヲ辭シタルトキ又ハ選擧ノ全部無效ト爲リタルトキハ直ニ衆議院議員選擧法第六十八條第一項ノ供託物ノ還付ヲ請求スルコトヲ得

議員候補者ノ得票數衆議院議員選擧法第六十八條第二項ノ規定ニ該當セサルモノナルトキ又ハ議員候補者同法第七十一條ノ規定ノ適用ヲ受ケタルモノナルトキハ其ノ選擧及當選ノ效力確定後直ニ同法第六十八條第一項ノ供託物ノ還付ヲ請求スルコトヲ得

第五十二條　當選人衆議院議員選擧法第七十四條ノ期間内ニ當選承諾ノ屆出ヲ爲ササルトキハ選擧長ハ直ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第八章　選擧運動

第五十三條　選擧事務長ノ選任（議員候補者又ハ推薦屆出者自ラ選擧事務長ト爲リタル場合ヲ含ム以下之ニ同シ）ノ屆出ハ

文書ヲ以テ之ヲ爲シ選擧事務長ノ氏名、職業、住居、生年月日及選任年月日竝議員候補者ノ氏名ヲ記載シ且選擧事務長カ選擧權ヲ有スル者ナルコトヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

推薦屆出者選擧事務長ノ選任ヲ爲シタル場合ニ於テハ前項ノ屆出ニハ推薦屆出者數人アルトキハ其ノ代表者タルコトヲ證スヘキ書面ヲ、其ノ選任ニ付議員候補者ノ承諾ヲ要スルトキハ其ノ承諾ヲ得タルコトヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

第五十四條　選擧委員又ハ選擧事務員ノ選任ノ屆出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ選擧委員又ハ選擧事務員ノ氏名、職業、住居、生年月日及選任年月日ヲ記載シ且選擧委員又ハ選擧事務員カ選擧權ヲ有スル者ナルコトヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

第五十五條　選擧事務所ノ設置ノ屆出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ選擧事務所ノ所在地及設置年月日ヲ記載スヘシ

第五十六條　選擧事務長、選擧委員、選擧事務員又ハ選擧事務所ニ異動アリタルコトノ屆出ハ前三條ノ例ニ依リ之ヲ爲スヘシ

前項ノ屆出ニシテ解任又ハ辭任ニ因ル異動ニ關スルモノニハ衆議院議員選擧法第八十八條第三項若ハ第四項又ハ第八十九條第二項若ハ第三項ノ通知アリタルコトヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ選擧事務長ヲ選任シタル推薦屆出者選擧事務長ヲ解任シタル場合ニ於テハ併セテ其ノ解任ニ付議員候補者ノ承諾アリタルコトヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

第五十七條　選擧事務長故障アルトキ之ニ代リテ其ノ職務ヲ行フコトノ屆出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ選擧事務長ノ氏名（選擧事務長ノ選任ヲ爲シタル推薦屆出者モ亦故障アルトキハ併セテ其ノ氏名）、故障ノ事實及其ノ職務代行ヲ始メタル年月日ヲ記載シ且故障ノ生シタルコトヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

選擧事務長故障アルトキ之ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者之ヲ罷メタルコトノ屆出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ故障ノ止ミタル事實及其ノ職務代行ヲ罷メタル年月日ヲ記載シ且故障ノ止ミタルコトヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

第九章　選擧運動ノ費用

第五十八條　選擧事務長選擧運動ノ費用ノ支出ノ承諾ヲ與ヘタル場合ニ於テ承諾ニ係ル費用ノ支出終了シタルトキ又ハ選擧ノ期日經過シタルトキハ選擧事務長ハ遲滯ナク其ノ承諾ヲ受ケタル者ニ就キ支出金額（財産上ノ義務ノ負擔又ハ金錢以外ノ財産上ノ利益ノ使用若ハ費消ノ承諾ヲ與ヘタル場合ニ於テハ其ノ負擔シタル義務又ハ其ノ使用シ若ハ費消シタル利益）、其ノ用途ノ大要、支出先、支出年月日及支出者ノ氏名ヲ記載シタル精算書ヲ作成スヘシ

第五十九條　演說又ハ推薦狀ニ依ル選擧運動ノ費用ニシテ議員候補者、選擧事務長、選擧委員又ハ選擧事務員ニ非サル者カ議員候補者又ハ選擧事務長ト意思ヲ通シテ支出シタルモノニ付テハ選擧事務長ハ其ノ都度遲滯ナク議員候補者又ハ支出者ニ就キ前條ノ例ニ依リ精算書ヲ作成スヘシ

前項ノ費用ニシテ議員候補者ト意思ヲ通シテ支出シタルモノニ付テハ其ノ意思ヲ通シタル都度議員候補者ハ直ニ其ノ旨ヲ選擧事務長ニ通知スヘシ

第六十條　立候補準備ノ爲ニ要シタル費用ニシテ議員候補者若ハ選擧事務長ト爲リタル者カ支出シ又ハ他人カ其ノ者ト意思ヲ通シテ支出シタルモノニ付テハ選擧事務長ハ其ノ就任後遲滯ナク議員候補者又ハ支出者ニ就キ第五十八條ノ例ニ依リ精算書ヲ作成スヘシ

第六十一條　選擧事務長ハ左ニ掲クル帳簿ヲ備フヘシ

一　承諾簿

二　評價簿

三　支出簿

第六十二條　選擧事務長選擧運動ノ費用ノ支出ノ承諾ヲ與ヘタルトキハ直ニ承諾ニ係ル金額（財産上ノ義務ノ負擔又ハ金錢以外ノ財産上ノ利益ノ使用若ハ費消ノ承諾ヲ與ヘタル場合ニ於テハ承諾ニ係ル義務又ハ利益）、其ノ用途ノ大要、承諾年月日及承諾ヲ受ケタル者　氏名ヲ承諾簿ニ記載スヘシ

選擧事務長選擧運動ノ費用ノ支出ノ承諾ヲ與ヘタル後未タ支出セラレサル費用ニ付テハ文書ヲ以テ其ノ承諾ノ取消ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ前項ノ例ニ依リ承諾簿ニ記載スヘシ

選擧事務長第五十八條ノ規定ニ依リ精算書ヲ作成シタルトキハ直ニ支出總金額（財産上ノ義務ノ負擔又ハ金錢以外ノ財

産上ノ利益ノ使用若ハ費消ニ付テハ其ノ種類別總額)、其ノ用途ノ大要、精算年月日及承諾ヲ受ケタル者ノ氏名ヲ承諾簿ニ記載スヘシ

第六十三條　左ニ掲クル場合ニ於テハ選擧事務長ハ直ニ財産上ノ義務又ハ金錢以外ノ財産上ノ利益ヲ時價ニ見積リタル金額、其ノ用途ノ大要、支出先、支出年月日及見積リノ詳細ナル根據ヲ評價簿ニ記載スヘシ

一　選擧事務長選擧運動ノ費用トシテ財産上ノ義務ヲ負擔シ又ハ金錢以外ノ財産上ノ利益ヲ使用シ若ハ費消シタルトキ

二　選擧事務長第五十九條第一項又ハ第六十條ノ規定ニ依リ財産上ノ義務ノ負擔又ハ金錢以外ノ財産上ノ利益ノ使用若ハ費消ニ關スル精算書ヲ作成シタルトキ

三　選擧事務長前條ノ規定ニ依リ財産上ノ義務ノ負擔又ハ金錢以外ノ財産上ノ利益ノ使用若ハ費消ニ關スル承諾簿ノ記載ヲ爲シタルトキ

第六十四條　左ニ掲クル場合ニ於テハ選擧事務長ハ直ニ支出金額、其ノ用途ノ大要、支出先及支出年月日ヲ支出簿ニ記載スヘシ

一　選擧事務長金錢ヲ以テ選擧運動ノ費用ノ支出ヲ爲シタルトキ

二　選擧事務長第五十九條第一項又ハ第六十條ノ規定ニ依リ金錢ノ支出ニ關スル精算書ヲ作成シタルトキ

三　選擧事務長第六十二條第三項ノ規定ニ依リ金錢ノ支出ニ關スル承諾簿ノ記載ヲ爲シタルトキ

四　選擧事務長前條ノ規定ニ依リ評價簿ノ記載ヲ爲シタルトキ

第六十五條　衆議院議員選擧法第百九條ノ規定ニ依リ事務ノ引繼ヲ爲ス場合ニ於テハ第六十六條ニ定ムル精算届書ノ樣式ニ準シ選擧運動ノ費用ノ計算書ヲ作成シテ引繼ヲ爲ス者及引繼ヲ受クル者ニ於テ之ニ引繼ノ旨及引繼年月日ヲ記載シ共ニ署名捺印シ第六十八條ニ定ムル帳簿及書類ト共ニ其ノ引繼ヲ爲スヘシ

第六十六條　衆議院議員選擧法第百六條第一項ノ規定ニ依ル選擧運動ノ費用ノ精算ノ届出ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ內務大臣ノ定ムル精算届書ノ樣式ニ依ルヘシ

第六十七條　選擧運動ノ費用ノ支出ヲ爲シタルトキハ其ノ都度領收書其ノ他ノ支出ヲ證スヘキ書面ヲ徵スヘシ但シ之ヲ徵シ難キ事情アルトキ又ハ一口五圓未滿ノ支出ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十八條　衆議院議員選擧法第百七條第二項ノ規定ニ依リ帳簿及書類ヲ調製スヘキ書面ハ左ノ如シ

一　第五十八條乃至第六十條ノ精算書

二　第六十一條ニ掲クル帳簿

三　第六十五條ノ計算書

四　前條ノ領收書其ノ他ノ支出ヲ證スヘキ書面

第十章　選擧ニ關スル費用

第六十九條　選擧人名簿、投票ノ用紙及封筒、投票函竝點字器ノ調製ニ要スル費用ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス

第七十條　選擧事務ノ爲地方長官、選擧長、開票管理者又ハ投票管理者ニ於テ要スル費用及選擧會場、開票所又ハ投票所ニ要スル費用ハ關係行政廳ノ經費ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

衆議院議員選擧法第三十三條ノ規定ニ依ル投票ニ關スル選擧事務ノ爲投票管理者又ハ特別投票管理者ニ於テ要スル費用及其ノ投票記載ノ場所ニ要スル費用ハ選擧人ノ屬スル投票區ノ行政廳ノ經費ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第七十一條　前條ノ關係行政廳二以上アル場合ニ於テハ其ノ支辨スヘキ費用ハ關係行政廳ニ之ヲ平分スヘシ此ノ場合ニ於テ關係行政廳ノ經費カ同一經濟ニ屬スルトキハ一行政廳ノ經費ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第七十二條　投票立會人、開票立會人及選擧立會人ニハ職務ノ爲要スル費用ヲ給ス

前項ノ費用ノ額ハ地方長官之ヲ定ム

第一項ノ費用ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス

第十一章　無料郵便物ノ差出

第七十三條　衆議院議員選擧法第百四十條第一項ノ選擧運動ノ爲ニスル通常郵便物ハ左ニ掲クルモノニ限ル

一　重量十瓦迄ノ無封ノ書狀
二　私製葉書

前項ノ郵便物ハ之ヲ特殊取扱ト爲スコトヲ得ス

第七十四條　前條ノ郵便物ハ選擧事務長ノ選任ヲ爲シタル議員候補者又ハ推薦屆出者ニ限リ之ヲ差出スコトヲ得

選擧事務長ノ選任ヲ爲シタル推薦屆出者死亡其ノ他ノ事由ニ因リ前條ノ郵便物ヲ差出スコトヲ得サルトキハ議員候補者之ヲ差出スコトヲ得

前項ノ議員候補者ハ前條ノ郵便物ヲ其ノ未タ差出サレサル選擧人ニ對シテノミ差出スコトヲ得選擧事務長ニ異動アリタル場合ニ於テ新ニ選擧事務長ノ選任ヲ爲シタル者モ亦同シ

第七十五條　前二條ニ定ムルモノノ外第七十三條ノ郵便物ニ關シ必要ナル事項ハ遞信大臣之ヲ定ム

第十二章　公立學校等ノ設備ノ使用

第七十六條　衆議院議員選擧法第百四十條第二項ノ營造物ノ設備ハ左ニ揭クルモノニシテ道府縣、市町村、市町村組合、町村組合、商業會議所又ハ農會ノ管理ニ屬スルモノニ限ル

一　公會堂
二　議事堂
三　前各號ノ外地方長官ノ指定シタル營造物ノ設備

議事堂ニシテ國又ハ公共團體ノ他ノ營造物ノ設備ト同一ノ建物內ニ在リ又ハ之ニ接續シ若ハ近接シ其ノ使用ニ依リ國又ハ公共團體ノ事務ニ著シキ支障アリト認ムルモノニ付テハ地方長官ハ豫メ之ヲ指定シ其ノ使用ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得

前二項ノ指定ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

第七十七條　公立學校及前條ノ營造物ノ設備ノ使用ハ選擧事務長ノ選任ヲ爲シタル議員候補者又ハ推薦屆出者ニ限リ之ヲ

申請スルコトヲ得

第七十四條第二項ノ規定ハ前項ノ申請ニ之ヲ準用ス

第七十八條　公立學校ヲ使用セムトスルトキハ其ノ使用スヘキ學校ノ設備及日時ヲ記載シタル文書ヲ以テ當該公立學校管理者ニ之ヲ申請スヘシ

同一議員候補者ノ爲ニ同一公立學校ヲ使用セムトスルトキハ先ノ申請ニ對シ許可セラレタル使用ノ日ヲ經過シタル後ニ非サレハ更ニ申請ヲ爲スコトヲ得ス

第七十九條　同一公立學校ヲ同一日時ニ使用スヘキ二以上ノ申請アリタルトキハ公立學校管理者ハ先ニ到達シタル申請書ノ申請ニ對シ、其ノ到達同時ナルトキハ既ニ使用ヲ許可セラレタル度數ノ少キ議員候補者ノ爲ノ申請ニ對シ其ノ使用ヲ許可スヘシ其ノ度數モ亦同シキトキハ申請者又ハ其ノ代人立會ノ上抽籤ニ依リ其ノ使用ヲ許可スヘキ者ヲ決定スヘシ

第八十條　第七十八條ノ規定ニ依ル申請書ノ到達アリタルトキハ公立學校管理者ハ當該公立學校長ノ意見ヲ徵シテ其ノ許否ヲ決定シ到達ノ日ヨリ二日以內ニ申請者又ハ其ノ代人及當該公立學校長ニ通知スヘシ

第八十一條　公立學校長ニ於テ學校ノ授業又ハ諸行事ニ支障アリト認ムル場合ニ於テハ其ノ使用ヲ許可スルコトヲ得ス

一　公立學校長ニ於テ學校ノ授業又ハ諸行事ニ支障アリト認ムル設備ニ付テハ其ノ使用
二　職員室、事務室、宿直室、器械室、標本室其ノ他公立學校長ニ於テ著シキ支障アリト認ムル設備ニ付テハ其ノ使用

ヲ許可スルコトヲ得ス

三　使用ヲ許可スヘキ期間ハ選擧ノ期日ノ公布又ハ告示アリタル日ヨリ選擧ノ期日ノ前日迄トス
四　使用ノ時間ハ一回ニ付五時間ヲ超ユルコトヲ得ス

第八十二條　道廳府縣立學校管理者タル地方長官ハ前四條ニ規定スル管理者ノ權限ヲ學校長ニ委任スルコトヲ得

地方長官前項ノ委任ヲ爲シタルトキハ直ニ之ヲ告示スヘシ

第八十三條　前五條ノ規定ハ第七十六條ノ營造物ノ設備ノ使用ニ之ヲ準用ス但シ公立學校長ニ該當スル者ナキ場合ニ於テ

ハ第八十一條中公立學校長トアルハ管理者トス

第八十四條　第七十六條ノ營造物ノ設備ノ使用ニ付一般ニ使用ニ關スル料金徵收ノ定アルモノニ關シテハ其ノ料金ヲ徵收スルコトヲ妨ケス

第八十五條　公立學校又ハ第七十六條ノ營造物ノ設備ノ使用ノ準備及其ノ後片付等ニ要スル費用ハ使用ノ許可ヲ受ケタル者ノ負擔トス

公立學校又ハ第七十六條ノ營造物ノ設備ノ使用ニ因リ其ノ設備ヲ損傷シタルトキハ使用ノ許可ヲ受ケタル者ニ於テ之ヲ賠償シ又ハ原狀ニ復スヘシ

第八十六條　地方長官ハ公立學校又ハ第七十六條ノ營造物ノ設備ノ管理者カ本章ノ規定ニ違反シテ又ハ不當ニ使用ノ許可ヲ爲シ又ハ爲ササルトキハ使用ノ許可ヲ爲スコトヲ得

第八十七條　地方長官ハ選擧運動ノ爲ニスル公立學校又ハ第七十六條ノ營造物ノ設備ノ使用ニ關シ本章ニ定ムルモノノ外必要ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第十三章　交通至難ノ島嶼ニ於ケル特例

第八十八條　北海道廳根室支廳管內國後郡、紗那郡、擇捉郡及蘂取郡ニ於ケル選擧ニ關シテハ第八十九條乃至第百七條ノ規定ニ依ル

第八十九條乃至第九十二條　（削除）

第九十三條　衆議院議員選擧法第十六條第一項ニ定ムル出訴期間ハ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以內トス

第九十四條　衆議院議員選擧法第三十一條第二項乃至第四項ノ規定及第三十四條中投票ヲ受理スヘカラスト決定シタル場合ニ關スル規定ハ之ヲ適用セス

第九十五條　投票管理者ハ投票ノ翌日投票所ニ於テ衆議院議員選擧法第四十八條、第四十九條第二項及第五十一條ノ例ニ依リ開票管理者ニ屬スル職務ヲ行フ此ノ場合ニ於テハ投票立會人ハ其ノ例ニ依リ開票立會人ニ屬スル職務ヲ行フ

第三十九條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ投票ヲ點檢スル場合ニ之ヲ準用ス

第九十六條　各議員候補者ノ得票數ノ計算終リタルトキハ投票管理者ハ其ノ得票數ヲ朗讀スヘシ

第九十七條　投票ノ點檢終リタルトキハ投票管理者ハ直ニ其ノ結果ヲ開票管理者ニ報告スヘシ

第九十八條　投票管理者ハ點檢濟ニ係ル投票ノ有效無效ヲ區別シ各之ヲ封筒ニ入レ投票立會人ト共ニ之ニ封印ヲ施スヘシ

第三十四條ノ規定ニ依リ受理スヘカラスト決定シタル投票ハ投票管理者之ヲ其ノ儀他ノ封筒ニ入レ投票立會人ト共ニ之ニ封印ヲ施スヘシ

第九十九條　投票管理者ハ第四條ノ規定ニ依ル手續ニ關スル顚末書ヲ作成シ投票立會人ト共ニ署名シ、投票錄及前條ノ投票ト併セテ開票管理者ニ之ヲ送致スヘシ

第百條　投票管理者ハ豫メ開票ノ日時ヲ告示スヘシ

第百一條　選擧人ハ其ノ投票所ニ就キ開票ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第百二條　天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ之ヲ行フノ必要アルトキハ投票管理者ハ更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムヘシ

前項ノ規定ハ開票ニ之ヲ準用ス

投票管理者第一項ノ規定ニ依リ投票ノ期日ヲ定メタルトキハ少クトモ五日前ニ之ヲ告示シ前項ノ規定ニ依リ開票ノ期日ヲ定メタルトキハ豫メ之ヲ告示スヘシ

投票管理者第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ投票又ハ開票ノ期日ヲ定メタルトキハ直ニ之ヲ開票管理者、選擧長及地方長官ニ報告スヘシ

第百三條　開票管理者ハ第九十七條ノ報告及衆議院議員選擧法第三十五條又ハ第三十六條ノ規定ニ依リ送致セラレタル投票櫃ノ總テ到達シタル翌日開票ヲ行フヘシ

開票管理者ハ前項ノ投票櫃ノ投票ニ付衆議院議員選擧法第四十九條第一項及第二項ノ規定ニ依ル手續ヲ終リタルトキハ

前項ノ報告ヲ調査シ投票區毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀スヘシ

第九十七條ノ報告遲著ノ虞アルトキハ其ノ報告總テ到達セサルモ投票區ノ總テ到達シタル翌日以後ハ開票管理者ハ其ノ投票區ノ投票及前日迄ニ到達シタル報告ニ付前項ノ例ニ依リ開票ノ手續ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ開票ヲ行ヒタル場合ニ於テハ開票管理者ハ報告ノ總テ到達シタル日又ハ其ノ翌日更ニ開票所ニ於テ調査未濟ノ報告ヲ調査シ該報告ニ付投票區毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ前項ノ規定ニ依ル得票總數ニ通算シタル各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀スヘシ

第二項及前項ノ場合ニ於テハ開票管理者ハ直ニ其ノ結果ヲ選擧長ニ報告スヘシ

第百四條　第九十七條ノ報告ニ關スル書類及第九十九條ノ規定ニ依リ送致ヲ受ケタル顚末書ハ開票管理者ニ於テ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第百五條　選擧ノ一部無效ト爲リ更ニ選擧ヲ行ヒタル場合ノ開票ニ於テハ其ノ選擧ニ係ル第九十七條ノ報告ヲ調査スヘシアリト認ムルトキハ地方長官ハ第八十八條ノ地域ニ關スル部分ニ限リ分別シテ適宜ニ其ノ期間ヲ延長スルコト能ハサル情況地方長官前項ノ規定ニ依リ屆出期間ヲ延長シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第八十八條ノ地域ニ關スル當選人ニ對スル衆議院議員選擧法第八十四條第一項ニ定ムル出訴期間ハ第一項ノ規定ニ依リ延長シタル期間ト同一ノ期間之ヲ延長ス

第百七條　衆議院議員選擧法第百二十八條ノ規定ハ投票立會人正當ノ事故ナクシテ第九十五條又ハ第九十九條ニ定メタル義務ヲ缺キタル場合ニ之ヲ適用ス

第百八條　東京府青ヶ島ニ於テハ名主ハ其ノ年十二月十九日迄ニ選擧人名簿ヲ支廳長ニ送付スヘシ

前項ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル選擧人名簿ハ支廳長ニ於テ之ヲ管理スヘシ

第一項ノ規定ニ依リ送付ヲ受ケタル選擧人名簿ハ支廳長ニ於テ確定判決ニ依リ之ヲ修正スヘキトキハ名主ハ直ニ其ノ旨ヲ支廳長ニ報告スヘシ

支廳長前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ名簿ヲ修正シ其ノ旨ヲ選擧人名簿ヲ其ノ年十二月十九日迄ニ支廳長ニ送附スルコト能ハサル情況アリト認ムルトキハ地方長官ハ適宜ニ選擧人名簿ノ調製、縱覽、修正ノ申立及修正ノ申立ノ決定ニ關スル期日又ハ期間ヲ定メ併セテ之ヲ告示シ其ノ年十二月十九日迄ニ選擧人名簿ヲ送付セシムルコトヲ得

第一項ノ區域ニ於ケル選擧ニ關シテハ第九十三條及第百六條ノ規定ヲ準用ス但シ地方長官トアルハ警視總監トス

投票所ハ支廳ニ之ヲ設ケ投票管理者ノ職務ハ支廳長之ヲ行フ

衆議院議員選擧法第二十四條第二項ノ規定ニ依リ投票立會人ヲ選任スルコトヲ得

第百九條　沖繩縣大東島ニ於ケル選擧人名簿ニ關スル町村長ノ職務ハ地方長官ノ定メタル官吏之ヲ行フ

前項ノ區域ニ於ケル選擧ニ關シテハ第九十三條乃至第百七條ノ規定ヲ準用ス但シ投票管理者ノ職務ハ地方長官ノ定メタル官吏之ヲ行フ

第十四章　補則

第百十條　地方長官衆議院議員選擧法第百四十三條ノ規定ニ依リ選擧事務長カ同法第百十二條又ハ第百十三條ノ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタル旨ノ裁判所ノ長ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ關係選擧長ニ通知スヘシ

第百十一條　衆議院議員選擧法第百四十四條、第百四十四條ノ二及第百四十五條ノ規定ハ本令ノ適用ニ付之ヲ準用ス

附　則

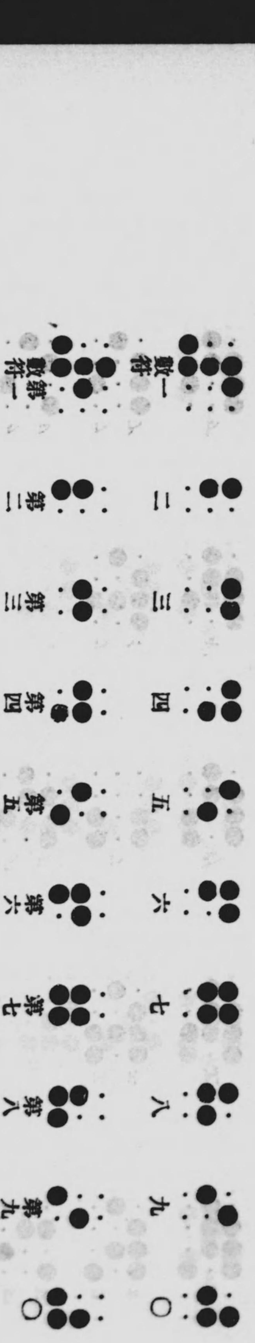
本令ハ次ノ總選擧ヨリ之ヲ施行ス

北海道衆議院議員選擧特例ハ之ヲ廢止ス

別表

點字

（右側ノ記載ハ各點字ノ發音ヲ示スモノトス）



●衆議院議員選擧法施行規則

（大正十五年二月三日
内務省令第四號）

沿革　大正一五年六月内務省令第三五號改正

第一條　衆議院議員選擧人名簿ハ別記樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條　衆議院議員選擧法第十七條第六項ノ選擧人名簿ノ調製及其ノ期日、縱覽確定ニ關スル期日、期間等ハ地方長官ニ於テ之ヲ定メ豫メ告示スヘシ

第三條　投票用紙竝衆議院議員選擧法第三十一條第三項及第四項ノ規定ニ依ル投票用封筒ハ別記樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第四條　衆議院議員選擧法施行令第二十一條第二項及第三項竝第二十九條第二項ノ規定ニ依リ投票用紙又ハ封筒ニ押捺スヘキ點字投票ナル旨ノ印ハ投票用紙及封筒ノ表面ニ之ヲ押捺スヘシ

第五條　投票函ハ別記樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第六條　立會人ノ届出書及之ニ添附スヘキ承諾書、議員候補者ノ届出書又ハ推薦届出書竝議員候補者タルコトヲ辭スルコトノ届出書ハ別記樣式ニ準シ之ヲ作成スヘシ

第七條　衆議院議員選擧法施行令第二十八條第一項ノ規定ニ依ル證明書ハ別記樣式ニ準シ之ヲ作成スヘシ

第八條　投票函ハ其ノ閉鎖後開票管理者ニ送致ノ爲ノ外之ヲ投票所外ニ搬出スルコトヲ得ス

第九條　投票錄、衆議院議員選擧法施行令第三十三條ノ顚末書、開票錄及選擧錄ハ別記樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第十條　議員候補者ノ届出若ハ推薦届出又ハ議員候補者タルコトヲ辭スルコトノ届出ヲ受理シタルトキハ選擧長ハ直ニ其ノ年月日時ヲ届出書ノ餘白ニ記載スヘシ

第十一條　當選證書ハ別記樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第十二條　選擧運動ノ費用ノ精算届書ハ別記樣式ニ準シ之ヲ作成スヘシ

附則

本令ハ次ノ總選擧ヨリ之ヲ施行ス

明治三十四年内務省令第二十八號及第二十九號竝大正九年内務省令第二號ハ之ヲ廢止ス

別記

衆議院議員選擧人名簿樣式　（用紙美濃紙）

番號	住居	生年月日	氏名
一	何郡（市）何町（村）大字何（町）何番地	何年何月何日	氏名

番號	住居	生年月日	氏名

備考

一　名簿ハ大字若ハ小字毎ニ區別シテ調製スヘシ但シ一字若ハ數字毎ニ分綴スルモ妨ナシ

一　決定判決等ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ其ノ旨及修正ノ年月日ヲ欄外ニ記シ官印又ハ職印ヲ押捺スヘシ

一　名簿ノ表紙及卷末ニハ左ノ通記載スヘシ

（表紙）

大正何年何月何日現在調

衆議院議員選擧人名簿

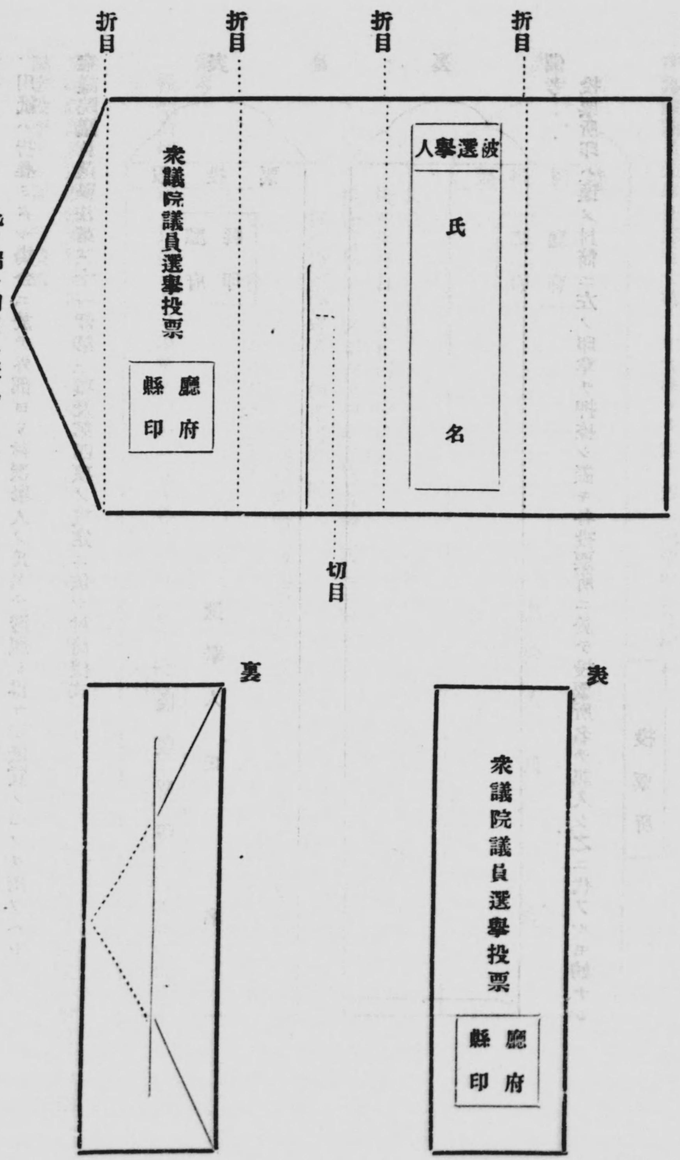
何府縣（北海道）何郡（市）何町（村）ノ（大字若ハ小字何々）

（卷末）

此ノ選擧人名簿ハ大正何年何月何日ヨリ何日間何市役所何町村役場（何ノ場所）ニ於テ縱覽セシメ大正何年何月何日ヲ以テ確定セリ

官職氏名印

投票用紙樣式



表

衆議院議員選擧投票

廳府縣印

裏

備考

用紙ハ折疊ミタル場合ニ於テ外部ヨリ被選擧人ノ氏名ヲ透視シ得サル紙質ノモノヲ用フヘシ

衆議院議員選擧法第三十一條第三項及第四項ノ規定ニ依ル封筒樣式

表

假投票

廳府縣印

投票所印

選擧人氏名

裏

備考

投票所印ハ豫メ封筒ニ左ノ印章ヲ押捺シ置キ各投票所ニ於テ投票所名ヲ記入シ之ニ代フルモ妨ナシ

投票所

衆議院議員選擧法施行令第二十九條ノ規定ニ依ル投票用封筒樣式

表

特別投票

廳府縣印

投票所印

選擧人氏名

裏

投票年月日　大正何年何月何日

投票場所　何市役所何町（村）役場（何丸）（何々）

特別投票管理者　何市何町（村）投票管理者（何丸船長）（何々）　氏名

立會人　官職（何々）　氏名

備考

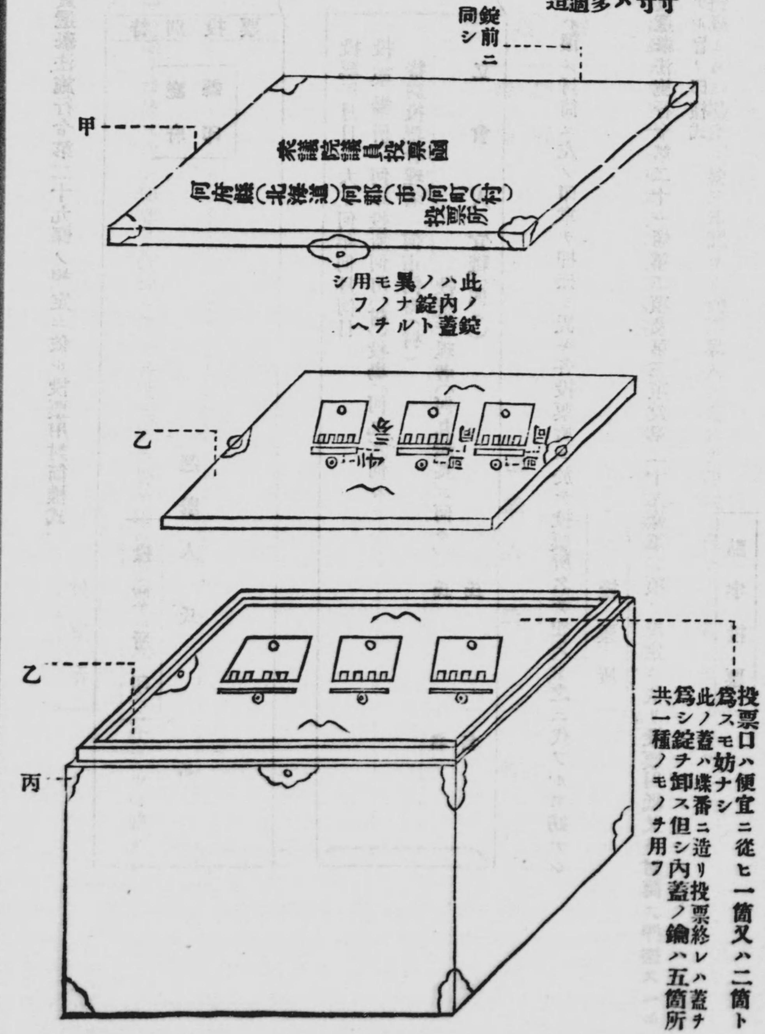
投票所印ハ豫メ封筒ニ左ノ印章ヲ押捺シ置キ各投票所ニ於テ投票所名ヲ記入シ之ニ代フルモ妨ナシ

投票所

衆議院議員選擧法施行令第二十一條第二項及第三項竝第二十九條第二項ノ規定ニ依リ投票用紙又ハ封筒ニ押捺スヘキ點字投票ナル旨ノ印樣式

點字投票

投票函様式
厚仕上凡八分
高凡二尺二寸
幅凡二尺五寸
横凡一尺五寸
但シ大小ハ選擧人ノ多寡ニ應シ適宜之ニ造ルヘシ



投票口ハ便宜ニ從ヒ一箇又ハ二箇ト爲スモ妨ナシ
此ノ蓋ハ壹番ニ造リ投票終レハ蓋ヲ爲シ錠ヲ卸ス但シ内蓋ノ鑰ハ五箇所共一種ノモノヲ用フ

立會人ノ届出書様式

投票立會人（開票立會人ノ）届

立會人　氏　名

住　所　何府縣（北海道）何郡（市）何町（村）大字何（町）何番地

生年月日　何年何月何日

選　擧　大正何年何月何日執行ノ衆議院議員選擧

右用紙本人ノ承諾書相添届出候也

大正何年何月何日

議員候補者　氏　名　印

投票管理者（開票管理者）（選擧長）　氏　名　宛

立會人ノ届出書ニ添付スヘキ承諾書様式

投票立會人（開票立會人）（選擧立會人）承諾書

大正何年何月何日執行ノ衆議院議員選擧ニ於ケル投票立會人（開票立會人）（選擧立會人）タルコトヲ承諾候也

大正何年何月何日

何府縣（北海道）何郡（市）何町（村）大字何（町）何番地

氏　名　印

議員候補者　氏　名　宛

議員候補者ノ届出書様式

衆議院議員候補者届

議員候補者　氏　名

職　業　何々（官公吏、陸海軍軍人ニ在リテハ成ルヘク明細ニ記載スルコト）
住　居　何府縣（北海道）何郡（市）何町（村）大字何（町）何番地
生年月日　何年何月何日
選　擧　大正何年何月何日執行ノ衆議院議員選擧
右別紙供託ヲ證スヘキ書面相添立候補届出候也
大正何年何月何日

選擧長　氏　　名　宛

議員候補者ノ推薦届出書樣式

衆議院議員候補者推薦届

議員候補者　氏　　名
職　業　何々（官公吏、陸海軍軍人ニ在リテハ成ルヘク明細ニ記載スルコト）
住　居　何府縣（北海道）何郡（市）何町（村）大字何（町）何番地
生年月日　何年何月何日
選　擧　大正何年何月何日執行ノ衆議院議員選擧
推薦届出者　氏　　名
住　居　何府縣（北海道）何郡（市）何町（村）大字何（町）何番地
生年月日　何年何月何日
（推薦届出者）（氏　　名）
（住　所）【何府縣（北海道）何郡（市）何町（村）大字何（町）何番地】

（生年月日）（何年何月何日）
右別紙供託ヲ證スヘキ書面相添推薦届出候也
大正何年何月何日

選擧長　氏　　名　宛

議員候補者タルコトヲ辭スルコトノ届出書樣式

衆議院議員候補者辭退届

議員候補者　氏　　名
事　由　大正何年何月何日華族ノ戸主ト爲リタル爲（何々ノ爲）被選擧權ヲ有セサルニ至リタリ
右辭退届出候也
大正何年何月何日

議員候補者　氏　　名印

選擧長　氏　　名　宛

備考
事由ハ被選擧權ヲ有セサルニ至リタル爲議員候補者タルコトヲ辭スル場合ニ限リ記載スヘシ

衆議院議員選擧法施行令第二十八條第一項ノ規定ニ依ル證明書樣式

證明書
住　居　何府縣（北海道）何郡（市）何町（村）大字何（町）何番地
職　業　何々（成ル可ク明細ニ記載スルコト）
第四編　高等　第二章　集會、結社及選擧

右ノ左ノ事由ニ因リ選擧ノ當日自ラ投票所ニ至リ投票ヲ爲シ能ハサルヘキ者ナルコトヲ證明ス

大正何年何月何日

選擧人　氏　名

官職　（何丸船長）（何業務主）　氏　名　印

一　大正何年何月何日午前何時何丸（總噸數何噸）（積石數何石）ニ乘組ミ何港出帆何地沖合ニ於テ何々漁業ニ從事シ（何々ニ從事シ）大正何年何月何日午前何時何港歸著

午前
後

〔一大正何年何月何日午前何時何丸（總噸數何噸）（積石數何石）ニ乘組ミ何港出帆何航路ヲ何地ヘ航海大正何年何月何日午前何時何港歸著〕

〔一大正何年何月何日午前何時何驛發何鐵道何線鐵道列車ニ乘務シ大正何年何月何日午前何時何驛歸著〕

〔一大正何年何月何日午前何時ヨリ大正何年何月何日迄演習召集（教育召集）ノ爲何部隊（何々）ニ召集中〕

〔一大正何年何月何日午前何時何艦船ニ乘組ミ何港出帆何地ヘ航海大正何年何月何日午前何時何港歸著〕

投票錄樣式

執行　大正何年何月何日　何府縣（北海道）何郡（市）何町（村）衆議院議員投票所投票錄

一　投票所ハ何市役所何町（村）役場（何ノ場所）ニ之ヲ設ケタリ

二　左ノ投票立會人ハ何レモ投票所ヲ開クヘキ時刻迄ニ投票所ニ參會シタリ

住居　氏　名

住居　氏　名

住居　氏　名

投票所ヲ開クヘキ時刻ニ至リ投票立會人中參會スル者三人ニ達セサルニ依リ投票管理者ハ臨時ニ投票區內ニ於ケル選擧人名簿ニ記載セラレタル者ノ中ヨリ左ノ者ヲ投票立會人ニ選任シタリ

住居　氏　名

三　投票所ハ大正何年何月何日午前七時ニ之ヲ開キタリ

四　投票立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前後何時何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタル爲其ノ數三人ニ達セサルニ至リタルニ依リ投票管理者ハ臨時ニ投票區內ニ於ケル選擧人名簿ニ記載セラレタル者ノ中ヨリ午前後何時左ノ者ヲ投票立會人ニ選任シタリ

住居　氏　名

五　投票管理者ハ投票立會人ト共ニ投票ニ先チ投票所ニ參會シタル選擧人ノ面前ニ於テ投票函ヲ開キ其ノ空虛ナルコトヲ示シタル後內蓋ヲ鎖シ投票管理者及投票立會人ノ列席スル面前ニ之ヲ置キタリ

六　投票管理者及投票立會人ノ面前ニ於テ選擧人ヲ選擧人名簿ニ對照シタル後（到著番號札ト引換ニ）投票用紙ヲ交付シタリ

七　選擧人ハ自ラ投票ヲ認メ之ヲ投票函ニ投入シタリ

八　投票管理者ハ左ノ選擧人ノ本人ナリヤ否ヤヲ確認スルコト能ハサリシヲ以テ投票立會人ノ面前ニ於テ其ノ本人ナル旨ヲ宣言セシメ投票所ノ事務ニ從事スル職氏名ヲシテ之ヲ筆記セシメ之ヲ選擧人ニ讀聞カセ選擧人ヲシテ之ニ署名セシメタリ

住居　氏　名

投票管理者ハ左ノ選擧人ノ本人ナリヤ否ヤヲ確認スルコト能ハサリシヲ以テ投票立會人ノ面前ニ於テ其ノ本人ナル旨ノ宣言ヲ命シタルモ其ノ宣言ヲ爲ササルニ依リ本人ニ非スト認メテ之ヲ投票所外ニ退出セシメタリ

住居　氏　名

九　左ノ選舉人ハ選舉人名簿ニ登錄ナキモ之ニ登錄セラルヘキ確定判決書ヲ所持シ投票所ニ到リタルニ依リ投票管理者ハ之ヲシテ投票ヲ爲サシメタリ

住居　氏　　名

十　左ノ選舉人ハ衆議院議員選舉法第二十三條ノ投票ノ爲交付ヲ受ケタル投票用紙及投票用封筒ヲ返還シタルニ依リ投票管理者ハ之ヲシテ投票ヲ爲サシメタリ

住居　氏　　名

十一　左ノ選舉人ハ點字ニ依リ投票ヲ爲サムトスル旨ヲ申立タルヲ以テ投票管理者ハ投票用紙ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シテ交付シ投票ヲ爲サシメタリ

住居　氏　　名

十二　左ノ選舉人ハ何々ノ事由ニ因リ投票管理者ニ於テ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票ヲ拒否シタリ

住居　氏　　名

左ノ選舉人ハ何々ノ事由ニ因リ投票管理者ニ於テ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票ヲ拒否スヘキ旨決定シタルモ同選舉人ニ於テ不服ヲ申立テタルヲ以テ（投票立會人氏名ニ於テ異議アリシヲ以テ）假ニ投票ヲ爲サシメタリ

住居　氏　　名

十三　左ノ選舉人ハ何々ノ事由ニ因リ投票管理者ニ於テ投票立會人ノ意見ヲ聽キ點字投票ヲ拒否シタリ

住居　氏　　名

左ノ選舉人ハ何々ノ事由ニ因リ投票管理者ニ於テ投票立會人ノ意見ヲ聽キ點字投票ヲ拒否スヘキ旨決定シタルモ同選舉人ニ於テ不服ヲ申立テタルヲ以テ（投票立會人氏名ニ於テ異議アリシヲ以テ）假ニ點字投票ヲ爲サシメタリ

住居　氏　　名

十四　左ノ選舉人ハ誤リテ投票用紙（封筒）ヲ汚損シタル旨ヲ以テ更ニ之ヲ請求シタルニ依リ其ノ相違ナキヲ認メ之ト引換ニ投票用紙（封筒）ヲ交付シタリ

住居　氏　　名

十五　左ノ選舉人ハ投票所ニ於テ演說討論ヲ爲シ（喧騷ニ渉リ）（投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ）（何々ニ因リ）投票所ノ秩序ヲ紊リタルニ依リ投票管理者ニ於テ之ヲ制止シタルモ其ノ命ニ從ハサルヲ以テ投票用紙（到著番號札）ヲ返付セシメ之ヲ投票所外ニ退出セシメタリ

住居　氏　　名

十六　投票管理者ハ投票所外ニ退出ヲ命シタル左ノ選舉人ニ對シ投票所ノ秩序ヲ紊ルノ虞ナシト認メ投票ヲ爲サシメタリ

住居　氏　　名

投票管理者ニ於テ投票所外ニ退出ヲ命シタル左ノ選舉人ハ最後ニ入場シテ投票ヲ爲シタリ

住居　氏　　名

十七　午後六時ニ至リ投票管理者ハ投票所ヲ閉ツヘキ時刻ニ至リタル旨ヲ告ケ投票所ノ入口ヲ鎖シタリ

十八　投票所閉鎖ノ時刻迄ニ投票管理者ノ受ケタル衆議院議員選舉法第三十三條ノ投票左ノ如シ

投票管理者自ラ特別投票管理者トシテ受ケタルモノ　何　票

他ノ特別投票管理者ヨリ送致ヲ受ケタルモノ　何　票

衆議院議員選舉法施行令第三十二條第四項ノ規定ニ依リ送致ヲ受ケタルモノ　何　票

計　何　票

投票管理者ハ投票網閉鎖前投票立會人ノ意見ヲ聽キ前記ノ投票ノ受理如何ヲ決定シ更ニ投票用封筒ヲ開披シテ點字投票ニ付其ノ拒否ヲ決定シタリ

投票ヲ受理スヘシト決定シ且點字投票ノ拒否ノ決定ヲ受ケサル何票ハ之ヲ直ニ投函シタリ

左ノ何人ノ投票ハ受理スヘカラスト決定シ又ハ點字投票ノ拒否ノ決定ヲ受ケタルヲ以テ各其ノ投票用封筒ニ入レ假ニ封緘ヲ施シ其ノ表面ニ不受理ノ決定アリタル旨ヲ記載シテ之ヲ投函シタリ

住居　氏名

點字投票ノ拒否ノ決定ヲ受ケタルモノ

住居　氏名

十九　午後何時投票所ニ在ル選擧人ノ投票結了シタルヲ以テ投票管理者ハ投票立會人ト共ニ投票函ノ內蓋ノ投票口及外蓋ヲ鎖シタリ

二十　投票函ヲ閉鎖シタルニ依リ其ノ內蓋ノ鑰ハ投票函ヲ送致スヘキ左ノ投票立會人之ヲ保管シ外蓋ノ鑰ハ投票管理者之ヲ保管ス

職氏名

二十一　投票函、投票錄及選擧人名簿ヲ開票管理者ニ送致スヘキ投票立會人左ノ如シ

氏名

職氏名

職氏名

二十二　左ノ何人ハ投票所ノ事務ニ從事シタリ

官職氏名

二十三　投票所ニ臨監シタル官吏左ノ如シ

何人

二十四　選擧人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數

何人

二十五　投票ヲ爲シタル選擧人ノ總數

何人

內

選擧人名簿ニ記載セラレタル選擧人ニシテ投票ヲ爲シタル者　何人

內

衆議院議員選擧法第三十三條ノ投票ヲ爲シタル者　何人

確定判決書ニ依リ投票ヲ爲シタル者　何人

投票拒否ノ決定ヲ受ケタル者ノ總數　何人

內

假ニ投票ヲ爲サシメタル者　何人

內

衆議院議員選擧法第三十三條ノ投票中受理スヘカラスト決定セラレタル投票ヲ爲シタル者　何人

投票管理者ハ此ノ投票錄ヲ作リ之ヲ朗讀シタル上投票立會人ト共ニ茲ニ署名ス

投票管理者　職氏名

投票立會人　氏名

氏名

氏名

備考

樣式ニ掲クル事項ノ外投票管理者ニ於テ投票ニ關シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ

衆議院議員選擧法施行令第三十三條ノ類末書樣式

何府縣（北海道）何郡（市）何町（村）衆議院議員投票區衆議院議員選擧法施行令第三十三條ノ類末書

一　左ノ選擧人ハ衆議院議員選擧法施行令第二十六條乃至第二十八條ノ規定ニ依リ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ請求シタルニ依リ該當事項アリト認メテ之ヲ交付シタリ

請　求　大正何年何月何日　　住居　氏　名

事　由　何丸船内從業中（何鐵道何線鐵道列車乘務中ノ（何々）

證明書　官職氏名ノ證明書

交　附　大正何年何月何日　　住居　氏　名

請　求　大正何年何月何日　　住居　氏　名

事　由　演習召集中

證明書　召集令狀ヲ提示シ證明書ノ提出ニ代フ

交　付　大正何年何月何日　　住居　氏　名

請　求　大正何年何月何日　　住居　氏　名

事　由　何丸船内從業中

證明書　何々ノ事由ニ因リ證明書ヲ提出スルコト能ハサル旨ヲ疎明ス

交　付　大正何年何月何日　　何　人

二　左ノ選擧人ハ點字ニ依リ投票ヲ爲サムトスル旨ヲ申立テタルヲ以テ投票用紙ニ點字投票ナル旨ノ印ヲ押捺シテ交付又ハ發送シタリ

計

三　左ノ選擧人ハ投票用紙及投票用封筒ノ交付ヲ請求シタルモ之ヲ拒絶シタリ

請　求　大正何年何月何日　　住居　氏　名

事　由　何鐵道何線鐵道列車乘務中　　住居　氏　名

證明書　提出セス

拒　絶　大正何年何月何日　　住居　氏　名

拒絶事由　正當ノ事由ナク證明書ヲ提出セス

請　求　大正何年何月何日　　住居　氏　名

事　由　何々

證明書　官職氏名ノ證明書

拒　絶　大正何年何月何日

拒絶事由　選擧人名簿ニ登錄セラレス

（何々）

計

四　投票管理者ニ於テ自ラ特別投票管理者トシテ受ケタル投票左ノ如シ　　何　人

大正何年何月何日受

大正何年何月何日受

計

五　投票管理者ニ於テ投票所ヲ閉ツヘキ時刻迄ニ送致ヲ受ケタル投票左ノ如シ

特別投票管理者何府縣（北海道）何郡（市）何町（村）投票管理者送致
大正何年何月何日受

特別投票管理者何丸船長送致
大正何年何月何日受

何府縣（北海道）何郡（市）何町（村）投票管理者送致
大正何年何月何日受

計

六　左ノ選擧人ハ交付ヲ受ケタル投票用紙及投票用封筒ヲ返還シタリ

大正何年何月何日返還

住居氏名
住居氏名
何票
住居氏名
住居氏名
何票
住居氏名
住居氏名
何票

大正何年何月何日返還

計

投票管理者ハ此ノ顚末書ヲ作リ玆ニ署名ス

大正何年何月何日

何人

投票管理者
職氏名

備考

樣式ニ揭クル事項ノ外投票管理者ニ於テ衆議院議員選擧法第三十三條ノ投票ニ關シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ

開票錄樣式

大正何年何月何日執行

一　開票所ハ何府縣（北海道）何郡（市）衆議院議員開票所開票錄

二　開票所ハ何市役所（何ノ場所）ニ之ヲ設ケタリ

左ノ開票立會人ハ何レモ開票所ヲ開クヘキ時刻迄ニ開票所ニ參會シタリ

住居氏名
住居氏名

開票所ヲ開クヘキ時刻ニ至リ開票立會人中參會スル者三人ニ達セサルニ依リ開票管理者ハ臨時ニ開票區內ニ於ケル選擧人名簿ニ記載セラレタル者ノ中ヨリ左ノ者ヲ開票立會人ニ選任シタリ

住居氏名

三　大正何年何月何日開票管理者ハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタルヲ以テ其ノ翌何日午前後何時ニ開票所ヲ開キタリ

四　開票立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前後何時何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタル爲其ノ數三人ニ達セサルニ至リ

タルニ依リ開票管理者ハ臨時ニ開票區内ニ於ケル選擧人名簿ニ記載セラレタル者ノ中ヨリ午前後何時左ノ者ヲ開票立會人ニ選任シタリ

住居　氏　名

五　開票管理者ハ開票立會人立會ノ上逐次投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算シタルニ左ノ如シ

投票總數　何　票
投票人總數　何　人
外
假ニ爲シタル投票數　何　票
假ニ爲シタル投票人數　何　人
右投票區別内譯左ノ如シ
何町(村)投票區(何市何々投票區)
投票數　何　票
投票人數　何　人
外
假ニ爲シタル投票數　何　票
假ニ爲シタル投票人數　何　人
〔投票數ト投票人數ト符合セス即チ投票數ハ投票人數ニ比シ何票多シ(少シ)(其ノ理由ノ明カナルモノハ之ヲ記載スヘシ)〕
何町(村)投票區(何市何々投票區)

六　投票管理者ヨリ拒否ノ決定ヲ受ケタル者ニシテ假ニ投票ヲ爲シタル者左ノ如シ

住居　氏　名
住居　氏　名
住居　氏　名

開票管理者ハ右ノ投票ヲ調査シ開票立會人ノ意見ヲ聽キ左ノ通之ヲ決定セリ

住居　氏　名
住居　氏　名

一　事由何々
　受理セシモノ
一　事由何々
　受理セサリシモノ

住居　氏　名

七　開票管理者ハ投票區毎ニ假ニ爲シタル投票ニシテ受理スヘキモノト決定シタル投票ノ封筒ヲ開披シタル上總テノ投票ヲ混同シ開票立會人ト共ニ之ヲ點檢シタリ

八　開票事務ニ從事スル官職氏名及官職氏名ノ二人ハ各別ニ同一議員候補者ノ得票數ヲ計算シタリ

九　開票管理者ニ於テ開票立會人ノ意見ヲ聽キ有效又ハ無效ト決定シタル投票左ノ如シ

一　有效ト決定シタルモノ　何　票
一　無效ト決定シタルモノ　何　票

内

一　成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ　何　票
二　議員候補者ニ非サル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ　何　票
三　何　票

總計
有投票區別內譯左ノ如シ
何町(村)投票區(何市何々投票區)
一　有效ト決定シタルモノ
一　無效ト決定シタルモノ
內
一　成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ
二　議員候補者ニ非ザル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
三　、、、、、、、、、、
計
何町(村)投票區(何市何々投票區)
一　、、、、、、、、、
一　、、、、、、、、、
十　午前何時投票ノ點檢ヲ終リタルヲ以テ開票管理者ハ開票區毎ニ各議員候補者ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ其ノ得票總數ヲ朗讀シタリ
十一　各議員候補者ノ得票數左ノ如シ

何　票

內

何町(村)投票區(區何市何々投票區)
何町(村)投票區(何市何々投票區)

氏　名　何　票
氏　名　何　票
氏　名　何　票

何　票

內

何町(村)投票區(何市何々投票區)
何町(村)投票區(何市何々投票區)

十二　開票管理者ハ投票區毎ニ點檢濟ニ係ル投票ノ有效無效及受理スヘカラスト決定シタル投票ヲ大別シ尙有效ノ決定アリタル投票ニ在リテハ之ヲ類別シ各之ヲ一括シ更ニ有效無效及受理スヘカラスト決定シタル投票別ニ之ヲ封筒ニ入レ開票立會人ト共ニ封印ヲ施シタリ

十三　午前何時開票ノ事務ヲ結了ス

十四　左ノ何人ハ開票所ノ事務ニ從事シタリ

官職　氏　名
官職　氏　名
官職　氏　名

十五　開票所ニ臨監シタル官吏左ノ如シ

開票管理者
官職　氏　名
開票立會人
氏　名
氏　名

開票管理者ハ此ノ開票錄ヲ作リ之ヲ朗讀シタル上開票立會人ト共ニ玆ニ署名ス

大正何年何月何日

備考

樣式ニ揭クル事項ノ外開票管理者ニ於テ開票ニ關シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ

選擧錄樣式ノ一

大正何年何月何日　會何府縣（北海道）衆議院議員選擧會選擧錄

開

一　選擧會場ハ何府衆廳何市役所（何ノ場所）ニ之ヲ設ケタリ

二　左ノ選擧立會人ハ何レモ選擧會ヲ開クヘキ時刻迄ニ選擧會ニ參會シタリ

住居　氏　名

住居　氏　名

選擧會ヲ開クヘキ時刻ニ至リ選擧立會人中參會スル者三人ニ達セサルニ依リ選擧長ハ臨時ニ選擧區內ニ於ケル選擧人名簿ニ記載セラレタル者ノ中ヨリ左ノ者ヲ選擧立會人ニ選任シタリ

住居　氏　名

三　大正何年何月何日選擧長ハ總テノ開票管理者ヨリ報告ヲ受ケタルヲ以テ其ノ當日（翌何日）午前後何時ニ選擧會ヲ開キタリ

四　選擧立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前後何時何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタル爲其ノ數三人ニ達セサルニ至リタルニ依リ選擧長ハ臨時ニ選擧區內ニ於ケル選擧人名簿ニ記載セラレタル者ノ中ヨリ午前後何時左ノ者ヲ選擧立會人ニ選任シタリ

住居　氏　名

五　選擧長ハ選擧立會人立會ノ上逐次開票管理者ノ報告ヲ調査シ開票區毎ニ議員候補者ノ氏名及其ノ得票數ヲ朗讀シ終リニ各議員候補者ノ得票總數ヲ朗讀シタリ

六　各議員候補者ノ得票數左ノ如シ

何　票　　氏　名

何　票　　氏　名

何　票　　氏　名

七　議員定數何人ヲ以テ有效投票ノ總數何票ヲ除シテ得タル數ハ何票ニシテ此ノ四分ノ一ノ數ハ何票ナリ

議員候補者中其ノ得票數此ノ數ニ達スル者左ノ如シ

何　票　　氏　名

何　票　　氏　名

右ノ內有效投票ノ最多數ヲ得タル左ノ何人ヲ以テ當選人トス

但シ氏名及氏名ハ得票ノ數相同シキニ依リ其ノ年齡ヲ調査スルニ氏名ハ何年何月何日生、氏名ハ何年何月何日生ニシテ氏名年長者ナルヲ以テ氏名ヲ以テ當選人ト定メタリ（同年月日ナルヲ以テ選擧長ニ於テ抽籤シタルニ氏名當選セリ依テ氏名ヲ以テ當選人ト定メタリ）

八　議員定數何人ヲ以テ有效投票ノ總數何票ヲ除シテ得タル數ハ何票ニシテ此ノ十分ノ一ノ數ハ何票ナリ

議員候補者中其ノ得票數此ノ數ニ達セサル者左ノ如シ

何　票　　氏　名

何　票　　氏　名

九　午前後何時選擧會ノ事務ヲ結了ス

十　左ノ何人ハ選擧會ノ事務ニ從事シタリ

官職　氏　名

十一　選擧會ニ臨監シタル官吏左ノ如シ

選擧長ハ此ノ選擧錄ヲ作リ之ヲ朗讀シタル上選擧立會人ト共ニ玆ニ署名ス

大正何年何月何日

選擧長　官職氏名

選擧立會人　官職氏名

氏名

氏名

氏名

備考

樣式ニ揭クル事項ノ外選擧長ニ於テ選擧會ニ關シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ

選擧錄樣式ノ二

大正何年何月何日　何府縣（北海道ニ在リテハ第何區ノ衆議院議員選擧會選擧錄

開會　何府縣廳何市役所（何ノ場所）ニ之ヲ設ケタリ

一　選擧會場ハ何府縣廳何市役所（何ノ場所）ニ之ヲ設ケタリ

二　左ノ選擧立會人ハ何レモ選擧會ヲ開クヘキ時刻迄ニ選擧會ニ參會シタリ

住居　氏名

住居　氏名

住居　氏名

選擧會ヲ開クヘキ時刻ニ至リ選擧立會人中參會スル者三人ニ達セサルニ依リ選擧長ハ臨時ニ選擧區内ニ於ケル選擧人名簿ニ記載セラレタル者ノ中ヨリ左ノ者ヲ選擧立會人ニ選任シタリ

住居　氏名

一　屆出アリタル議員候補者ノ數何人ニシテ選擧スヘキ議員ノ數何人ヲ超エサル爲投票ヲ行ハサルコト大正何年何月何日確定シタルヲ以テ大正何年何月何日午前何時後何時ニ選擧會ヲ開キタリ

四　選擧立會人中氏名ハ一旦參會シタルモ午前何時何々ノ事故ヲ以テ其ノ職ヲ辭シタル爲其ノ數三人ニ達セサルニ至リタルニ依リ選擧長ハ臨時ニ選擧區内ニ於ケル選擧人名簿ニ記載セラレタル者ノ中ヨリ午前後何時左ノ者ヲ選擧立會人ニ選任シタリ

住居　氏名

五　屆出アリタル議員候補者ノ氏名左ノ如シ

住居　氏名

六　選擧長ハ選擧立會人ノ意見ヲ聽キ議員候補者ノ被選擧權ノ有無ヲ決定シタル者

有リト決シタル者

住居　氏名

無シト決定シタル者

住居　氏名

一　事由何々

七　選擧スヘキ議員ノ數何人ニシテ被選擧權有リト決定シタル議員候補者ノ數何人ナリ依テ左ノ何人ヲ以テ當選人ト定ム

住居　氏名

八　午前何時選擧會ノ事務ヲ結了ス
九　左ノ何人ハ選擧會ノ事務ニ從事シタリ

	氏	名
官職	氏	名
官職	氏	名
官職	氏	名

十　選擧會ニ臨監シタル官吏左ノ如シ

選擧長		
官職	氏	名
選擧立會人		
	氏	名
	氏	名
	氏	名

選擧長ハ此ノ選擧錄ヲ作リ之ヲ朗讀シタル上選擧立會人ト共ニ茲ニ署名ス

大正何年何月何日

備考
樣式ニ揭クル事項ノ外選擧長ニ於テ選擧書ニ關シ緊要ト認ムル事項アルトキハ之ヲ記載スヘシ

當選證書樣式（用紙鳥ノ子四ツ切）

衆議院議員當選證書

住居
氏名

右何府縣（北海道）（第何區）ニ於テ衆議院議員ニ當選シタルコトヲ證ス

大正何年何月何日

地方長官　氏　名印

選擧運動ノ費用ノ精算届書樣式

選擧運動費用精算届

（何府縣（北海道）（第何區）

一　前記議員候補者ノ大正何年何月何日執行衆議院議員選擧（衆議院議員選擧再投票）ニ於ケル選擧運動ノ費用精算ノ結果左記ノ通相違無之依テ衆議院議員選擧法第百六條ニ依リ届出候也

大正何年何月何日

議員候補者　氏　名

選擧事務長　氏　名　印

記

一支出總額　金何圓何錢
（一）選擧事務長ノ支出シタル額　金何圓何錢
（二）選擧事務長ノ承諾ヲ得テ支出シタル額　金何圓何錢

地方長官（警視總監）宛

內

議員候補者ノ支出シタル額　金何圓何錢

選擧委員ノ支出シタル額　金何圓何錢

選擧事務員ノ支出シタル額　金何圓何錢

(三)議員候補者、選擧事務長、選擧委員又ハ選擧事務員ニ非サル者ノ支出シタル額

內

議員候補者ト意思ヲ通シテ支出シタル額　金何圓何錢

選擧事務長ト意思ヲ通シテ支出シタル額　金何圓何錢

(四)立候補準備ノ爲ニ支出シタル額　金何圓何錢

一支出明細

(一)報酬

選擧事務員

何某ヘ　金何圓何錢

何某ヘ　金何圓何錢

傭人

何某ヘ　金何圓何錢

何某ヘ　金何圓何錢

(二)家屋費

選擧事務所

何選擧事務所　金何圓何錢

何選擧事務所

集會會場

何集會會場　金何圓何錢

何集會會場　金何圓何錢

(三)通信費

郵便料　金何圓何錢

電報料　金何圓何錢

電話料　金何圓何錢

其ノ他　金何圓何錢

(四)船車馬費

汽車賃　金何圓何錢

電車賃　金何圓何錢

自動車賃　金何圓何錢

馬車賃　金何圓何錢

人力車賃　金何圓何錢

船賃　金何圓何錢

其ノ他　金何圓何錢

(五)印刷費　金何圓何錢

(六)廣告費　金何圓何錢

(七)筆墨紙費　金何圓何錢

(八)休泊費　金何圓何錢
(九)飲食物費　金何圓何錢
(十)雜費　金何圓何錢
計　金何圓何錢

一實費辨償
(一)選擧事務長　何某へ　金何圓何錢
(二)選擧委員　何某へ　金何圓何錢
何某へ　金何圓何錢
(三)選擧事務員　何某へ　金何圓何錢
何某へ　金何圓何錢
(四)傭人　何某へ　金何圓何錢
何某へ　金何圓何錢

備考
一　衆議院議員選擧法第三十七條ノ規定ニ依リ投票ヲ行フ場合ニ於テハ別ニ清算届書ヲ作成スヘシ
二　清算ノ届出ハ最後ニ選擧事務長ノ職ニ在リタル者ヨリ之ヲ爲スヘシ
三　實費辨償ノ項ニハ支出明細ノ項ニ記載シタルモノノ中實費辨償ニ係ルモノヲ重ネテ記載スヘシ

●衆議院議員選擧法取扱心得

（昭和二年二月二十一日　岐阜縣訓令乙第一號）

第一條　本規定ニ於テ法ト稱スルハ衆議院議員選擧法、施行令ト稱スルハ同法施行令、規則ト稱スルハ同法施行規則ヲ謂フ

第二條　選擧長トノ連絡ヲ密ニシ議員候補者ノ届出又ハ其ノ推薦ノ届出アリタルトキハ別紙第一號樣式ニ依リ速ニ警察部長ニ報告スルト共ニ當該選擧區内各警察署長ニ通報スヘシ
議員候補者タルコトヲ辭スル届出アリタルトキ又ハ議員候補者死亡シタルトキハ前項ニ準シ取扱フヘシ

第三條　選擧事務長選任ノ届出アリタルトキハ施行令第五十三條ノ事項ヲ具備スルヤ否ヤヲ調査シ別紙第二號樣式ニ依リ速ニ警察部長ニ報告スルト共ニ當該選擧區内各警察署長ニ通報スヘシ

第四條　選擧委員選擧事務員選任ノ届出ヲ受ケタルトキハ施行令第五十四條ノ事項ヲ具備スルヤ否ヤヲ調査シ別紙第三號樣式ニ依リ速ニ警察部長ニ報告スルト共ニ當該選擧區内各警察署長ニ通報スヘシ

第五條　選擧事務所設置ノ届出アリタルトキハ施行令第五十五條ノ事項ヲ具備スルヤ否ヤヲ調査シ第四號樣式ニ依リ速ニ警察部長ニ報告スルト共ニ當該選擧區内各警察署長ニ通報スヘシ

第六條　選擧事務長、選擧委員、選擧事務員又ハ選擧事務所異動ノ届出アリタルトキハ施行令第五十六條ノ事項ヲ具備スルヤ否ヤヲ調査シ前三條ニ準シ取扱フヘシ

第七條　選擧事務長職務代行ノ届出アリタルトキハ施行令第五十七條ノ事項ヲ具備スルヤ否ヤヲ調査シ第五號樣式ニ依リ速ニ警察部長ニ報告スルト共ニ當該選擧區内各警察署長ニ通報スヘシ
職務代行ヲ止メタル届出アリタルトキハ施行令第五十七條第二項ノ事項ヲ具備スルヤ否ヤヲ調査シ前項ニ準シ取扱フヘシ

第八條　選擧事務長、選擧委員、選擧事務員選任届出ニ添付スヘキ有權者タルコトヲ證スヘキ書面ハ可成本人居住地ノ市町村長（之ニ準スヘキ者ヲ含ム）ノ參給又ハ奥書證印ニ係ルモノヲ以テセシムヘシ

但支廳長、警察署長等ノ發給ニ係ルモノ若ハ證明請求書面ニ當該支廳長警察署長ノ奥書證印ヲ爲シタルモノ又ハ選擧人名簿ニ登錄セラルヘキ確定判決書ノ謄本若ハ抄本等公ノ證明カアルモノヲ添付シタル場合ハ之ヲ容認受理スヘシ

第九條　選擧事務長、選擧委員選擧事務員選擧事務所設置其他各種届書等ハ可成別冊書式ニ據ラシムヘシ但當該樣式ニ據ラサルモ法定ノ事項ヲ具備スルモノハ之ヲ受理スヘシ

前項諸届書等ハ所定ノ事項竝形式ヲ完備セシムヘキハ勿論ナルモ止ムヲ得サル事情アリト認メラルルモノニ付テハ多少不備ノ点アルモ之カ爲受理ヲ拒否スルコトナク受理後ニ審査ヲ爲シ追究ヲ認ムルコトシ一應之ヲ受理スル等適切ナル取扱ヲ爲スヘシ

第十條　第三條第四條第六條ニ依リ通報ヲ受ケタル警察署長ハ所轄内ニ住居ヲ有スル選擧事務長、選擧委員、選擧事務員ニシテ法第九十九條第一項又ハ第二項ニ抵觸スルモノナルトキハ第十一條ニ依リ速ニ報告スヘシ

第十一條　左記各號ノ一ニ該當スル事實アルトキハ其ノ要領ヲ電話其ノ他適當ノ方法ニ依リ警察部長ニ即報スヘシ

一　選擧事務長選擧權ヲ有セス又ハ法第九十九條第二項ニ依リ選擧運動ヲ爲スコトヲ得サルモノト認メタルトキ

二　選擧事務長ニ非サル者選擧事務所ヲ設置セリト認メタルトキ

三　法第九十條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル定數ヲ超エテ選擧事務所ノ設置アリト認メタルトキ

四　法第九十三條ノ規定ニ依ル定數ヲ超エテ選擧委員又ハ選擧事務員ノ選任アリト認メタルトキ

五　選擧委員又ハ選擧事務員選擧權ヲ有セス又ハ法第九十　條第二項ノ規定ニ依リ選擧運動ヲ爲スコトヲ得サルモノト認メタルトキ

第十二條　左記事項ハ各所定ノ取扱ヲ爲スト同時ニ電話其ノ他適當ノ方法ニ依リ警察部長竝當該選擧區内各警察署長ニ即報スヘシ

一　議員候補ノ届出アリタルトキ

二　議員候補者辭退届又ハ死亡シタルトキ

三　選擧事務長選任又ハ異動ノ届出アリタルトキ

四　選擧事務長職務代行ヲ開始シ又ハ之ヲ止メタル届出アリタルトキ

五　選擧事務所ノ設置移轉又ハ廢止ノ届出アリタルトキ

六　選擧委員ニシテ特ニ重要人物ト認ムルモノノ選任又ハ辭任、解任ノ届出アリタルトキ

第十三條　法第九十四條ニ依リ知事ニ於テ選擧事務長ノ解任又ハ退任選擧事務所ノ閉鎖若ハ選擧委員、選擧事務員ノ解任命令ノ通知アリタルトキハ豫メ送付ヲ受ケタル別紙第六號乃至第九號樣式ノ命令書用紙ニ必要事項ヲ記入ノ上直ニ之ヲ交付シ受書ヲ徵シタル上之ヲ速ニ警察部長ニ進達スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ命令書寫ニ交付年月日時ヲ記載シテ之ヲ保存シ一面當該選擧區内各警察署長ニ速報スヘシ

第十四條　各警察署長ニ於テ選擧運動ノ爲使用スル立札、看板類設置ノ願出アリタルトキハ廣告物取締法施行規則ニ依リ之ヲ取扱ヒタル後別紙第十號樣式ニ依リ速ニ當該選擧區内各警察署長ニ通報スヘシ

第十五條　選擧運動費精算届出アリタルトキハ施行規則第十二條ノ樣式ヲ具備スルヤ否ヤ及計算ニ誤リナキヤ否ヤヲ審査シ速ニ警察部長ニ進達スヘシ

第一樣式

議員候補者報告（通報）

議員候補者住居職業氏名生年月日	
職業	
標傍セル黨派等	
届出年月日	
届出者	
備考	

昭和　年　月　日

何警察署

注意

一　職業ハ具體的ニ記載スルコト

二　推薦届出者數人アル場合ハ代表者以外ノ推薦者ハ其ノ住居氏名ヲ備考欄ニ記載スルコト

第二樣式

選擧事務長報告（通報）

選擧事務長住居職業氏名生年月日	
職業	
候補者名	
届出年月日	
届出者	
備考	

昭和　年　月　日

何警察署

注意

一　職業ハ具體的ニ記載スルコト

二　届出者推薦人ナルトキハ推薦人住居氏名及議員候補者ノ承諾ヲ得タルモノナリヤ否ヲ備考欄ニ記入スルコト

三　解任、辭任、等ノ場合ハ樣式ニ據ラス適宜其ノ事由年月日氏名等ヲ記載報告及通報スルコト

第三樣式

選擧委員事務員報告（通報）

昭和　年　月　日

何警察署

候補者氏名	委員事務員ノ別	選任年月日	住居	職業	氏名 生年月日

一　本報告ハ各候補者別ニスルコト

一　解任辭任等ノ場合ハ樣式ニ據ラス適宜其ノ事由、年月日竝ニ氏名等ヲ記載報告及通報スルコト

第四樣式

選擧事務所報告（通報）

一　事務所ノ位置

一　候補者ノ氏名

一　設置年月日

一　届出者

昭和　年　月　日

何警察署

注意

一　移轉、廢止等ノ場合ハ其ノ事由竝必要事項ヲ適宜記載ノコト

二　事務所位置ノ項ニハ事務所ニ使用スル家屋ニ於ケル業態ヲ記載スルコト

第五樣式

選擧事務長事務代行報告（通報）

一　議員候補者名竝選擧事務長名

一　事障ノ事實

一　代行者及代行ヲ始メタル年月日

一　届出者及届出年月日

昭和　年　月　日

何警察署

第六號樣式

岐阜縣達第　號

命　令　書

岐阜縣第何選擧區

衆議院議員候補者　何　某

（衆議院議員候補者何某推薦者何某外何名）

衆議院議員選擧法第九十四條ニ依リ選擧事務長何某ノ解任（退任）ヲ命ス

（候補者又ハ推薦者自ラ選擧事務長ヲ兼ヌル場合ハ退任）

昭和　年　月　日

岐阜縣知事　名　印

受　書

岐阜縣第何選擧區

衆議院議員候補者　何　某

（衆議院議員候補者何某推薦者何某外何名）

衆議院議員選擧法第九十四條ニ依リ選擧事務長何某ノ解任（退任）ヲ命ス

前記ノ命令書受領候也

昭和　年　月　日　時

岐阜縣知事名殿

右　何　某　印

第七號樣式

岐阜縣達第　號

命　令　書

岐阜縣第何選擧區

衆議院議員候補者何某選擧事務長　何　某

衆議院議員選擧法第九十四條ニ依リ選擧（委員）（事務員）何郡市町村何某ノ解任ヲ命ス

昭和　年　月　日

岐阜縣知事　名　印

受　書

岐阜縣第何選擧區

衆議院議員候補者何某選擧事務長　何　某

衆議院議員選擧法第九十四條ニ依リ選擧（委員）（事務員）何郡市町村何某ノ解任ヲ命ス

前記ノ命令書受領候也

昭和　年　月　日　時

岐阜縣知事名殿

右　何　某　印

第八號樣式

岐阜縣達第　號

命　令　書

岐阜縣第（何）選擧區

衆議院議員候補者（何某）選擧事務長　何　某

衆議院議員選擧法第九十四條ニ依リ（何郡市町村字何番地何某方ニ）設置セル選擧事務所ノ閉鎖ヲ命ス

昭和　年　月　日

岐阜縣知事名　印

受　書

岐阜縣第　何　選擧區

衆議院議員候補者（何某）選擧事務長　何　某

衆議院議員選擧法第九十四條ニ依リ（何郡市町村字何番地何某方ニ）設置セル選擧事務所ノ閉鎖ヲ命ス

前記ノ命令書受領候也

昭和　年　月　日

岐阜縣知事名殿

右　何　某　㊞

第九號樣式

岐阜縣達第　號

命　令　書

衆議院議員選擧法第九十四條ニ依リ（何郡市町村字何番地何某方）ニ設置セル選擧事務所ノ閉鎖ヲ命ス

昭和　年　月　日

岐阜縣何郡（市）何村（町）

何　某

岐阜縣知事名　印

受　書

衆議院議員選擧法第九十四條ニ依リ（何郡市町村字何番地何某方）ニ設置セル選擧事務所ノ閉鎖ヲ命ス

前記ノ命令書受領候也

昭和　年　月　日　時

岐阜縣何郡（市）村（町）

何　某

岐阜縣知事名殿

右　何　某　㊞

第十號樣式

立札看板設置報告（通報）

候補者氏名	設置區域	箇數	届出月日	届出者

年　月　日

何警察署長

備考

一　設置區域ハ可成各警察署管轄區域毎ニセシムルコト

●選擧運動ノ爲ニスル文書圖畫ニ關スル件

（大正十五年二月三日　内務省令第五號）

第一條　選擧運動ノ爲文書圖畫（信書ヲ除ク以下之ニ同シ）ヲ頒布シ又ハ掲示スル者ハ表面ニ其ノ氏名及住居ヲ記載スヘシ

但シ名刺及選擧事務所ニ掲示スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二條　選擧運動ノ爲頒布シ又ハ掲示スル引札、張札ノ類ハ二度刷又ハ二色以下トシ長三尺一寸幅二尺一寸ヲ超ユルコトヲ得ス

選擧運動ノ爲使用スル名刺ノ用紙ハ白色ノモノニ限ル

第三條　選擧運動ノ爲使用スル立札、看板ノ類ハ議員候補者一人ニ付通シテ百箇以内トシ白色ニ黑色ヲ用ヒタルモノニ限リ且縱九尺横二尺ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條　選擧運動ノ爲使用スル立札、看板ノ類ハ選擧事務所ヲ設ケタル場所ノ入口ヨリ一町以内ノ區域ニ於テハ選擧事務所一箇所ニ付通シテ二箇ヲ超ユルコトヲ得ス

第五條　選擧運動ノ爲ニスル文書圖畫ハ選擧ノ當日ニ限リ投票所ヲ設ケタル場所ノ入口ヨリ三町以内ノ區域ニ於テ之ヲ頒布シ又ハ掲示スルコトヲ得ス

第六條　選擧運動ノ爲ニスル文書圖畫ハ航空機ニ依リ之ヲ頒布スルコトヲ得ス

第七條　選擧運動ノ爲ニスル張札、立札、看板ノ類ハ承諾ヲ得スシテ他人ノ土地又ハ工作物ニ之ヲ掲示スルコトヲ得ス

附則

本令ハ次ノ總選擧ヨリ之ヲ施行ス

●選擧無料郵便規則

（大正十五年二月三日　遞信省令第四號）

第一條　衆議院議員選擧法施行令第七十三條ノ通常郵便物（以下選擧無料郵便物ト稱ス）ノ差出人ハ選擧區内ニ在ル集配事

務ヲ取扱フ郵便官署中一局ヲ差出郵便官署ト定メ最初ノ差出期日ノ前日迄（衆議院議員選擧法第六十七條第三項ノ事由ニ該當スル場合ハ當日迄）ニ選擧事務長ト連署シ左ノ事項ヲ記載シタル届書ヲ當該差出郵便官署ニ提出スヘシ

一　差出郵便官署名

二　郵便物ノ種類及其ノ通數

三　差出期日

四　議員候補者ノ氏名

前項ノ場合ニ於テ衆議院議員選擧法第九十九條第二項等ノ事由ニ該當シ差出人二人アルトキト雖同一郵便官署ヲ差出郵便官署ト定メ連署ヲ以テ其ノ届書ヲ提出スヘシ

第一項第二號及第三號ノ事項ヲ變更シタルトキハ直ニ前二項ノ例ニ依リ其ノ旨差出郵便官署ニ届出ツヘシ

第二條　前條ノ場合ニ於テ選擧無料郵便物ノ差出人ハ選擧事務長ノ選任（議員候補者又ハ推薦届出者自ラ選擧事務長ト爲リタル場合ヲ含ム以下之ニ同シ）ヲ爲シタル者ナル旨ヲ證明シタル文書ヲ届書ニ添附スヘシ但シ選擧事務長ノ選任ヲ爲シタル推薦届出者死亡其ノ他ノ事由ニ因リ選擧無料郵便物ヲ差出スコトヲ得サル爲議員候補者差出人ト爲リタルモノナルトキハ其ノ旨届書ニ附記シ且該推薦届出者カ選擧事務長ノ選任ヲ爲シタル者ナル旨ヲ證明シタル文書ヲ添附スヘシ

第三條　第一條ノ届出ヲ爲シタル後差出人ニ異動アリタルトキハ新ニ差出人ト爲リタル者ハ選擧事務長ト連署シ直ニ差出郵便官署ニ其ノ旨届出ツヘシ此ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テハ前ノ差出人ノ提出シタル届書ハ新ニ差出人ト爲リタル者ノ提出シタルモノト看做ス第七條第一項但書ノ規定ニ依リ受ケタル承認ニ付テモ亦同シ

第四條　選擧無料郵便物ニハ其ノ表面左方上部ニ「選擧」ト表示スヘシ

前項ノ表示ナキ郵便物ハ之ヲ有料郵便物トシテ取扱フ

第五條　選擧無料郵便物ニハ其ノ差出人カ第一條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル議員候補者ニ非サル者ノ選擧運動ノ爲ニスル事項ヲ記載スルコトヲ得ス

第六條　選擧無料郵便物ハ市（東京、大阪、京都及名古屋ノ各地ニ在リテハ區以下之ニ同シ）町村毎ニ同文タルコトヲ要ス

第七條　同一市町村内ニ配達スヘキ選擧無料郵便物ハ之ヲ取纏メ一回ニ差出スコトヲ要ス但シ別ニ告示スル市町村内ニ配達スヘキモノニ付テハ差出郵便官署ノ承認ヲ受ケ之ヲ小區域ニ分チ各區域毎ニ差出スコトヲ妨ケス

前項ノ規定ニ依リ選擧無料郵便物ヲ差出シタルトキハ該市町村（小區域ニ分チタルモノナルトキハ其ノ區域以下之ニ同シ）内ニ在ル各選擧人ニ付之ヲ差出シタルモノト看做ス

第八條　選擧無料郵便物ハ郵便官署ノ指示ニ從ヒ其ノ種類、通數等ヲ記載シタル郵送票ヲ添ヘ市町村別ニ把束シ之ヲ差出スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ差出郵便物ノ内容ヲ異ニスルモノ毎ニ其ノ見本一箇ヲ提出スヘシ

第九條　選擧無料郵便物ニハ通信日附印ヲ押捺セス

第十條　衆議院議員選擧法第百四十條第一項又ハ衆議院議員選擧法施行令第七十三條若ハ第七十四條ニ規定スル條件ヲ具備セサル郵便物ヲ選擧無料郵便物トシテ差出シタルトキハ之ヲ差出人ニ還付シ差出人ヨリ不納額ノ二倍ヲ徴收ス本規則第五條又ハ第六條ノ規定ニ違背シタルトキモ亦同シ

第十一條　選擧無料郵便物ニ關シテハ本令ニ定ムルモノヲ除クノ外一般ノ規定ニ依ル

附　則

本令ハ大正十五年勅令第三號衆議院議員選擧法施行令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（次ノ總選擧ヨリ施行）

●府縣制（抄錄）

（明治三十二年三月十六日 法律第六十四號）

第一章 總則

第一條 府縣ハ從來ノ區域ニ依リ市町村及島嶼ヲ包括ス（大正一五、法七三本條中改正）

第二條 府縣ハ法人トシ官ノ監督ヲ承ケ法律命令ノ範圍內ニ於テ其ノ公共事務竝從來法律命令又ハ慣例ニ依リ及將來法律勅令ニ依リ府縣ニ屬スル事務ヲ處理ス

第三條 府縣ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ要スルトキハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

府縣ノ境界ニ渉リテ市町村境界ノ變更アリタルトキハ府縣ノ境界モ亦自ラ變更ス所屬未定地ヲ市町村ノ區域ニ編入シタルトキ亦同シ

本條ノ處分ニ付財產處分ヲ要スルトキハ內務大臣ハ關係アル府縣參事會及市町村會ノ意見ヲ徵シテ之ヲ定ム但シ特ニ法律ノ規定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二章 府縣會

第一款 組織及選擧

第四條 府縣會議員ハ各選擧區ニ於テ之ヲ選擧ス

選擧區ハ郡市ノ區域ニ依ル但シ東京市京都市大阪市其ノ他勅令ヲ以テ指定シタル市ニ於テハ區ノ區域ニ依ル

府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經內務大臣ノ許可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依ル選擧區ヲ分チテ數選擧區ト爲スコトヲ得（大正一一、法五五本項追加）

前項ノ規定ニ依リ選擧區ヲ分ツ場合ニ付テ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 府縣會議員ハ府縣ノ人口七十萬未滿ハ議員三十人ヲ以テ定員トシ七十萬以上百萬未滿ハ五萬ヲ加フル每ニ一人ヲ增シ百萬以上ハ七萬ヲ加フル每ニ一人ヲ增ス

各選擧區ニ於テ選擧スヘキ府縣會議員ノ數ハ府縣會ノ議決ヲ經テ府縣知事之ヲ定ム

議員ノ配當ニ關シ必要ナル事項ハ內務大臣之ヲ定ム

議員ノ定數ハ總選擧ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ增減セス

第六條 府縣內ノ市町村公民ニシテ一年以來其ノ府縣內ニ於テ直接國稅ヲ納ムル者ハ府縣會議員ノ選擧權及被選擧權ヲ有ス

家督相續ニ依リ財產ヲ取得シタル者ニ付テハ其ノ財產ニ付被相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ爲シタル納稅ト看做ス

確定名簿ニ登錄セラレタル者ハ其ノ名簿調製期日後選擧權ノ納稅要件ヲ闕クニ至リタル場合ト雖其ノ確定名簿據置ノ期間內仍選擧權ヲ有ス

府縣會議員ハ住所ヲ移シタル爲市町村ノ公民權ヲ失フコトアルモ其ノ住所同府縣內ニ在ルトキハ之カ爲其ノ職ヲ失フコトナシ

府縣會議員ノ選擧權及被選擧權ノ要件中其ノ年限ニ關スルモノハ府縣郡市町村ノ廢置分合若クハ境界變更ノ爲中斷セラルルコトナシ

陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者及戰時又ハ事變ニ際シ召集中ノ者ハ府縣會議員ノ選擧權及被選擧權ヲ有セス（大一一、法五五本項追加）

市町村公民權停止中ノ者ハ府縣會議員ノ選擧權及被選擧權ヲ有セス

左ニ揭クル者ハ府縣會議員ノ被選擧權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ

一 其ノ府縣ノ官吏及有給吏員

二 檢事警察官吏收及收稅官吏

三 神官神職僧侶其ノ他諸宗教師

四　小學校教員

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトキハ所屬長官ノ許可ヲ受クヘシ

選擧事務ニ關係アル官吏吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選擧權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一箇月ヲ經過セサル者亦同シ

府縣ニ對シ請負ヲ爲シ若ハ府縣ニ於テ費用ヲ負擔スル事業ニ付府縣知事又ハ其ノ委任ヲ受ケタル者ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員及支配人ハ其ノ府縣ニ於テ被選擧權ヲ有セス

前項ノ役員トハ取締役、監査役及之ニ準スヘキ者竝精算人ヲ謂フ

府縣會議員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第七條　府縣會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選擧ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第八條　府縣會議員中闕員アルトキハ二箇以内ニ補闕選擧ヲ行フヘシ

議員闕員ト爲リタルトキ其ノ議員カ第二十九條第二項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合又ハ本條本項、第三十二條第一項但書若ハ第三十六條第一項但書ノ規定ニ依ル第二十九條第二項ノ規定ノ準用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合ニ於テハ選擧長ハ直ニ第二十九條第二項ノ規定ノ適用又ハ準用ヲ受ケタル他ノ得票者ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十九條第二項及第三十一條ノ規定ヲ準用ス

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第九條　町村長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ其ノ町村内ノ選擧人名簿二本ヲ調製シ其ノ一本ヲ十月一日マテニ郡長ニ送付スヘシ

郡長ハ町村長ヨリ送付シタル名簿ヲ合シ毎年十月十五日マテニ其ノ選擧區ノ選擧人名簿ヲ調製スヘシ

第十條　市長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ十月十五日マテニ其ノ選擧區ノ選擧人名簿ヲ調製スヘシ

第十一條　選擧人其ノ住所ヲ有スル市町村外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ證明ヲ得テ九月二十日マテニ其ノ住所地ノ市町村長ニ届出ツヘシ其ノ期限内ニ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ納稅ハ選擧人名簿ニ記載セラルヘキ要件ニ算入セス

第十二條　郡市町村長ハ十月二十日ヨリ十五日間其ノ郡市役所町村役場ニ於テ選擧人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキ又ハ正當ノ事故ニ依リ前條ノ手續ヲ爲スコト能ハスシテ名簿ニ登錄セラレサルトキハ縱覽期限内ニ之ヲ郡市町ニ申立ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郡市長ハ其ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項郡市長ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ關シテハ府縣知事郡市長ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

選擧人名簿ハ十二月十五日ヲ以テ確定期限トシ確定名簿ハ次年ノ十二月十四日マテ之ヲ據置クヘシ

府縣參事會ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ郡市長ニ於テ直ニ之ヲ修正スヘシ

本條ニ依リ郡市長ニ於テ名簿ヲ修正シタルトキハ其ノ要領ヲ告示シ郡長ハ本人住所地ノ町村長ニ通知シ町村長ハ名簿ヲ修正シ之ヲ告示スヘシ（大一一、法五五本項中改正）

確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ選擧ニ參與スルコトヲ得ス但シ選擧人名簿ニ記載セラルヘキ確定裁決書若クハ判決書ヲ所持シ選擧ノ當日投票所ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

確定名簿ニ登錄セラレタル者選擧權ヲ有セサルトキハ選擧ニ參與スルコトヲ得ス但シ選擧人名簿ニ記載セラルヘキ異議ノ決定若クハ訴願ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿ヲ調製スヘシ但シ名簿ヲ調製スルノ期日マテニ選擧權ヲ失ヒタル者ハ名簿ニ登錄スル限ニ在ラス

更ニ名簿ヲ調製スヘシ但シ名簿調製ノ期日マテニ選擧權ヲ失ヒタル者ハ之ヲ縱覽ニ供スヘシ

天災事變等ノ爲必要アルトキハ更ニ選擧人名簿ヲ調製シ又ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス

前二項ノ名簿調製ノ期日縱覽修正及確定ニ關スル期限等ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依ル

府縣郡市町村ノ廢置分合境界變更ノ場合ニ於ケル名簿ノ分合ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條　府縣會議員ノ選擧ハ府縣知事ノ告示ニ依リ之ヲ行フ其ノ告示ニハ選擧ヲ行フヘキ日時及選擧區投票ヲ行フヘキ要件ヲ記載スヘシ

選擧スヘキ議員ノ員數ヲ記載シ選擧ノ日ヨリ少クトモ二十日前ニ之ヲ發スヘシ

天災事變等ノ爲投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ府縣知事ハ當該選擧區又ハ投票區ニ付投票ヲ行フヘキ日時ヲ定メ少クトモ七日前ニ之ヲ告示スヘシ

第十四條　府縣會議員ノ選擧ハ郡市長之ヲ管理ス

第十五條　投票區ハ市町村ノ區域ニ依ル但シ第四條第三項ノ規定ノ適用ニ依リ市ノ區域內ニ數選擧區アルトキハ其ノ選擧區ノ區域ニ依ル

府縣知事ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ規定ニ依ル投票區ノ區域內ニ二箇以上ノ投票區ヲ設ケ又ハ數町村ノ區域ニ依リ一投票區ヲ設クルコトヲ得

投票所ハ市役所町村役場又ハ市町村長ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ケ市町村長其ノ事務ヲ管理ス

投票所ハ市町村長ニ於テ選擧ノ日ヨリ少クトモ五日前ニ之ヲ告示スヘシ

第二項ノ場合ニ於テ投票ニ關シ本法ヲ適用シ難キトキハ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第十六條　市町村長ハ臨時ニ其ノ管理スル投票區域內ニ於ケル選擧人中ヨリ投票立會人二名乃至四名ヲ選任スヘシ投票立會人ハ名譽職トス

第十七條　選擧人ニ非サル者ハ投票所ニ入ルコトヲ得ス但シ投票所ノ事務ニ從事スル者投票所ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス（大三、法三五本條改正）

投票所ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ渉リ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他投票所ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ投票管理者ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ投票所外ニ退出セシムヘシ

前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ投票管理者投票所ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨ケス

第十八條　選擧ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選擧人ハ選擧ノ當日投票時間內ニ自ラ投票所ニ到リ選擧人名簿ノ對照ヲ經又ハ確定裁決書若ハ判決書ヲ提示シテ投票ヲ爲スヘシ

投票時間內ニ投票所ニ入リタル選擧人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得

選擧人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選擧人一名ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ス

投票用紙ニハ選擧人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

投票用紙ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

選擧人名簿調製ノ後選擧人其ノ投票區域外ニ住所ヲ移シタルトキハ市町村長之ヲ決スヘシ

第三十二條第一項若ハ第三十六條ノ選擧又ハ補闕選擧ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選擧ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第十九條　投票ノ拒否ハ投票立會人之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ市町村長之ヲ決スヘシ

第二十條　市町村長ハ投票錄ヲ製シ投票ニ關スル顚末ヲ記載シ投票立會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

第二十一條　投票ヲ終リタルトキハ町村長ハ其ノ指定シタル投票立會人ト共ニ直ニ投票函及投票錄ヲ選擧會場ニ送致スヘシ

第二十二條　島嶼其ノ他交通不便ノ地ニ對シテハ府縣知事ハ適宜ニ其ノ投票期日ヲ定メ選擧會ノ期日マテニ其ノ投票函ヲ送致セシムルコトヲ得

第二十三條　選擧會ハ郡役所市役所又ハ郡市長ノ指定シタル場合ニ於テ之ヲ開クヘシ

前項選擧會ノ場所及日時ハ郡市長豫メ之ヲ告示スヘシ

第二十四條　郡市長ハ選擧人中ヨリ選擧立會人二名乃至六名ヲ選任スヘシ

選擧立會人ハ名譽職トス

第二十五條　郡市長ハ選擧長トシテ郡ニ於テハ投票函ノ總テ到達シタル翌日市ニ於テハ投票ノ翌日選擧立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ若投票ト投票人トノ總數ニ差異ヲ生シタルトキハ其ノ由ヲ選擧錄ニ記載スヘシ但シ場合ニ依リ選擧會ハ郡ニ於テハ投票函到達ノ日市ニ於テハ投票ノ日之ヲ開クコトヲ得

天災事變等ノ爲所定ノ期日ニ選擧會ヲ開クコトヲ得サルトキハ郡市長ハ前項ノ規定ニ拘ラス更ニ其ノ期日ヲ定ムヘシ

第一項ノ計算終リタルトキハ選擧長ハ選擧立會人ト共ニ投票ヲ點檢スヘシ

第二十六條　選擧人ハ其ノ選擧會ニ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第二十七條　左ノ投票ハ之ヲ無效トス

一　成規ノ用紙ヲ用ヰサルモノ

二　一投票中二人以上ノ被選擧人ヲ記載シタルモノ

三　被選擧人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

四　被選擧權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五　被選擧人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

六　被選擧人ノ氏名ヲ自書セサルモノ

七　現ニ府縣會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

前項第七號ノ規定ハ總選擧ノ場合ニ於テ第二十二條ノ規定ニ依リ投票期日ヲ定メタルトキハ之ヲ適用セス

第二十八條　投票ノ效力ハ選擧立會人之ヲ議決ス可否同數ナルトキハ選擧長之ヲ決スヘシ

第二十九條　府縣會議員ノ選擧ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ其ノ選擧區ニ配當セラレタル議員定數ヲ以テ選擧人名簿ニ登錄セラレタル人員數ヲ除シテ得タル數ノ七分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取リ年齡同シキトキハ選擧長抽籤シテ之ヲ定ム

第三十條　選擧長ハ選擧錄ヲ製シテ選擧ノ顚末ヲ記載シ選擧ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選擧立會人二名以上ト共ニ之ニ署名シ投票選擧人名簿其ノ他關係書類ト共ニ選擧及當選ノ效力確定スルニ至ルマテ之ヲ保存スヘシ

第三十一條　選擧ヲ終リタルトキハ選擧長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ選擧錄ノ寫ヲ添ヘ當選者ノ住所氏名ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

當選者當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ十日以內ニ其ノ當選ヲ承認スルヤ否ヲ府縣知事ニ申立ツヘシ

一人ニシテ數選擧區ノ選擧ニ當リタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ十日以內ニ何レノ選擧ニ應スヘキカヲ府縣知事ニ申立ツヘシ

前二項ノ申立ヲ其ノ期限內ニ爲ササルトキハ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第六條第九項ノ官吏ニシテ當選シタル者ニ關シテハ本條ニ定ムル期間ヲ二十日以內トス

第三十二條　當選者當選ヲ辭シタルトキ、數選擧區ノ選擧ニ當リ前條第三項ノ規定ニ依リ一ノ選擧區ノ選擧ニ應シタル爲他ノ選擧區ニ於テ當選者タラサルニ至リタルトキ、死亡者ナルトキ又ハ選擧ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無效トナリタルトキハ更ニ選擧ヲ行フヘシ但シ其ノ當選者第二十九條第二項ノ規定ノ適用又ハ準用ニ依リ當選者トナリタル者ナル場合ニ於テハ第八條第二項ノ例ニ依ル

當選者選擧ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無效トナリタルトキ其ノ前ニ其ノ者ニ關スル補闕選擧若ハ前項ノ選擧ノ告示ヲ爲シタル場合又ハ更ニ選擧ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ適用セス

第三十三條　當選者其ノ當選ヲ承諾シタルトキハ府縣知事ハ直ニ當選證書ヲ付與シ及其ノ住所氏名ヲ告示スヘシ

第三十四條　選擧人選擧若クハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ第一項申立ノ有無ニ拘ラス選擧ニ關シテハ第三十一條第一項ノ日ヨリ十四日以內ニ之ヲ府縣知事ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ

府縣知事ニ於テ選擧若ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ第一項申立ノ有無ニ拘ラス選擧ニ關シテハ第三十一條第一項

ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ當選ニ關シテハ同條第二項又ハ第三項ノ申立アリタル日ヨリ三十日以內ニ府縣參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テハ府縣參事會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以內ニ之ヲ決定スヘシ

本條府縣參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事郡市長ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第八條、第三十二條又ハ第三十六條第二項ノ選擧ハ之ニ關係アル選擧又ハ當選ニ關スル異議申立期間、異議ノ決定確定セサル間又ハ訴訟ノ繫屬スル間之ヲ行フコトヲ得ス（大一一、注五五本項追加）

府縣會議員ハ選擧又ハ當選ニ關スル決定確定シ又ハ判決アルマテハ會議ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十五條　選擧ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選擧ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限リ其ノ選擧ノ全部又ハ一部ヲ無效トス

當選者ニシテ被選擧權ヲ有セサルトキハ其ノ當選ヲ無效トス

第三十六條　選擧若クハ當選無效ト確定シタルトキハ更ニ選擧ヲ行フヘシ但シ更ニ選擧ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メ得ヘキ場合ニ於テハ第二十九條第二項及第三十一條ノ規定ヲ準用ス

議員ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選擧ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十九條第一項但書ノ規定ヲ適用セス

第三十七條　府縣會議員ニシテ被選擧權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選擧權ノ有無ニ關シテハ府縣會議員カ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選擧權ヲ有セサル場合ヲ除クノ外府縣參事會其ノ異議ヲ決定ス

一　禁治產者又ハ準禁治產者ト爲リタルトキ

二　家資分散又ハ破產ノ宣告ヲ受ケ其ノ宣告確定シタルトキ

三　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四　選擧ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ

府縣會ニ於テ其ノ議員中被選擧權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ府縣知事ニ通知スヘシ但シ議員ハ自己ノ資格ニ關スル會議ニ於テ辨明スルコトヲ得ルモ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

府縣知事ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ府縣參事會ノ決定ニ於テ被選擧權ヲ有セサル者アリト認ムルトキ亦同シ

第三十四條　第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

本條府縣參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ決定ニ關シテハ府縣知事ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

府縣會議員ハ其ノ被選擧權ヲ有セストスル決定確定シ又ハ判決アルマテハ會議ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十八條　本款ニ規定スル異議ノ決定及訴願ノ裁決ハ其ノ決定書若ハ裁決書ヲ交付シタルトキ直ニ之ヲ告示スヘシ

第三十九條　第四條第二項但書ノ市ニ於テハ市長トアルハ區、市役所トアルハ區役所ト看做シ本款ノ規定ヲ準用ス

町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ之ヲ一町村其ノ組合ノ管理者ハ之ヲ町村長ト看做シ本款ノ規定ヲ準用ス

第四十條　府縣會議員ノ選擧ニ付テハ衆議院議員選擧ニ關スル罰則ヲ準用ス

第三章　府縣參事會

第一款　組織及選擧

第六十五條　府縣ニ府縣參事會ヲ置キ議長及名譽職參事會員十人ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十六條　名譽職參事會員ハ府縣會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選擧スヘシ

府縣會ハ名譽職參事會員ト同數ノ補充員ヲ選擧スヘシ

前二項ノ場合ニ於テハ第十八條第二十七條及第二十九條ノ規定ヲ準用ス其ノ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ府縣會之ヲ議決ス

名譽職參事會員中闕員アルトキハ府縣知事ハ補充員ノ中ニ就キ之ヲ補闕ス其ノ順序ハ選擧ノ時ヲ異ニスルトキハ選擧ノ前後ニ依リ選擧同時ナルトキハ得票數ニ依リ得票同數ナルトキハ年長者ヲ取リ年齡同シキトキハ抽籤ニ依ル仍闕員アル場合ニ於テハ臨時補闕選擧ヲ行フヘシ

名譽職參事會員及其ノ補充員ハ隔年之ヲ選擧スヘシ

名譽職參事會員ハ後任者就任スルニ至ルマテ在任ス府縣會議員ノ任期滿了シタルトキ亦同シ

名譽職參事會員ハ其ノ選擧ニ關スル第八十二條第一項ノ處分確定シ又ハ判決アルマテハ會議ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第六十七條　府縣參事會ハ府縣知事ヲ以テ議長トス府縣知事故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ代理ス

●市制（抄錄）

（明治四十四年四月七日法律第六十八號）

第二章　市會

第一款　組織及選擧

第十三條　市會議員ハ其ノ被選擧權アル者ニ就キ選擧人之ヲ選擧ス

議員ノ定數左ノ如シ

一	人口五萬未滿ノ市	三十人
二	人口五萬以上十五萬未滿ノ市	三十六人
三	人口十五萬以上二十萬未滿ノ市	四十人
四	人口二十萬以上三十萬未滿ノ市	四十四人
五	人口三十萬以上ノ市	四十八人

人口三十萬ヲ超ユル市ニ於テハ人口十萬、人口五十萬ヲ超ユル市ニ於テハ人口二十萬ヲ加フル毎ニ議員四人ヲ增加ス

議員ノ定數ハ市條例ヲ以テ特ニ之ヲ增減スルコトヲ得

議員ノ定數ハ總選擧ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ增減セス但シ著シク人口ノ增減アリタル場合ニ於テ內務大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　市公民ハ總テ選擧權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第十一條第三項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　選擧人ハ分チテ二級トス

選擧人中選擧人ノ總數ヲ以テ選擧人ノ納ムル直接市稅總額ヲ除シ其ノ平均額以上ヲ納ムル者ヲ一級トシ其ノ他ノ選擧人ヲ二級トス但シ一級選擧人ノ數議員定數ノ二分ノ一ヨリ少キトキハ納稅額最多キ者議員定數ノ二分ノ一ト同數ヲ以テ一級トス兩級ノ間ニ同額ノ納稅者二人以上アルトキハ其ノ市內ニ住所ヲ有スル年數同シキトキハ年長者ヲ以テシ年齡ニ依リ難キトキハ市長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

選擧人ハ每級各別ニ議員定數ノ二分ノ一ヲ選擧ス但シ選擧區アル場合ニ於テ議員ノ數二分シ難キトキハ其ノ配當方法ハ第十六條ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

被選擧人ハ各級ニ通シテ選擧セラルルコトヲ得

第十六條　市ハ市條例ヲ以テ選擧區ヲ設クルコトヲ得二級選擧ノ爲ノミニ付亦同シ

第二項ノ直接市稅ノ納額ハ選擧人名簿調製期日ノ屬スル會計年度ノ前年度ノ賦課額ニ依ルヘシ

選擧區ノ數及其ノ區域竝各選擧區ヨリ選出スル議員數ハ前項ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

第六條ノ市ニ於テハ區ヲ以テ選擧區トス其ノ各選擧區ヨリ選出スル議員數ハ市條例ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

選擧人ハ住所ニ依リ所屬ノ選擧區ヲ定ム第七十六條第二項ノ規定ニ依リ市公民タル者ニシテ市內ニ住所ヲ有セサル者ニ付テハ市長ハ本人ノ申出ニ依リ其ノ申出ナキトキハ職權ニ依リ其ノ選擧區ヲ定ムヘシ

選擧區ニ於テハ前條ノ規定ニ準シ選擧人ノ等級ヲ分ツヘシ但シ一級選擧人ノ數其ノ選出スヘキ議員配當數ヨリ少キトキハ納額最多キ者議員配當數ト同數ヲ以テ一級トス

被選擧人ハ各選擧區ニ通シテ選擧セラルルコトヲ得

第十七條　特別ノ事情アルトキハ市ハ府縣知事ノ許可ヲ得區劃ヲ定メテ選擧分會ヲ設クルコトヲ得二級選擧ノ爲ノミニ付亦同シ

第十八條　選擧權ヲ有スル市公民ハ被選擧權ヲ有ス

左ニ揭クル者ハ被選擧權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一月ヲ經過セサル者亦同シ

一　所屬府縣ノ官吏及有給吏員

二　其ノ市ノ有給吏員

三　檢事警察官吏及收稅官吏

四　神官神職僧侶其ノ他諸宗教師

五　小學校教員

市ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員及支配人ハ被選擧權ヲ有セス

前項ノ役員トハ取締役、監査役及之ニ準スヘキ者竝清算人ヲ謂フ

父子兄弟タル縁故アル者ハ同時ニ市會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス其ノ同時ニ選擧セラレタルトキハ同級ニ在リテハ得票又ハ等級若ハ選擧區ヲ異ニシテ選擧セラレタルトキハ年長者ヲ當ノ數ニ依リ其ノ多キ者一人ヲ當選者トシ同數ナルトキ又ハ等級若ハ選擧區ヲ異ニシテ選擧セラレタルトキハ後ニ選擧セラレタル者議員タルコトヲ得ス

議員ト爲リタル後前項ノ縁故ヲ生シタル場合ニ於テハ年少者其ノ職ヲ失フ年齡同シキトキハ市長抽籤シテ失職者ヲ定ム

市長市參與又ハ助役ト父子兄弟タル縁故アル者ハ市會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス

第十九條　市會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選擧ノ第一日ヨリ之ヲ起算ス

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ每級各別ニ市長抽籤シテ之ヲ定ム選擧區アル場合ニ於テハ第十六條ノ市條例中ニ其ノ多キ者一人ヲ當選者トシ同數ナルトキ又ハ等級ニ關シ必要ナル事項ハ第十六條ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

等級ニ關スルトキハ其ノ關員ヲ以テ之ニ充ツヘシ

議員ノ定員ニ異動ヲ生シタル爲新ニ選擧セラレタル議員ハ總選擧ニ依リ選擧セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

選擧區又ハ其ノ配當議員數ノ變更アリタル場合ニ於テ之ニ關シ必要ナル事項ハ第十六條ノ市條例中ニ之ヲ規定スヘシ

第二十條　市會議員中闕員ヲ生シ其ノ闕員議員定數ノ三分ノ一以上ニ至リタルトキ又ハ府縣知事市長若ハ市會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補闕選擧ヲ行フヘシ

議員闕員ト爲リタルトキ其ノ議員カ第三十條第二項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合又ハ本條本項若ハ第三十三條ノ規定ニ依ル第三十條第二項ノ規定ノ準用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合ニ於テハ市長ハ直ニ第三十條第一項ノ規定ノ適用又ハ準用ヲ受ケタル他ノ得票者ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第三十條第二項ノ規定ヲ準用ス

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

補闕議員ハ前任者ノ選擧セラレタル等級及選擧區ニ於テ之ヲ選擧スヘシ

第二十一條　市長ハ選擧期日前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選擧人ノ資格ヲ記載セル選擧人名簿ヲ調製スヘシ但シ選擧區アルトキハ選擧區每ニ名簿ヲ調製セシムヘシ

第六條ノ市ニ於テハ市長ハ區長ヲシテ前項ノ名簿ヲ調製セシムヘシ

市長ハ選擧期日前四十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間每日午前八時ヨリ午後四時迄市役所第六條ノ市ニ於テハ區役所又ハ告示シタル場

所ニ於テ選擧人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期間內ニ之ヲ市長第六條ノ市ニ於テハ區長ヲ經テ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市長ハ縱覽期間滿了後三日以內ニ市會ノ決定ニ付スヘシ市會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ七日以內ニ之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第五項ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第三項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ市長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前四項ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ市長ハ其ノ確定期日前ニ修正ヲ加ヘ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ修正セシムヘシ

選擧人名簿ハ選擧期日前三日ヲ以テ確定ス

確定名簿ハ第三條又ハ第四條ノ處分アリタル場合ニ於テ府縣知事ノ指定スルモノヲ除クノ外其ノ確定シタル日ヨリ一年以內ニ於テ行フ選擧ニ之ヲ用ウ選擧區アル場合ニ於テハ各選擧區ニ渉リ同時ニ調製シタルモノハ確定シタル日ヨリ一年以內ニ於テ行フ選擧ニ之ヲ用キ一部ノ選擧區限リ調製シタルモノハ確定シタル日ヨリ一年以內ニ該選擧區ニ於テノミ行フ選擧ニ之ヲ用ウ但シ名簿確定後裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選擧ヲ終リタル後ニ於テ次ノ選擧期日前四日迄ニ之ヲ修正スヘシ

選擧人名簿ヲ修正シタルトキハ市長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示シ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ告示セシムヘシ

選擧分會ヲ設クルトキハ市長ハ確定名簿ニ依リ分會ノ區劃每ニ名簿ノ抄本ヲ調製スヘシ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ調製セシムヘシ

確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ選擧ニ參與スルコトヲ得ス但シ選擧人名簿ニ登錄セラルヘキ確定裁決書又ハ判決書ヲ所持シ選擧ノ當日選擧會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ選擧人ハ等級ノ標準タル直接市稅ニ依リ其ノ者ノ納額ニシテ名簿ニ登錄セラレタル一級選擧人中ノ最少額ヨリ多キトキハ一級ニ於テ其ノ他ハ二級ニ於テ選擧ヲ行フヘシ

確定名簿ニ登錄セラレタル者選擧權ヲ有セサルトキハ選擧ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス

第三項乃至第六項ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿無效ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ其ノ名簿ノ調製、縱覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日、期限及期間ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依ル名簿ノ喪失シタルトキ亦同シ

選擧人名簿調製後ニ於テ選擧期日ヲ變更スルコトアルモ其ノ名簿ヲ用キ縱覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日、期限及期間ハ前選擧期日ニ依リ之ヲ算定ス

第二十二條　市長ハ選擧期日前少クトモ七日間選擧會場、投票ノ日時及各級ヨリ選擧スヘキ議員數ヲ告示スヘシ選擧區アル場合ニ於テハ各級ヨリ選擧スヘキ議員數ヲ選擧區每ニ分別シ選擧分會ヲ設クル場合ニ於テハ併セテ其ノ等級及區劃ヲ告示スヘシ

各選擧區ノ選擧ハ同日時ニ之ヲ行ヒ選擧分會ノ選擧ハ本會ト同日時ニ之ヲ行フヘシ天災事變等ニ依リ同日時ニ選擧ヲ行フコト能ハサルトキハ市長ハ其ノ選擧ヲ終フサル選擧會又ハ選擧分會ノミニ關シ更ニ選擧會場及投票ノ日時ヲ告示シ選擧ヲ行フヘシ

選擧ヲ行フ順序ハ先ツ二級ノ選擧ヲ行ヒ次ニ一級ノ選擧ヲ行フヘシ天災時變等ニ依リ選擧ヲ行フコト能ハサルニ至リタルトキハ市長ハ其ノ選擧ヲ終ラサル等級ノミニ關シ更ニ選擧會場及投票ノ日時ヲ告示シ選擧ヲ行フヘシ

第二十三條　市長ハ選擧長ト爲リ選擧會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

各選擧區ノ選擧會ハ市長又ハ其ノ指名シタル吏員第六條ノ市ニ於テハ區長選擧長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

選擧分會ハ市長ノ指名シタル吏員選擧分會長ト爲リ之ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

市長第六條ノ市ニ於テハ區長ハ選擧人中ヨリ二人乃至四人ノ選擧立會人ヲ選任スヘシ但シ選擧區アルトキ又ハ選擧分會ヲ設ケタル

トキハ各別ニ選擧立會人ヲ設クヘシ

選擧立會人ハ名譽職トス

第二十四條　選擧人ニ非サル者ハ選擧會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選擧會場ノ事務ニ從事スル者、選擧會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

選擧會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ渉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選擧會場ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ選擧長又ハ分會長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選擧會場外ニ退出セシムヘシ

前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選擧長又ハ分會長會場ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルヲ妨ケス

第二十五條　選擧ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選擧人ハ選擧ノ當日投票時間内ニ自ラ選擧會場ニ到リ選擧人名簿又ハ其ノ抄本ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スヘシ

投票時間内ニ選擧會場ニ入リタル選擧人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得

選擧人ハ選擧會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選擧人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ但シ確定名簿ニ登錄セラレタル每級選擧人ノ數其ノ選擧スヘキ議員數ノ三倍ヨリ少キ場合ニ於テハ連名投票ヲ爲スコトヲ得ス

自ラ被選擧人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ス

投票用紙ハ市長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用フヘシ

選擧區アル場合ニ於テ選擧人名簿ノ調製後選擧人ノ所屬ニ異動ヲ生スルコトアルモ其ノ選擧人ハ前所屬ノ選擧區ニ於テ投票ヲ爲スヘシ

第二十六條　第三十三條若ハ第三十七條ノ選擧、增員選擧又ハ補闕選擧ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選擧ヲ以テ併合シテ之ヲ行フ

第二十七條　（大一〇、法五八削除）

第二十八條　左ノ投票ハ之ヲ無效トス

一　成規ノ用紙ヲ用ヰサルモノ

二　現ニ市會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三　一投票中二人以上ノ被選擧人ノ氏名ヲ記載シタルモノ

四　被選擧人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ

五　被選擧權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

六　被選擧人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

七　被選擧人ノ氏名ヲ自書セサルモノ

連名投票ノ法ヲ用ヰタル場合ニ於テハ前項第一號第六號及第七號ニ該當スルモノハ之ヲ無效トシ前項第二號第四號及第五號ニ該當スルモノハ其ノ部分ノミヲ無效トス

第二十九條　投票ノ拒否及效力ハ選擧立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選擧長之ヲ決スヘシ

第三十條　市會議員ノ選擧ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ各級ニ於テ選擧スヘキ議員數ヲ以テ選擧人名簿ニ登錄セラレタル各級ノ人員數ヲ除シテ得タル數ノ七分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ年長者ヲ取リ年齡同シキトキハ選擧長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

第三十一條　選擧長又ハ分會長ハ選擧錄ヲ調製シテ選擧又ハ投票ノ顚末ヲ記載シ選擧又ハ投票ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選擧立會人二人以上ト共ニ之ニ署名スヘシ

各選擧區ノ選擧長ハ選擧錄第六條ノ市ニ於テハ其ノ謄本ヲ添ヘ當選者ノ住所氏名ヲ市長ニ報告スヘシ

選擧分會長ハ投票函ト同時ニ選擧錄ヲ本會ニ送致スヘシ

選擧錄ハ投票、選擧人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ選擧及當選ノ效力確定スルニ至ル迄之ヲ保存スヘシ

第三十二條　當選者定マリタルトキハ市長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知シ第六條ノ市ニ於テハ區長ヲシテ之ヲ告知セシムヘシ

當選者當選ヲ辭セムトスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以內ニ之ヲ市長ニ申立ツヘシ

一人ニシテ數級又ハ數選擧區ニ於テ當選シタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以內ニ何レノ當選ニ應スヘキカヲ市長ニ申立ツヘシ其ノ期間內ニ之ヲ申立テサルトキハ市長抽籤シテ之ヲ定ム

第十八條第二項ニ揭ケサル官吏ニシテ當選シタル者ハ所屬長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ官吏ハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以內ニ之ニ應スヘキ旨ヲ市長ニ申立テサルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第三十三條　當選者當選ヲ辭シタルトキ、數級若ハ數選擧區ニ於テ當選シタル場合ニ於テ當選ノ效力確定スルニ至ル迄之ヲ保存スヘシ

若ハ選擧區ノ當選ニ應シ若ハ抽籤ニ依リ一ノ級若ハ選擧區ノ當選者ト定マリタル爲他ノ級若ハ選擧區ニ於テ當選者タラサルニ至リタルトキ、死亡者ナルトキ又ハ選擧ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無效ト爲リタルトキハ更ニ選擧ヲ行フヘシ但シ其ノ當選者第三十條第二項ノ規定ノ適用又ハ準用ニ依リ當選者ト定メタル場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ適用セス

條第二項ノ例ニ依ル（大一〇、法五八本條改正）

當選者選擧ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無效ト爲リタルトキ其ノ前ニ其ノ者ニ關スル補闕選擧若ハ前項ノ選擧ノ告示ヲ爲シタル場合又ハ更ニ選擧ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ適用セス

第三十四條　選擧ヲ終リタルトキハ市長ハ直ニ選擧錄ニ謄本ヲ添ヘ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第三十二條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ、同條第三項若ハ第五項ノ申立アリタルトキ又ハ同條第三項ノ規定ニ依リ抽籤ヲ爲シタルトキハ市長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ併セテ之ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第三十五條　選擧ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選擧ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限リ其ノ選擧ノ全部又ハ一部ヲ無效トス

第三十六條　選擧人選擧又ハ當選ノ效力ニ關シ異動アルトキハ選擧ノ日ヨリ當選ニ關シテハ第三十四條第二項ノ告示ノ日ヨリ七日以內ニ之ヲ市長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市長ハ七日以內ニ市會ノ決定ニ付スヘシ

市會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以內ニ之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

府縣知事ハ選擧又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選擧ニ關シテハ第三十四條ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以內ニ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市長ハ七日以內ニ市會ノ決定ニ付スヘシ

關シテハ同條第二項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以內ニ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

前項ノ決定アリタルトキハ同一事件ニ付爲シタル異議ノ申立及市會ノ決定ハ無效トス

第二項若ハ第六項ノ裁決又ハ第三項ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ決定ニ付テハ市長ヨリモ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第二項若ハ前項ノ裁決又ハ第三項ノ決定ニ付テハ府縣知事又ハ市長ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十條、第三十三條又ハ第三十七條第三項ノ選擧ノ之ニ關係アル選擧又ハ當選ニ關スル異議申立期間、異議ノ決定若ハ訴願ノ裁決確定セサル間又ハ訴訟ノ繫屬スル間之ヲ行フコトヲ得ス

市會議員ハ選擧又ハ當選ニ關スル決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十七條　當選無效ト確定シタルトキハ市長ハ直ニ第三十條ノ例ニ依リ更ニ當選者ヲ定ムヘシ

選擧無效ト確定シタルトキハ更ニ選擧ヲ行フヘシ

議員ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選擧ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テハ第三十條第一項但書ノ規定ヲ適用セス

第三十八條　市會議員ニシテ被選擧權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選擧權ノ有無ハ市會議員カ左ノ各號ノ一ニ該當

スルニ因リ被選擧權ヲ有セサル場合ヲ除クノ外市會之ヲ決定ス

一　禁治産者又ハ準禁治産者ト爲リタルトキ

二　家資分産又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ宣告確定シタルトキ

三　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四　選擧ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ

市長ハ市會議員中被選擧權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ市會ノ決定ニ付スヘシ市會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以內ニ之ヲ決定スヘシ

第一項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ市長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十六條第九項ノ規定ハ第一項及前三項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ之ヲ本人ニ交付スヘシ

第三十九條　第二十一條及第三十六條ノ場合ニ於テ府縣參事會ノ決定及裁決ハ府縣知事、市會ノ決定ハ市長直ニ之ヲ告示スヘシ

第四十條　本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令ニ依リ設置スル議會ノ議員ノ選擧ニ關スル罰則ヲ準用ス

第三章　市參事會

第一款　組織及選擧

第六十四條　市ニ市參事會ヲ置キ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

一　市長

二　助役

三　名譽職參事會員

前項ノ外市參與ヲ置ク市ニ於テハ市參與ハ參事會員トシテ其ノ擔任事業ニ關スル場合ニ限リ會議ニ列席シ議事ニ參與スヘシ

第六十五條　名譽職參事會員ノ定數ハ六人トス但シ第六條ノ市ニ在リテハ市條例ヲ以テ十二人迄之ヲ增加スルコトヲ得

名譽職參事會員ハ市會ニ於テ其ノ議員中ヨリ之ヲ選擧スヘシ其ノ選擧ニ關シテハ第二十五條第二十八條及第三十條ノ規定ヲ準用シ投票ノ效力ニ關シ異議アルトキハ市會之ヲ決定ス

名譽職參事會員中闕員アルトキハ直ニ補闕選擧ヲ行フヘシ

名譽職參事會員ハ隔年之ヲ選擧スヘシ

名譽職參事會員ハ後任者ノ就任スルニ至ル迄在任ス市會議員ノ任期滿了シタルトキ亦同シ

名譽職參事會員ハ其ノ選擧ニ關シ第九十條ノ處分確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第六十六條　市參事會ハ市長ヲ以テ議長トス市長故障アルトキハ市長代理者之ヲ代理ス

●町村制（抄錄）

（明治四十四年四月七日法律第六十九號）

第二章　町村會

第一款　組織及選擧

第十一條　町村會議員ハ其ノ被選擧權アル者ニ就キ選擧人之ヲ選擧ス

議員ノ定數左ノ如シ

一　人口千五百未滿ノ町村　　八　人

二　人口千五百以上五千未滿ノ町村　　十二人

三　人口五千以上一萬未滿ノ町村　十八人
四　人口一萬以上二萬未滿ノ町村　二十四人
五　人口二萬以上ノ町村　三十人

議員ノ定數ハ町村條例ヲ以テ特ニ之ヲ增減スルコトヲ得

議員ノ定數ハ總選擧ヲ行フ場合ニ非サレハ之ヲ增減セス但シ著シク人口ノ增減アリタル場合ニ於テ內務大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條　町村公民ハ總テ選擧權ヲ有ス但シ公民權停止中ノ者又ハ第九條第二項ノ場合ニ當ル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　町村ハ町村條例ヲ以テ選擧人ヲ分チテ二級ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市制ノ例ニ依ル

第十四條　特別ノ事情アルトキハ町村ハ郡長ノ許可ヲ得區劃ヲ定メテ選擧分會ヲ設クルコトヲ得

第十五條　選擧權ヲ有スル町村公民ハ被選擧權ヲ有ス

左ニ揭クル者ハ被選擧權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後一月ヲ經過セサル者亦同シ

一　所屬府縣郡ノ官吏及有給吏員
二　其ノ町村ノ有給吏員
三　檢事警察官吏及收稅官吏
四　神官神職僧侶其ノ他諸宗教師
五　小學校教員

町村ニ對シ請負ヲ爲ス者及其ノ支配人又ハ主トシテ同一ノ行爲ヲ爲ス法人ノ無限責任社員、役員及支配人ハ被選擧權ヲ有セス

前項ノ役員トハ取締役、監査役及之ニ準スヘキ者ヲ謂フ

父子兄弟タル緣故アル者ハ同時ニ町村會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス其ノ同時ニ選擧セラレタルトキハ得票ノ數ニ依リ其ノ多キ者一人ヲ當選者トシ同數ナルトキハ年長者ヲ當選者トシ年齡同シキトキハ町村長抽籤シテ當選者ヲ定ム其ノ時ヲ異ニシテ選擧セラレタルトキハ後ニ選擧セラレタル者議員タルコトヲ得ス

議員ト爲リタル後前項ノ緣故ヲ生シタル場合ニ於テハ年少者其ノ職ヲ失フ年齡同シキトキハ町村長抽籤シテ失職者ヲ定ム

町村長又ハ助役ト父子兄弟タル緣故アル者ハ町村會議員ノ職ニ在ルコトヲ得ス

第十六條　町村會議員ハ名譽職トス

議員ノ任期ハ四年トシ總選擧ノ日ヨリ之ヲ起算ス

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲解任ヲ要スル者アルトキハ町村長抽籤シテ之ヲ定ム但シ闕員アルトキハ其ノ闕員ヲ以テ之ニ充ツヘシ

議員ノ定數ニ異動ヲ生シタル爲新ニ選擧セラレタル議員ハ總選擧ニ依リ選擧セラレタル議員ノ任期滿了ノ日迄在任ス

第十七條　町村會議員中闕員ヲ生シ其ノ闕員議員定數ノ三分ノ一以上ニ至リタルトキ又ハ郡長町村長若ハ町村會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補闕選擧ヲ行フヘシ

議員闕員ト爲リタルトキ其ノ議員カ第二十七條第二項ノ規定ノ適用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合又ハ本條本項若ハ第三十條ノ規定ニ依ル第二十七條第二項ノ規定ノ準用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合ニ於テハ町村長ハ直ニ第二十七條第二項ノ規定ノ適用又ハ準用ヲ受ケタル他ノ得票者ニ就キ當選者ヲ定ムヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十七條第二項ノ規定ヲ準用ス

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス（大一〇、法五九第三項削除）

第十八條　町村長ハ選擧期日前六十日ヲ期トシ其ノ日ノ現在ニ依リ選擧人ノ資格ヲ記載セル選擧人名簿ヲ調製スヘシ

町村長ハ選擧期日前四十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間每日午前八時ヨリ午後四時迄町村役場又ハ告示シタル場所ニ於テ選擧人名簿ヲ關係者ノ縱覽ニ供スヘシ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期間內ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場

合ニ於テハ町村長ハ縱覽期間滿了後三日以内ニ町村會ノ決定ニ付スヘシ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前四項ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ町村長ハ其ノ確定期日前ニ修正ヲ加フヘシ

選擧人名簿ハ選擧期日前三日ヲ以テ確定ス

確定名簿ハ第三條ノ處分アリタル場合ニ於テ府縣知事ノ指定スルモノヲ除クノ外其ノ確定シタル日ヨリ一年以内ニ於テ行フ選擧ニ之ヲ用ウ但シ名簿確定後裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキハ選擧ヲ終リタル後ニ於テ次ノ選擧期日前四日迄ニ之ヲ修正スヘシ

選擧人名簿ヲ修正シタルトキハ町村長ハ直ニ其ノ要領ヲ告示スヘシ

選擧分會ヲ設クルトキハ町村長ハ確定名簿ニ依リ分會ノ區劃毎ニ名簿ノ抄本ヲ調製スヘシ

確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ選擧ニ參與スルコトヲ得ス但シ選擧人名簿ニ登錄セラルヘキ確定裁決書又ハ判決書ヲ所持シ選擧ノ當日選擧會場ニ到ル者ハ此ノ限ニ在ラス（大一〇、法五九第十二項削除）

確定名簿ニ登簿セラレタル者選擧權ヲ有セサルトキハ選擧ニ參與スルコトヲ得ス但シ名簿ハ之ヲ修正スル限ニ在ラス

第二項乃至第五項ノ場合ニ於テ決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アリタルニ依リ名簿無效ト爲リタルトキハ更ニ名簿ヲ調製スヘシ其ノ名簿ノ調製、縱覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日、期限及期間ハ郡長ノ定ムル所ニ依ル名簿ノ喪失シタルトキ亦同シ

選擧人名簿調製後ニ於テ選擧期日ヲ變更スルコトアルモ其ノ名簿ヲ用ヰ縱覽、修正、確定及異議ノ決定ニ關スル期日、期限及期間ハ前選擧期日ニ依リ之ヲ算定ス

第十九條　町村長ハ選擧期日前少クトモ七日間選擧會場、投票ノ日時及選擧スヘキ議員數ヲ告示スヘシ選擧分會ヲ設クル場合ニ於テハ併セテ其ノ區劃ヲ告示スヘシ（大一〇、法五九本項中改正）

選擧分會ノ選擧ハ本會ト同日時ニ之ヲ行フヘシ（大一〇、法五九本項改正）

天災事變等ニ依リ選擧ヲ行フコト能ハサルニ至リタルトキハ町村長ハ其ノ選擧ヲ終ラサル選擧會又ハ選擧分會ノミニ關シ更ニ選擧會場及投票ノ日時ヲ告示シ選擧ヲ行フヘシ（大一〇、法五九本項改正）

第二十條　町村長ハ選擧長トシテ選擧會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

選擧分會ハ町村長ノ指名シタル吏員選擧分會長トシテ選擧分會ヲ開閉シ其ノ取締ニ任ス

町村長ハ選擧人中ヨリ二人乃至四人ノ選擧立會人ヲ選任スヘシ但シ選擧分會ヲ設ケタルトキハ各別ニ選擧立會人ヲ設クヘシ

選擧立會人ハ名譽職トス

第二十一條　選擧人ニ非サル者ハ選擧會場ニ入ルコトヲ得ス但シ選擧會場ノ事務ニ從事スル者、選擧會場ヲ監視スル職權ヲ有スル者又ハ警察官吏ハ此ノ限ニ在ラス

選擧會場ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧擾ニ渉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他選擧會場ノ秩序ヲ紊ス者アルトキハ選擧長又ハ分會長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ選擧會場外ニ退出セシムヘシ

前項ノ規定ニ依リ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ選擧長又ハ分會長會場ノ秩序ヲ紊スノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムコトヲ妨ケス

第二十二條　選擧ハ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

選擧人ハ選擧ノ當日投票時間内ニ自ラ選擧會場ニ到リ選擧人名簿又ハ其ノ抄本ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スヘシ

投票時間内ニ選擧會場ニ入リタル選擧人ハ其ノ時間ヲ過クルモ投票ヲ爲スコトヲ得

選擧人ハ選擧會場ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選擧人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ（大一〇、法五九本項中改正）

自ラ被選擧人ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得

投票用紙ハ町村長ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ウヘシ

選擧分會ニ於テ爲シタル投票ハ分會長少ナクトモ一人ノ選擧立會人ト共ニ投票函ノ儘之ヲ本會ニ送致スヘシ

第二十三條　第三十條若ハ第三十四條ノ選擧、增員選擧又ハ補闕選擧ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ擧選ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ（大一〇、法五九本條改正）

第二十四條　（大一〇、法五九削除）

第二十五條　左ノ投票ハ之ヲ無效トス（大一〇、法五九第二項削除）

一　成規ノ用紙ヲ用キサルモノ

二　現ニ町村會議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三　一投票中二人以上ノ被選擧人ノ氏名ヲ記載シタルモノ

四　被選擧人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ

五　被選擧權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

六　被選擧人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ爵位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス（大九本號追加）

七　被選擧人ノ氏名ヲ自書セサルモノ（大一〇、法五九本號追加）

第二十六條　投票ノ拒否及效力ハ選擧立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ選擧長之ヲ決スヘシ

選擧分會ニ於ケル投票ノ拒否ハ其ノ選擧立會人之ヲ決定ス可否同數ナルトキハ分會長之ヲ決スヘシ

第二十七條　町村會議員ノ選擧ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ選擧スヘキ議員數ヲ以テ選擧人名簿ニ登錄セラレタル人員數ヲ除シテ得タル數ノ七分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス（大一〇、法五九本項中改正）

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同シキトキハ選擧長抽籤シテ之ヲ定ムヘシ

第二十八條　選擧長又ハ分會長ハ選擧錄ヲ調製シテ選擧又ハ投票ノ顚末ヲ記載シ選擧立會人二人以上ト共ニ之ヲ署名スヘシ

選擧分會長ハ投票函ト同時ニ選擧錄ヲ本會ニ送致スヘシ

選擧錄ハ投票、選擧人名簿其ノ他ノ關係書類ト共ニ選擧及當選ノ效力確定スルニ至ル迄之ヲ保存スヘシ

第二十九條　當選者定マリタルトキハ町村長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スヘシ

當選者當選ヲ辭セムトスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ町村長ニ申立ツヘシ（大正一〇、法五九第二項削除）

第三十條　當選者當選ヲ辭シタルトキ、死亡者ナルトキ又ハ選擧ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無效ト爲リタルトキハ更ニ選擧ヲ行フヘシ但シ其ノ當選者第二十七條第二項ノ規定ノ適用又ハ準用ニ依リ當選者ト爲リタル者ナル場合ニ於テハ第十七條第二項ノ例ニ依ル（大一〇、法五九本條改正）

當選者當選ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレ其ノ當選無效ト爲リタルトキ其ノ前ニ其ノ者ニ關スル補闕選擧若ハ前項ノ選擧ノ告示ヲ爲シタル場合又ハ更ニ選擧ヲ行フコトナクシテ當選者ヲ定メタル場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ適用セス

第三十一條　選擧ヲ終リタルトキハ町村長ハ直ニ選擧錄ノ謄本ヲ添ヘ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第二十九條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキ又ハ同條第四項、第三十條第四項ノ申立アリタルトキハ町村長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ告示シ併セテ之ヲ郡長ニ報告スヘシ（大一〇、法五九本項改正）

第三十二條　選擧ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選擧ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限リ其ノ選擧ノ全部又ハ一部ヲ無效トス

第三十三條　選擧人選擧又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選擧ニ關シテ（選擧ノ日ヨリ當選ニ關シテハ第三十一條第二項ノ告示ノ日ヨリ七日以內ニ之ヲ町村長ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ町村長ハ七日以內ニ町村會ノ決定ニ付スヘシ町村會ハ其ノ發付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以內ニ之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願スルコトヲ得

郡長ハ選擧又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ府縣知事ノ指揮ヲ受ケ選擧ニ關シテハ第三十一條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ當選ニ關シテハ同條第二項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以內ニ之ヲ處分スルコトヲ得

前項ノ處分アリタルトキハ同一事件ニ付爲シタル異議ノ申立及町村會ノ決定ハ無效トス

第三項ノ處分ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第二項者ハ第六項ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ決定及第二項又ハ前項ノ裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二項第五項又ハ前項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十七條、第三十條又ハ第三十四條第三項ノ選擧ハ之ニ關係アル選擧又ハ當選ニ關スル異議申立期間、異議ノ決定若ハ訴願ノ裁決確定セサル間又ハ訴訟ノ繫屬スル間之ヲ行フコトヲ得ス（大一〇、法五九本項追加）

町村會議員ハ選擧又ハ當選ニ關スル處分、決定若ハ裁決確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス

第三十四條　當選無效ト確定シタルトキハ町村長ハ直ニ第二十七條ノ例ニ依リ更ニ當選者ヲ定ムヘシ

選擧無效ト確定シタルトキハ更ニ選擧ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十七條第一項但書ノ規定ヲ適用セス

議員ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハサルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選擧ヲ行フヘシ此ノ場合ニ於テハ第二十七條第一項但書ノ規定ヲ適用セス

第三十五條　町村會議員ニシテ被選擧權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選擧權ノ有無ハ町村會議員カ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ因リ被選擧權ヲ有セサル場合ヲ除クノ外町村會之ヲ決定ス（大一〇、法五九本項改正）

一　禁治產者又ハ準禁治產者ト爲リタルトキ

二　家資分散又ハ破產ノ宣告ヲ受ケ其ノ宣告確定シタルトキ

三　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四　選擧ニ關スル犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキ

町村長ハ町村會議員中被選擧權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ町村會ノ決定ニ付スヘシ町村會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以內ニ之ヲ決定スヘシ（大一〇、法五九本項改正）

第一項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ裁決又ハ第四項ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一項ノ決定及前項ノ裁決ニ付テハ町村長ヨリモ訴願又ハ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

前二項ノ裁決ニ付テハ府縣知事ヨリモ訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十三條第九項ノ規定ハ第一項及前三項ノ場合ニ之ヲ準用ス（大一〇、法五九本項中改正）

第三十六條　第十八條第三十三條ノ場合ニ於テ府縣參事會ノ決定及裁決ハ府縣知事、郡長ノ處分ハ郡長、町村會ノ決定ハ町村長直ニ之ヲ告示スヘシ

第三十七條　本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令ニ依リ設置スル議會ノ議員ノ選擧ニ付テハ衆議院議員選擧ニ關スル罰則ヲ準用ス（大一〇、法五九第二項削除）

第三十八條　特別ノ事情アル町村ニ於テハ府縣知事ハ其ノ町村ヲシテ町村會ヲ設ケス選擧權ヲ有スル町村公民ノ總會ヲ以